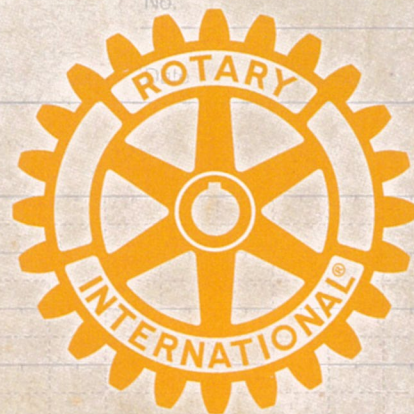


THE ROTARY-NO-TOMO

ロータリーの友

9

2018
SEPTEMBER
VOL.66 NO.9



いっしょに笑顔

国内の子どもの貧困対策・居場所づくり

ロータリーの友月間

積んどく? いや、読んどく

Rotary



FULL HEIGHT DOOR®

FULL HEIGHT CLOSET

フルハイトクローゼット

取手レスクローゼット MC-2 型

まるで”壁”

フルハイトクローゼットですっきり美しく収納

KAMIYA のクローゼット扉は、高さが天井まであるので物入じゃないみたい。

取手金具を完全になくしたフルフラットタイプのクローゼットでお部屋をよりすっきりと感じさせます。



KAMIYA ではお好みや用途に合わせてお使いいただけるようにクローゼットの色柄やデザインを豊富に揃えています。

商品のお問合せは神谷コーポレーション「Shonan Office」まで

TEL 0463-94-6203

フルハイトドア

検索

神谷コーポレーション株式会社 〒259-1146 神奈川県伊勢原市鈴川50 URL www.kamiya-yokohama.co.jp/



フルハイトドアの
神谷コーポレーション



PRESIDENT'S MESSAGE

RI 会長メッセージ



インスピレーションになるう

ロータリアンの皆さま

ロータリーが1日で行った全ての活動を1枚の写真で表すことができたとしたらどうなるでしょう？ たった1つの団体がこれほど多くのことを1日で達成できるとは、ロータリアンを除いて誰も信じないでしょう。そんな写真には、ロータリアンの有志たちがポリオ撲滅活動に当たり、小口融資を手配し、安全な水を提供し、青少年を指導するなど、多くの活動に尽力する姿が写っています。

このようなことができるのは、ロータリーが世界中に広がり、地域社会に関わる人たちでクラブが成り立っているからこそです。奉仕活動を行う地域社会の一員であるロータリアンは、そのニーズを理解し、地元とつながりがあり、すぐに行動を起こすことができます。ロータリークラブの会員基盤が地域社会の多様性を反映するべきだといわれるのは、このためです。

この点で、ロータリーは大きく前進してきました。エジプトやインドネシア、ケニアでの、会員に女性が占める割合は50%に近づいています。また、会員の年齢層も幅広く広がっています。どの地域社会でも、若い職業人が社会のために才能を発揮し、社会に貢献し、メンターから学びたいと望んでいます。ロータリーについての全てを彼らに伝えましょう。国際ロータリーの公式ウェブサイト (www.rotary.org/ja) の「若い世代の職業人とともに」キットでは、地元の若いリーダーやロータリー学友に働き掛けるための行動計画が紹介されています。

地域社会をさらによく反映するために、私たちの力強い助っ人となるのが、ローターアクトです。ロータリーと同じくグローバルな組織であり、25万人の会員を擁し、奉仕とリーダーシップというロータリーの価値観を共有しています。ローターアクターは私たちのパートナーです。一緒にプロジェクトを実施し、イベントで講演してもらい、クラブへの入会を誘いましょう。世界各地で、熱心なローターアクターたちがロータリーの会員となっています。また、ローターアクトクラブの会員でありながら新しいロータリークラブを立ち上げるローターアクターもいます。

世界はロータリーを必要としています。そして、ロータリーはもっとよいことをしていくために強いクラブと熱心な会員を必要としています。ロータリーに入会することに関心のある人々を誘うことは、私たち一人一人の責任です。ロータリーへの入会に関心のある人に対して、ふさわしいクラブを紹介するための「入会候補者情報プログラム」を利用してください。そして、ロータリアンであり続ける理由を一人一人の会員が持つようにしましょう。有意義なプロジェクトに参加し、楽しむことのできる強いクラブを育てることで、他では見いだせない価値を会員に提供できるのです。

奉仕活動のスナップ写真に写し出されたロータリーのストーリーを、世界に発信しましょう。性別や年齢に関係なく、社会に貢献する方法を探しているリーダーに声を掛けてください。そうすることで、地域社会のインスピレーションになり、ロータリーが世界でよいことをし続ける後押しができるのです。

BARRY RASSIN

2018-19年度 国際ロータリー (RI) 会長

ロータリーの友

Home Page

www.rotary-no-tomo.jp

原文 (英語) はこちらから

RI RI 会長メッセージ 3

RI 会長 バリー・ラシン

特集

いっしょに笑顔 7

国内の子どもの貧困対策・居場所づくり

食料を届け、「貧困の連鎖」を断ち切る

東京八王子南RC 神山治之

学習支援、就労支援で子どもに未来を

コザRC 坂 晴紀

学校とは違う環境での居場所づくりを

東京中央RC 金田 治

そば打ちを生かして 「さいたま子ども食堂」を支援

大宮中央RC 堀越太志

「池田こども食堂さくら」を支援して

池田RC 名村研二郎

RCで県内の「子ども食堂」を支援

あい子ども食堂ネットワークRCの取り組み

名古屋名東RC 藤野直子

- 6 ●ロータリーとは
- 44 ●パズル de ロータリー／詰め将棋
- 46 ●エバンストン便り
- 47 ●財団管理委員長からのメッセージ **RI**
- 48 ●お知らせ ロータリー衛星クラブ／新IAC／広報誌『世界と日本』刊行のご案内／地区別クラブ数・会員数一覧表／『友』10月号主要記事予定
- 49 ●日本ロータリー分布図／奥付
- 50 ●投稿規定（ご投稿をお待ちしています！）
- 51 ●パズル&詰め将棋の答え／編集部のおとあがき

特集

ロータリーの友月間

積んどく？ いや、読んどく 15

『友』を支えるロータリーの友地区代表委員

『友』はネタづくりの材料

親睦から広がるロータリーへの理解 八戸RC 妻神和憲

ロータリーデーで、広報誌『世界と日本』を活用

名張中央RC 東 和伯

ロータリー雑誌の仲間たち

第2760地区

第1回青少年・学友交流フェスタ 20

豊橋RC 佐藤裕彦／RYLA学友会 大野真以

心は共に 22

東日本大震災

「ロータリー希望の風奨学金」

息の長いプログラムをどうするか

ロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会委員長 地葉新司

東日本大震災／平成30年7月豪雨

横浜あざみRC 一楽祥子／

ロータリー希望の風奨学生 久我理亜／高崎RC 吉井宏文／

姫路西RC 吉田和正／岡山東RC 内山 淳

END POLIO NOW 28

映画「ブレス しあわせの呼吸」

ロータリアンのポリオ撲滅活動をたたえる

ポリオ撲滅活動への感謝

インターナショナル・ポリオプラス委員会委員 小沢一彦

山田彝先輩、峰英二先輩

ポリオプラス・パイオニア賞受賞 東京麹町RC

10月24日は世界ポリオデー

4つの質問「世界ポリオデー」イベントの実施

第6250地区パストガバナー メアリー・バン・ホウトさんに聞く

一般社団法人 ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4階

Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956

編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp（本誌の内容・投稿）

管理部メール keiri@rotary-no-tomo.jp（購読・注文）

ロータリーの友
Home Page
www.rotary-no-tomo.jp



9月は基本的教育と識字率向上月間 ロータリーの友月間です

日本のロータリー 100 周年 超我の奉仕に魂を!! 33

日本のロータリー 100 周年実行委員会委員長 石黒慶一

よねやまだより 34

ロータリー米山記念奨学事業の基礎知識

—— 寄付金・財政編 ——

ローターアクトクラブの 優れたプロジェクトを表彰 36

THE ROTARIAN 9月号から

People of action around the world 38

世界中で活躍「世界を変える行動人」 THE ROTARIAN 9月号から

トロント国際大会

女性を与えるインスピレーション 40

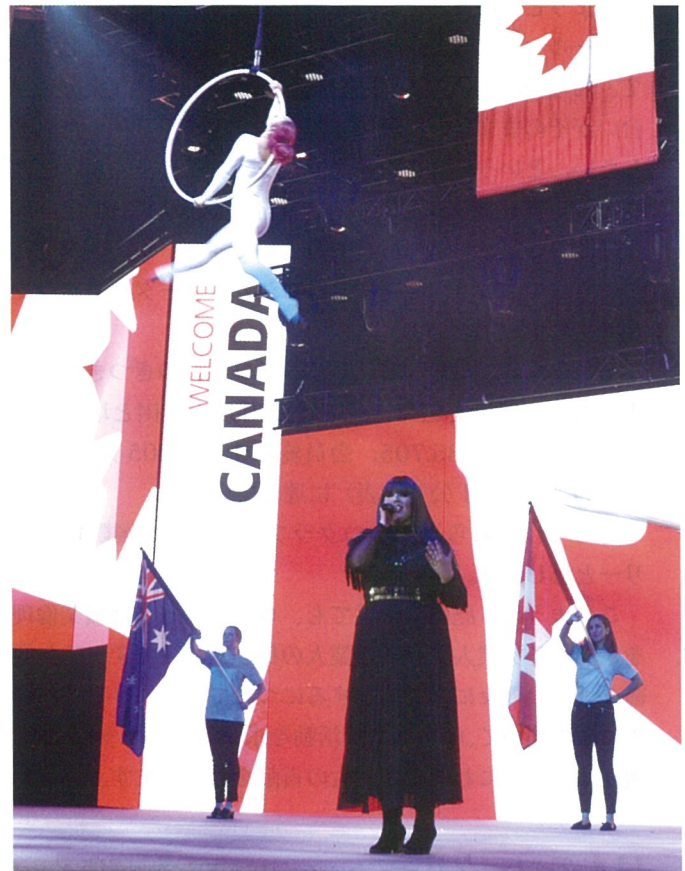
NEW GENERATION 43

ローテックス 関根ゆり子／ローテックス 飯塚千尋

CLUB INNOVATION 45

イギリス メイデンヘッドブリッジRC

THE ROTARIAN 9月号から



6月23～27日、第109回ロータリー国際大会をカナダ・トロントで開催。カナダで結成されたエンターテインメント集団、シルク・ドゥ・ソレイユの華麗な演出で開幕しました（P40～42）

ロータリーの友 委員会

委員長 片山 主水（名古屋東南）
副委員長 鈴木 宏（宇都宮北）
RI理事 石黒 慶一（鶴岡西）
RI理事 三木 明（姫路）

特別顧問 上野 孝（横浜）
安平 和彦（姫路）
片岡 信彦（土浦南）
橋本 長平（京都東）
清水 良夫（横浜）
顧問 柳谷 悦麿（能代）
田山 雅敏（上野東）
柳澤 光秋（高知東）
新本 博司（那覇）
浅田 豊久（東京六本木）
相談役 板橋 敏雄（足利東）
神崎 正陳（茅ヶ崎湘南）

地区 代表委員

2500 石岡 幸雄（帯広北）	2830 葛西 敏（弘前）	2650 中西 知（あすか）
2510 櫻井 政経（札幌）	2840 市村 信也（藤岡南）	2660 木村 芳樹（大阪南）
2520 勝部 民男（盛岡）	2580 田村 浩康（東京臨海）	2670 三浦 聖人（観音寺）
2530 佐藤 和子（福島中央）	2590 今村 嘉男（横浜中）	2680 松尾 邦光（加古川中央）
2540 加賀 美奈（大曲）	2600 滝沢義一郎（駒ヶ根）	2690 松山 忠造（岡山）
2550 村上 龍也（宇都宮西）	2610 堂田 重明（富山）	2700 浦山 隆行（門司西）
2560 米山 智哉（三条）	2620 佐藤 正幸（甲府）	2710 松下 雅人（尾道）
2570 矢島 淳一（本庄）	2630 若山 雅彦（岐阜加納）	2720 赤川 治之（大分中央）
2770 恵川 一成（大宮シティ）	2750 大日方 真（東京赤坂）	2730 深尾 兼好（鹿児島西）
2790 椎名 博信（習志野）	2760 古田 嘉且（江南）	2740 遠田 公夫（佐世保）
2800 大泉 好（酒田東）	2780 中村 辰雄（相模原南）	
2820 小貫 啓司（水戸西）	2640 竹中 喜廣（和歌山）	編集長 野崎 恭子

ロータリーとは

ロータリーの誕生とその成長

20世紀初頭のシカゴの街は、著しい社会経済の発展の陰で、商業道德の欠如が目につくようになっていました。

ちょうどそのころ、ここに事務所を構えていた青年弁護士ポール・ハリスはこの風潮に堪えかね、友人3人と語らって、お互いに信頼のできる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたい、という趣旨でロータリークラブという会合を考えました。ロータリーとは集会を各自の事務所持ち回りで順番に開くことから名付けられたものです。

こうして1905年2月23日にシカゴロータリークラブが誕生しました。

それからは、志を同じくするクラブが、つぎつぎ各地に生まれて、国境を超え、今では200以上の国と地域に広がり、クラブ数35,705、会員総数1,201,005人（2018年7月13日R I公式発表）に達しています。

そして、これら世界中のクラブの連合体を国際ロータリーと称します。

このように、歴史的に見ても、ロータリーとは職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりなのです。その組織が地球の隅々にまで拡大するにつれて、ロータリーは世界に眼を開いて、幅広い奉仕活動を求められるようになり、現在は多方面にわたって多大の貢献をしています。

日本のロータリー

わが国最初のロータリークラブは、1920（大正9）年10月20日に創立された東京ロータリークラブで、翌1921年4月1日に、世界で855番目のクラブとして、国際ロータリーに加盟が承認されました。

日本でのロータリークラブ設立については、ポール・ハリスの片腕としてロータリーの組織をつくり、海外拡大に情熱的に取り組んだ初代事務総長チェスリー・ペリーと、創立の準備に奔走した米山梅吉、福島喜三次などの先達の功を忘れることができません。

その後、日本のロータリーは、第2次世界大戦の波に洗われて、1940年に国際ロータリーから脱退します。戦後1949年3月になって、再び復帰加盟しますが、この時、復帰に尽力してくれたのが国際ロータリーの第3代事務総長ジョージ・ミーンズでした。

その後の日本におけるロータリーの拡大発展は目覚ましいものがあります。ロータリー財団への貢献も抜群で、今や国際ロータリーにおける日本の地位は不動のものになりました。現在、日本全体でのクラブ数は2,258、会員数87,807人（2018年6月末現在）となっています。

2018 - 19 年度 R I テーマ



インスピレーションになろう

BE THE INSPIRATION

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

いっしょに笑顔

国内の子どもの貧困対策・居場所づくり

2012年の厚生労働省による「国民生活基礎調査」で、日本の子どもの相対的貧困率が16.3%と過去最悪となったことが判明。「6人に1人が貧困」と報じられ、国内の子どもの貧困問題が浮き彫りになりました。国や行政、地域、民間ボランティアなどが子どもたちを救おうと、さまざまな形でこの問題に取り組んでいます。

本特集では、フードバンク、子ども食堂、学習支援など、国内の子どもの貧困・居場所づくりに取り組むロータリアン、ロータリークラブの活動事例を紹介します。

※このページ(P7)の写真は本文と関係ありません。



食料を届け、「貧困の連鎖」を断ち切る

東京八王子南RC 神山 治之（特定非営利活動法人フードバンクTAMA理事長）

日本では子どもの貧困が問題化する一方、大量の食品が廃棄されている「食品ロス」の問題があります。この2つの問題を解決すべく活動するのが「フードバンク」。東京八王子南ロータリークラブ(RC)会員で、NPO法人フードバンクTAMA理事長の神山治之さんに、フードバンクについて、またロータリアンとしてできる支援について伺いました。

「フードバンクTAMA」設立経緯を教えてください。

ロータリアンとしてさまざまな奉仕活動をしてきた中で、「子どもの貧困」に関するニュースがメディアで取り上げられ、実際に八王子市でも学生主体の子ども食堂が誕生し、知人たちが手伝っているのを見聞きして、自分に何かできることはないだろうかと思っていました。

そんな時に、先輩ロータリアンに紹介されたのが「フードバンクTAMA」の現事務局長です。「定年に当たり、仕事一筋だったので地元で恩返しをしたい。フードバンクと一緒に立ち上げないか」との彼の申し出に二つ返事で応じたのが2016年5月。翌6月にNPO法人取得に向け設立総会を開き、9月に「特定非営利活動法人フードバンクTAMA」の認定と法人登記を行いました。

活動範囲は多摩地域全域で、各市役所・社会福祉協議会などと連携して活動。八王子市内は児童養護施設、子ども食堂、無料塾（貧困家庭などの子ども対象の学習塾）、日野市・立川市内は学習支援団体、施設、一人親団体の個人宅、社会福祉協議会経由で個人宅へ。町田市、昭島市、多摩市などへも幾つかお届けしております。

フードバンクとはどのような活動でしょうか。

簡単にいえば「食べられるのに廃棄されている食料品を集めて、食品を求めている各所に届けるボランティア活動」ですね。寄付元が一般家庭の場合は問い合わせを

受け、近所なら引き取りに伺います。宅配便などで元払いで送ってくださる方も多いです。着払いが減りました。予算が少ないので、元払いは助かります。

企業・団体が「フードドライブ」などで一般家庭から食品を集めてくれる場合もあります。食品メーカーからの寄贈や、個人農家・家庭菜園の持ち込みもあります。

対象となる食料品は消費期限が1カ月以上あるもので、肉、魚、酒は除外します。米や缶詰は助かります。野菜は届けるタイミングに合わせてお預かりしています。

運営で苦労されている点、課題は。

メンバーは仕事を抱えながらのボランティア。「できる人ができる時にできることを無理なく」を基本に、手分けして作業していますが、専任ではないので作業時間が足りない。一方で、学生ボランティアも定年後のボランティアも、主催したシンポジウムなどをきっかけに増え続けているので助かっています。



八王子「ほっこり食堂」に寄付(右が神山さん)

食料品は安定的に欲しいところです。特に米や缶詰、野菜など、すぐに食べられるものを増やして配ってあげたい。いきなり規模を大きくしても続かないので、身の丈に合った活動をして、徐々に増やしていきたいと考えています。継続できなければ意味がないですから。

利用者はどのような方が多いでしょうか。また、喜ばれる（喜ばれない）食材の傾向はありますか？

お届けする家庭については、個人情報保護の観点からほとんどは特定できていません。社会福祉協

DATA

食品ロス

日本国内の年間食品廃棄量は、国内市場に出回った食料約8,300万トンのうち約2,800万トン。そのうち売れ残りや期限を超えた食品、食べ残しなど、本来食べられたはずの食品（食品ロス）は646万トンとされ、これは飢餓に苦しむ人々に向けた世界の支援食糧の量（約320万トン：国連WFP調べ）を大きく上回ります。

参考：政府広報オンライン、環境省・農林水産省「食品廃棄物等の利用状況等（平成27年度推計）」、国連WFP「数字で見る国連WFP 2016」

世界の支援食糧量（2015年）

約320万トン

国内市場に出回った食料
約8,300万トン

年間食品廃棄量
約2,800万トン

食品ロス
約646万トン
(2015年)

議会や生活自立支援課など行政と連携して、さらにきめ細かいサポートができればと考えています。

児童養護施設では、米が喜ばれます。米の費用が他に回せるので、その分おかずが増えたり、ボリュームアップできるのです。防災備蓄品は施設も持っているのですが、期限間近の備蓄品は遠慮されます。また、食事メニューが決まっているので、突発的に野菜を届けようとしても、引き取っていただけないこともあります。でも根菜など、日持ちがするものは大丈夫。

貧困家庭や一人親家庭では、すぐに食べられるものが喜ばれます。野菜の値段が高騰した時期に野菜を届けたら、非常に喜んでくれました。乾パンはあまり人気がなく、防災備蓄品も喜ばれません。最近の備蓄品のパンは柔らかく味も良いのですが、毎日食べられるようなものではありません。ぜいたくかもしれないけど、一人の人間ですから、「貧困なのだから、これを食べさせてあげよう」とではなく、ちゃんとした物を食べさせてあげたい。

設立から約2年。時代の変化は感じられますか。

認知度は上がったと思います。企業側も「ただ捨てるならどこかで活用してほしい」との気持ちがあるので、防災備蓄品の問い合わせも増えました。しかし、量や期限日、品質などでお受けできないものもたくさんあります。

大学生からの問い合わせも多くなってきました。卒論などのテーマに「フードロス」「フードバンク」「子ども食堂」「貧困問題」などを取り上げる学生が増えました。ボランティアをしてもらえよう、話をしています。

一般向けのシンポジウムや「子ども支援プロジェクト」も開催されていますが、反応などを教えてください。

子ども食堂運営者など現場の方や識者を招き、「子どもの貧困」を考えるシンポジウムを開いています。6月に開催した第3回は、社会活動家で法政大学教授の湯浅誠氏を招き、予想をはるかに上回る160余人が来場、主催者としてうれしく思いました。このように、一般の方々の関心があることが大事で、生活が赤信号状態の方々は行政や専門職でないと救いきれませんが、その手前の黄色信号の方々を地域の人たちの手で救うことができますから。

「子ども支援プロジェクト」は、給食がない夏休みなどの時期に、簡単に食べられる物を箱詰めして、一人親の家庭や生活保護・就業支援の家庭などに、社会福祉協議会や団体を通じてお届けするものです。子どもには楽しい長期の休みですが、給食で栄養を取っていた子には厳しい期間。働いている親御さんから「一日中家にいる子どもを何とかしてあげたい」と気持ちを打ち明けられ、大変切ない思いで話を聞いたことがあります。届けた時、



サッカーJ2・町田ゼルビアのフードドライブ。ゼルビー君も応援！

子どもたちは宝箱を開けるようにとても喜んでくれました。もちろん親御さんたちも……。

フードバンクを支援したいロータリークラブは、どうするのが一番早い支援方法でしょうか。

地域ですでに活動している団体をサポートするのが望ましいと思います。ただし、「現状・実績などの考慮は必要」。困っている人に物が届かなければ意味がないので、その実績があるかどうか大切です。

また、ロータリーは単年度制ですが、このような支援は一生ものですから、クラブが継続支援できるかどうかのカギとなります。クラブによる継続奉仕が無理なら、ロータリアン個人でサポートしてもらえれば助かります。

私の所属クラブでは一個人の団体だけをクラブで支援することはできないという事情で、クラブからの援助は頂いておりませんが、会員数人が賛助会員として会費を出してくれています。自分がロータリアンでなければ、所属クラブも支援してくれたと思います。

その他、ロータリーとして関われることは。

第2750地区では2017年6月に「貧困の連鎖対策研究会」が発足、今年7月までに10回の会合を開いています。都心でも貧困の子どもが目立つようになりました。ここに参加するロータリアンも、最初は「そんな子どもはいないだろう」との気持ちで集まっていたのですが、話を聞いたり、地元を調べたりして、貧困家庭の問題に少しずつ詳しくなっています。

東京昭島中央RCの会員が立ち上げた子ども食堂には、TAMAからも食材を届けています。地域に根差す活動を続けた結果、子どもが成長し、地元で働くようになれば、街は活性化するはずです。次代を担う子どもたちが夢も希望も持てない地域社会では、先が見えてしまう。ロータリアンが一斉に、子どもが輝ける街づくりを目指すことができれば、「貧困の連鎖」を断つことに一石を投げられると思います。

行政の考え方や行動も少しずつ変わり始めています。現在、TAMAの活動を近隣の市や社協が見学を訪れ、それがフードバンクを立ち上げるきっかけになっています。この流れを絶やすことなく、ボランティア活動を無

理なく続けていきたいと思えます。

最初の一步が踏み出しにくいかもしれませんが、「始めたら続けなきゃいけない」と思っていたら、何もできませんし進みません。できなくなったらやめても構いません。ボランティアですから。「できる人ができる時に

できることを無理なく」、しかも楽しく続けていけたら、地域はとても住みやすい街に変わります。

皆で変えていきましょう。皆さまの温かいご支援を、よろしくお願いいたします。
(第2750地区 東京都)
フードバンクTAMAウェブサイト <http://foodbank-tama.com>



学習支援、就労支援で子どもに未来を

貧困率ワースト1——教育で「負の連鎖」脱出を

沖縄県は高校進学率や高校中退率、ひとり親世帯数や子どもの貧困率、平均所得などの教育的・社会的・経済的な「ワースト1」を課題として抱えている。中でも、生活保護世帯の子どもたちの高校進学率は、沖縄県全体

コザRC 坂 晴紀 (特定非営利活動法人エンカレッジ代表)

の進学率と比較して10%ほど低く、十分な教養や経験を身につけないまま社会人となってしまう、その子自身が大人になったときに貧困という「負の連鎖」に陥ってしまう。

子どもたちを取り巻く環境は、単に「欲しいものが買えない」「おなかいっぱいご飯が食べられない」といった経済的な問題だけではなく、「誕生日を祝ってもらったことがない」「相談できる相手がいない」といった精神的な孤独も抱え、課題をより大きくしている。沖縄県が抱えるこれらの課題の中で、とりわけ何に働きかければよいのだろうか。

その答えは「教育」である。私が代表を務める「NPO法人エンカレッジ」では、低所得世帯の子どもたちへしっかりと教育を施すことが沖縄の社会をより豊かなものにしていくと考え、2008年から「無料の通塾支援」を始めた。現在では「居場所型学習支援教室」として生活保護世帯、準要保護世帯の小学生から高校生を中心に受け入れ、学習支援、就労支援を主に実施し、一部教室では食事提供も行っている。



社会人として会員が直接交流し、子どもの就労意欲向上を目指す

DATA

近年増える子ども食堂

全国の子ども食堂の数は、朝日新聞の調査では2013年に21カ所、16年に319カ所(2016年7月1日朝日新聞デジタルより)。調査手法は異なりますが、18年、こども食堂安心・安全向上委員会が発表したデータ(=右表)では、少なくとも2,286カ所と急増しています。

子ども食堂の課題は……

農水省が2017年に調査し全国274の子ども食堂運営者から回答を得たアンケートでは、現在、運営にあたり感じている課題として「来てほしい家庭の子どもや親に来てもらうことが難しい(42.3%)」「運営費(立ち上げ時を除いた普段の運営にかかる費用)の確保が難しい(29.6%)」「運営スタッフの負担が大きい(29.2%)」などの声が寄せられています。

出典:農林水産省「子供食堂と地域が連携して進める食育活動事例集」(平成30年3月)

都道府県別の子ども食堂の数
(4月3日時点、こども食堂安心・安全向上委員会調べ)

北海道	113	石川	20	岡山	25
青森	8	福井	15	広島	26
岩手	17	山梨	12	山口	14
宮城	44	長野	68	徳島	7
秋田	11	岐阜	22	香川	15
山形	8	静岡	40	愛媛	13
福島	13	愛知	66	高知	51
茨城	19	三重	26	福岡	90
栃木	23	滋賀	95	佐賀	11
群馬	26	京都	94	長崎	7
埼玉	83	大阪	219	熊本	31
千葉	62	兵庫	53	大分	30
東京	335	奈良	34	宮崎	18
神奈川	169	和歌山	20	鹿児島	24
新潟	28	鳥取	27	沖縄	127
富山	8	島根	19	計	2,286

クラブ会員が「社会人と触れ合う場」を提供

エンカレッジではキャリア教育の一環として、コザRCと協力し、職業人講話といった社会人と触れ合える場を設け、子どもたちの職への意欲向上を目指している。また、そのつながりから、コザRCを通して子どもたちのアルバイト先や就職先を担う役割を果たしている。

沖縄県の人口増加のピークは2025年までらしいが、2030年以降も増加するという上方修正もあり、日本で一番遅くに少子化を迎えるだろう。半面、沖縄県の子どもの貧困率が29.9%と高いのもまた事実であり、それに伴い就学援助児童も年々増えている。沖縄、そして日本の未来の繁栄には、低所得世帯の子どもたちの「教育」への持続的な投資が欠かせない。（第2580地区 沖縄県）



学校とは違う環境での居場所づくりを

家庭学習が困難な子どもに居場所を

足立区は、行政による就学援助率（P14参照）が直近の平成27年度調査でも全国平均の2.2倍以上。東京都で最も高い状態となっています。

東京中央RCでは「全ての子どもたちが未来に明るい夢と希望が持てる社会の実現」を目標に、活発な社会奉仕活動を長年行ってきましたが、2016—17年度は、この足立区が設置する「居場所を兼ねた学習支援事業」への支援を始めました。これは、保護者が仕事で帰りが

東京中央RC 金田 治

遅い、経済的に塾に通わせるのは難しいなどの理由で家庭学習が困難な中学生を主な対象に、家庭に代わる学習の場所と安心して過ごせる居場所を提供するものです。クラブの支援としては、対象中学生に、成長期に大切な情操教育の一環として「バーベキュー大会」など、自然の中での体験型学習プログラムを提供しました。

子どもたち同士が学校とは違う環境で子どもたち同士が友情を深め、学習意欲を向上させ、さらには自立心向上につながることを目標に、支援プログラムを企画・立案。「貧困の連鎖」を断つことを課題として真剣に取り

そば打ちを生かして「さいたま子ども食堂」を支援

大宮中央RC 堀越 太志

長年の「そば打ち」奉仕を生かした支援を

大宮中央RCでは10年以上前から毎年、知的障害者施設で会員と学生ボランティアが協力し合い、入所者の方々に手打ちそばを味わっていただいていた。また、

2017—18年度、当時の坂仁視会長が「地区補助金を活用した新しい支援に挑戦できないか？」と提案。そこで、続けてきた「そば打ち」を生かしたものにしようと、クラブ内で「食」に関する活動を検討、「子ども食堂」を支援することにしました。主な理由は、以下の通りです。

- ①日本のひとり親世帯の増加率は、30年前の1.5倍であり、生活保護受給率は一般世帯の2倍。逆に、大学進学率は一般世帯の2分の1であること。
- ②生活（仕事）に追われるひとり親世帯の多くは「貧困」

という問題を抱え、仕事のため帰宅も遅く、その子どもの多くは「孤食」であること。

支援先は大宮市社会福祉協議会の紹介を得て探しました。複数の候補があった中から「さいたま子ども食堂」（さいたま市緑区）に決定。食堂運営が安定し継続できることや、代表者の方の情熱を感じたからです。

「君たちは一人ぼっちではないぞ」のメッセージ

昨年度はそば打ちを中心に3回ほど支援し、米山奨学生の協力も得て、子どもたちと留学生が触れ合う機会も提供できました。

毎回、子どもと親御さん計50人ほどが参加されます。会員も同じ食卓を囲み、子どもたちが笑顔で食事をしている姿を見ながら、「決して君たちは一人ぼっちではないぞ

……誰かが見守っているから頑張れ!!」というメッセージを伝えられたのではと考えています。

今年度は、昨年度の経験を生かし、新たに開設する子ども食堂の支援に取り組みます。

（第2770地区 埼玉県）

左：米山奨学生を含む中国人留学生とも交流 右：食べるだけでなく、一緒にそばを打ちました



組む足立区を支援することで、子どもたちを社会的な孤立から一人でも守ることができればとの思いでした。

2017 - 18 年度は、貧困家庭の子どもたちへの支援

団体「特定非営利活動法人キッズドア」と共に、子どもたちの希望を大幅に組み入れたプログラムとして、次の3つのプログラムを提供しました。

1. 社会に出て役立つ体験として、「物づくり工場見学」、自然の中での「アスレチック体験とバーベキュー大会」(夏休み) 2. 達成感を得る経験として「収穫体験」と「バーベキュー大会」(秋) 3. 「この仲間だからこそ実現できた」という喜びを子どもたち自身が表現する場として、「卒業記念修了式」と懇談会

「めっちゃ楽しかった」「この仲間と一緒に最高」

さらに、4 回目となるクラブ主催の本格的な弦楽コンサート「クリスマスコンサート Dream IV」に、他地域の子どもたちにも参加を呼び掛けました。

これらに参加した子どもたちからの「今日はめっちゃ楽しかった」「バーベキューおいしかった」「この仲間と一緒に最高」「ロータリーの皆さんありがとう」のお礼の言葉と笑顔は、私どもへの最高のプレゼントです。回を重ねるたびに、成長する子どもたちの姿は宝物です。これも多士済々な会員の職業、経験から得られた知見とアイデアが充実したプログラムを支えてくれたと、担当委員として感謝の気持ちでいっぱいです。

今後とも継続して、夢と希望をかなえるプログラムを多くのロータリアンの協力を得て提供することで、子どもたち一人一人が未来に明るい夢と希望が持てる社会を実感してほしいと願っています。 (第 2750 地区 東京都)

「池田こども食堂さくら」を支援して

池田 RC 名村研二郎

地区補助金で子ども食堂開設を支援

池田 RC は 2016 - 17 年度、池田市と協同で子ども食堂開設支援事業をスタート。地区補助金も活用し、開業設備投資など 60 万円を支援しました。2017 - 18 年度もより細やかに支援し連携を図ろうと、当時 4 カ所オープンしていた子ども食堂のうち「池田こども食堂さくら」の支援を行いました。

新春もちつき、クリスマスパーティーなど、月 4 回のうち 1 回はイベントを開催

他に主要事業がある母体が子ども食堂を始めるケースは多いのですが、「池田こども食堂さくら」のように、個人で子ども食堂をメインに運営を開始したところはまれで、事業継続の上で経済的に厳しい状況にありました。しかし、子ども食堂にかけ的事业者の思いは強く、運営さえ安定すれば、子どもの居場所としてその存在意義は大きいと判断し、支援することになりました。

クラブも会員も池田市とつながりを持っており、市への補助金申請の助言や市長のセレモニー出席依頼などの調整を行ったほか、チラシの配布先や掲示先も紹介しまし

た。また、この食堂では運営資金調達のため、おにぎりや仕出し弁当の販売を行っており、職場や地域のイベント時に注文したり、例会時の



①「物づくり工場見学」で雪印メグミルク野田工場を見学 ②火おこしに苦労しながらバーベキュー ③卒業記念修了式と懇談会に向け、在校生が卒業生のために料理を準備 ④卒業生に修了証授与



RCCで県内の「子ども食堂」を支援

あいち子ども食堂ネットワークRCCの取り組み

名古屋名東RCC 藤野 直子

子育てをする中で感じた子どもの貧困問題

「東大生の親の6割以上は、年収950万円以上」というデータがあります。自分自身が子育てをする中で、経済格差を痛感する場面に出会うことが多々あり、「親の収入で子どもの教育の機会が左右されることがあってはならない」との思いを抱いてきました。

愛知県では2015年、長久手市に初の子ども食堂が誕生して以来、現在は約70カ所で開設されています。かねてから「子どもの貧困・教育格差問題」に取り組むたいと考えていた私は、クラブにロータリー地域社会共同隊(RCC)委員会を立ち上げ、昨年「あいち子ども食堂ネットワークRCC」を結成。県内の子ども食堂を統括する「あいち子ども食堂ネットワーク」をRCCとして支援しています。

子ども食堂の運営者は、元教師、病院職員、主婦、レストラン経営者、元会社員などさまざまで、基本的に本業や他のボランティア活動もしながら「毎月第1水曜日」などと決めて食堂を開いています。食材はカンパや農家からの提供で賄っています。

子ども食堂は、開設のハードルは低いのですが、継続するには資金、食材、場所、ボランティアの手配、衛生管理、アレルギー対策、広報など多くの課題があります。

開催の義務はないので、ボランティアが「もうお手上げ」となれば簡単に終わってしまいます。ですから、運営者の「やる気」がなくならないような支援が必要なのです。

また「誰でも気軽に来られる環境づくり」も大切です。「子ども食堂＝貧困」のイメージがつくと、本当に支援の必要な方が来られなくなるので、「貧困」という言葉はタブーです。実際、利用者も小学生の友人同士、幼児連れのシングルマザー、兄弟姉妹、高齢者など本当にさまざま(傾向として、父親は少数)。中にはご飯を4杯もおかわりする子がいて、「毎日子ども食堂があったらいいのに……」と言っているのを聞いて、胸が締め付けられたという運営者もいます。

また子ども食堂は、単なる食事

名古屋市の「わいわい子ども食堂」。この日は子ども約100人、大人約30人が参加。約200人分の食事を提供しました



昼食をお願いしたことも。

当時自分が小学校のPTA役員を務めていた関係で、開催日以外の日にそこを懇親会会場として利用し、子ども食堂への支援を募りました。今ではいくつかの団体の会議や懇親会などで使用され、PTAとつないだことでいろいろなイベントで連携を図れるようにもなりました。

貧困の子どもだけでなく、誰でも気軽に寄れる場所を

子ども食堂の話をする時に、よく言われることのひとつに「食事が必要な子どもと、そうでない子どもの区別はできているのか? 親の怠慢で食べに行かされているのではないのか?」というのがあります。

しかし、もし子ども食堂に何らかの基準が設けられ、経済的にしんどい家庭の子どもしか利用できないとしたら、通ってくる子どもへの偏見につながるのではないのでしょうか。子ども食堂は誰でも気軽に寄れる場所であるからこそ、子どもたちの居場所として成立すると感じています。実際、親子で来られる方も多く、親の居場所にもなっています。また、「食」という、誰にとっても身近な体験を通じた地域のコミュニティとなっているところにも、子ども食堂の大きな可能性があると感じています。

行政や地域との懸け橋がロータリーの役割

ロータリーとして「子ども食堂」への支援を考える時に、「経済的な支援」は分かりやすく効果的です。しかし、ボランティアとして運営を人的に支援していくことは継続が難しいでしょうし、常に何人かのロータリアンが入り込むことは、時として、子どもが心安らぐ居場所を邪魔してしまうリスクもあると感じています。

ロータリーとして大切な支援、それは子どもたちの大切な居場所である「子ども食堂」を、行政や地域にきちんとつないでいくこと、そして「子ども食堂」自体が地域でその「居場所」を確立し、存続し続けられるように見守り、必要なときに必要な援助をすることではないでしょうか。

実際、いろいろな団体とつながることで、運営は厳しくても着実に「居場所」として定着してきています。地域で存在意義を発揮している地元のロータリークラブとつながっていること自体が、「何かあったら相談できる」という大きな支援になっていると感じています。

試行錯誤を重ねながらも、「池田こども食堂さくら」は地域の中で、力強く、その歩みを自ら進めています。

(第2660地区 大阪府)





アレルギー対策受付。参加者の自己申告に頼っているのが現状



子ども、家族連れでにぎわいます

毎月開催されるRCCの幹事会にロータリアンが積極的に参加し、支援で実績を積み、今では大変良好な協力関係になりました。幹事会後の「居酒屋飲み」は、本音で語り合

の提供にとどまらず、「子どもの居場所づくり・学習支援」の拠点の役割へと発展しています。家庭に本が一冊もないお子さんや、漢字が書けない中学生のために、子ども食堂は大きな役割を担っており、大学生が学習支援を行っている食堂もあります。

当RCCでは、子ども食堂同士での情報交換や学習交流会の開催、行政への働きかけなどを行っています。今年6月の総会では、「養護施設に行く前の、黄色信号の子どもを必要な支援にどうつなぐか」が大きな関心となっていました。

ロータリーならではの支援とは

RCCの結成により、継続的で充実した奉仕活動が可能になりました。結成に至るまでには、子どもの貧困についての認識不足やRCC定款・細則との整合性への指摘、子ども食堂運営者への信頼性の疑問（NPO法人格や社会福祉法人格がない）など、ロータリークラブ内で理解を得るのに苦労しました。

また子ども食堂運営者の中にはロータリークラブに偏見を持たれる方もいて、意思疎通には時間が必要でした。

える貴重な時間です。

名古屋名東RCCでは「資金集め」「食材提供」「広報活動」に重点を置き、また、個々の子ども食堂へのお手伝いも、時間の許す限り会員が出掛けております。今では会員から子ども食堂の手伝い（主に皿洗い）、ネットワークへの寄付、食材提供企業の紹介といった協力が相次ぎ、運営者からは「応援団がいると、継続の励みになる」とのお言葉を頂いております。

すでに実践している団体へのサポートが有効

子どもの貧困対策については、民間や行政がさまざまな取り組みを始めていますので、ロータリーとしては、すでに実践している方々へのサポートが即効性があると感じています。例えば食中毒、アレルギー症状など万一の事故に備え、子ども食堂の保険加入がかねてから課題となっており、保険料の支援という形も可能と思います。汗をかく奉仕ももちろん必要ですが、子ども食堂に関しては、まず資金援助が最も有効と感じています。

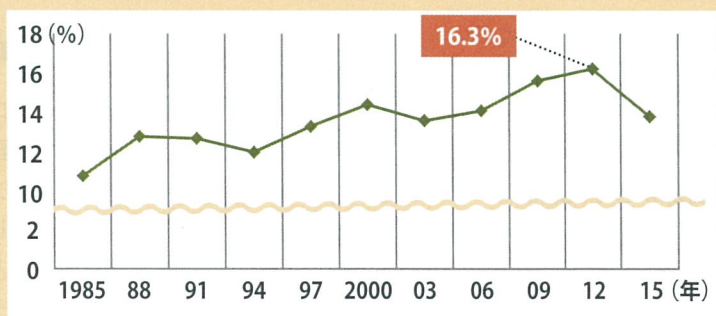
「1小学校区に1カ所の子ども食堂開設」を目指し、活動を続けてまいります。（第2760地区 愛知県）

DATA

子どもの貧困率

日本の子どもの相対的貧困率は2012年に16.3%となり「6人に1人の子どもが貧困」と問題になりました。14年に「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が施行され、15年は13.9%と改善したものの、国際比較では高い水準とされています。また、ひとり親家庭の相対的貧困率は54.6%（12年）です。

参考：内閣府「子供・若者白書」、厚生労働省「ひとり親家庭等の現状について」（平成27年4月20日）

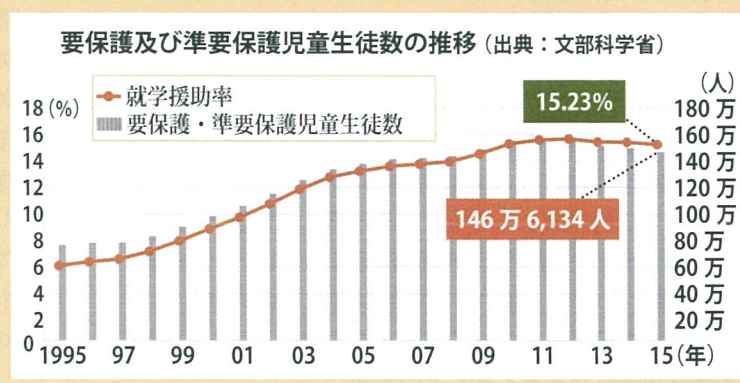


子どもの相対的貧困率
(内閣府「子供・若者白書」、厚生労働省「国民生活基礎調査」より作成)

就学援助

経済的理由で就学困難な小中学生の保護者に対し、市町村が学用品など必要な費用を援助する「就学援助制度」。その対象となる要保護・準要保護児童生徒数は少子化の影響などで減っていますが、児童生徒総数（公立）に対する割合（就学援助率）はあまり減っていません。2015年は15.23%で、約7人に1人が就学援助を受けています。

参考：内閣府「子供・若者白書」





ロータリーの友月間

積んどく？ いや、読んどく

毎月、何気なく届く『ロータリーの友』に改めて思いを寄せてみてください。今回は、『ロータリーの友』の制作に当たって、欠かすことのできないロータリーの友地区代表委員の役割を紹介するとともに、『友』を活用し、クラブの活性化につなげている事例を紹介します。

『友』を支えるロータリーの友地区代表委員

ロータリーの友地区代表委員ってどんな人になる役割？

ロータリーの友地区代表委員とは、『ロータリーの友』に関して、ガバナーと連携し建設的な提言をする役職です。ガバナーから「ガバナーの代理」として任命されるため、ガバナーと緊密に連絡を取ることができるガバナーと同じクラブの会員、または、地区の諸事情に詳しい地区幹事経験者などが選ばれることが多いようです。地区でただ1人の役職であり、職業奉仕委員会、ロータリー財団委員会のような委員会組織がある地区も少ないため、あまり知られていないのが現実ですが、読者の皆さまと『友』をつなぐ大切な存在です。各地区の地区代表委員は横組み目次P 5を参照ください。

どんなことをしているの？

地区代表委員には、オリエンテーション、ゾーン別会議を含め、年に4回の会議に出席して、各地区の情報を報告してもらいます。友編集部には6人のスタッフがいますが、ロータリアンはいないため、地区代表委員から、各地区内のクラブの奉仕活動や話題になっていること、課題点など、会員の視点でもたらされる情報は大変貴重です。それらを基に編集部では特集など、企画を組んでいきます。

また、『友』を読み、雑誌の出来を評価して、毎月リポートを提出していただいています。このリポートのご意見は毎月開かれる（一社）ロータリーの友理事会で報告され、『友』の編集につながります。

地区代表委員の声にお応えして……

これまでに参考にさせていただいたご意見の一例として『友』の現場の“顔”が見えないので、親近感を持ちにくい」というご意見を受け、今年1月号では、編集担当理事とともに編集スタッフが（文字通り）“顔”出しをしています。7月号からは、「編集部あと“あ”がき」としてコメントを少しずつ紹介しています。

ロータリーの友事務所で制作している「ロータリー手帳」など、『友』以外の出版物へのご意見もいただき、次の制作の際、参考に進めています。

地区代表委員以外のロータリアンの皆さまへのお願い

編集部からは地区代表委員に、「こんな情報がほしい」「あんな情報もほしい」とお願いしています。このため、地区代表委員は情報を集めるためにクラブや地区に問い合わせをしたり、各種会合などに出席することがあります。そんな時は、「なんで来たんだ」「なぜそんなことを聞くんだ」とおっしゃらず、快く情報をご提供ください。お伝えくださった情報が必ずしもすぐに『友』に掲載・反映されるとは限りませんが、特集や企画のヒントとなって、今後に活かされてくることになります。

また、地区代表委員には『友』のPRも行っています。9月はロータリーの友月間です。今月に限ったことではありませんが、例会で、『友』に関する卓話のご要望があるクラブは、ガバナー事務所を通して、地区代表委員にお知らせください。『友』編集長 野崎 恭子

7月1日の合同会議での引き継ぎでは……



最初は嫌な役を押し付けられたなと思っていましたが、勉強になる一年でした

他地区の委員さんと情報交換できたことが、これからのロータリー活動に役に立ちそう



うちの地区は元地区代表委員がOB会をしているから、先輩たちに何でも聞いてね





『友』はネタづくりの材料

親睦から広がるロータリーへの理解

八戸RC 2017 - 18 年度会長 妻神 和憲

2017 - 18 年度、八戸ロータリークラブ（RC）では、クラブテーマとして「より集い、より語り合おう！」を掲げ、それを実行するための取り組みの一つとして『ロータリーの友』（以下『友』）を活用した取り組みを行いました。

『友』には多くのロータリー情報が掲載されており、その情報をクラブ会員みんなで共有し、改めてロータリーの基本理念を考えようということです。

この一年を通して、雑誌委員会を中心に、『友』を活用した以下の施策が実行されました。



①『友』を卓話で紹介

これまでの毎月の『友』の紹介は、委員会報告として食事中に行われていましたが、これを毎月初めの例会時の卓話の中で、雑誌委員会から『友』を紹介することにしました。会員全員で『友』紹介に耳を傾けて、注目記事、指定記事などしっかりと内容を読み込むことで、ロータリーの基本理念や奉仕の精神について、より理解を深めることができました。

②『友』読後会を毎月開催

毎月1回、八戸のおいしい料理とお酒を堪能しながら、『友』や、『友』以外のさまざまなことについて語り合う「『ロータリーの友』読後会」と称する^{*}IDM（Informal Discussion Meeting）を実施しました。

この読後会では、ベテラン会員から新会員までが一堂に会し、記事について、また自分なりのロータリー観などについて話し合いました。ベテラン会員からはロータリーの歴史や変遷についての話、中堅会員・新人会員からはそれらに対する感想など、いろいろな意見、考えが飛び交いました。

また、話は『友』の話題から発展し、今後の八戸RCの未来を展望した意見交換や家族のこと、趣味の話と、話題がさまざまな方向に向けられ、会員相互の親睦を深める絶好の場となっています。

③『友』紹介の工夫

例会時、卓話での『友』紹介については、雑誌委員会が毎月『友』を一枚ものの用紙にまとめて全員に配布し、それを読んでもらいながら紹介を行いました。

近隣地域のクラブや友好クラブの動向だけでなく、世界のロータリアンから国内のロータリアンまで、どこで何が行われているか、ということ全員で共有。また、雑誌委員会が抜粋した注目記事を取り上げることで全員での情報共有を図り、理解を深めることができました。

以上の取り組みにより、これまで以上にみんなが集って多くのことを語り合い、そしてお互いのことを知り、さまざまな職種の会員が「ロータリー」という共通の言語を持って、親睦を深めていくことができました。

この一年間の卓話での雑誌紹介、読後会での意見交換を通して、『友』の記事で、最も会員が興味を持って話題に挙がっていたものは、縦組みの「S P E E C H」。各地区で行われる地区大会や、インターシティーミーティング（IM）で行われる講演要旨をまとめた本欄についての感想が一番多く語られておりました。各地区大会やIMに参加せずして、その場所で行われた素晴らしい講演内容を知ることができるのですから、こんなにありがたいものはありません。

同じく縦組みの「卓話の泉」「友愛の広場」記事に対する意見、感想も年間を通して活発に語られていました。特に、職業奉仕に関する記事には皆注目しており、第



2017 - 18 年度雑誌委員長の小城直樹さん。毎月、雑誌委員会メンバーとともに2～3ページの「雑誌委員会便り」を作成

これまで『ロータリーの友』を読むことはめったになかったのですが、出席した方々の話を聞き、かなりのボリュームで情報の詰まった素晴らしい雑誌であるということを実感しました。

お酒も入り、楽しく笑いの絶えない読後会は、入会して日も浅い私にとっては非常に貴重で有意義な時間となりました。

奉仕の理念など、ロータリーの精神について勉強することができました。

日頃はなかなかお会いできず、お話しする機会のない異業種の諸先輩方と、お酒や美味しい料理も加わり、ざっくばらんに話すことで、さらなる親睦を深めることができました。

2840 地区（群馬県）パストガバナー・本田博己会員の職業奉仕に関する寄稿（『友』2017 年 1 月号横組み P 14～17）を巡ってその後さまざまな投稿がありましたが、クラブの卓話での紹介時や『友』読後会でも、その話題で盛り上がりました。「そもそも、職業奉仕とは？」に始まり、社会奉仕への発展、そして「決議 23－34」に至るまでと議論は発展し、新会員にとってはロータリーを知る素晴らしい教科書となっています。

このように、八戸 RC では、積極的に『友』を活用して、クラブ運営の活性化を図ることができました。「読後会」などと堅苦しい名称ですが、中身はロータリー的话题を中心に置くだけで、脱線も織り込み済み。むしろ、ネタづくりの中心に『友』というアイテムがあり、みんなが

親睦を深めるために集まる貴重なツールとなりました。

「ツン読」から少しは脱却できたこの『友』の卓話での紹介と『友』読後会」は 2018－19 年度も継続されております。皆さんのクラブでも実施されてはいかがでしょうか？

（第 2830 地区 青森県）

Annotation

インフォーマルミーティング（Informal Meeting）

炉辺談話、通称「炉辺会合」ともいわれたこの集いは、名称に「座談会」「家庭集会」「情報集会」（英文の表記は全て Informed Group Meetings）などと変遷がありました。国際ロータリーニュースには、Informal（Discussion）Meeting = I M、I D M という表現もありました。現在、言葉そのものは『手続要覧』に見られませんが、クラブによってさまざまな名称で集会が行われているのが実態です。

ロータリーデーで、広報誌『世界と日本』を活用

名張中央 RC 東 和伯

2018 年 4 月 7 日、名張市主催の桜祭りに合わせ、男山桜の森で第 3 回ロータリーデーを開催しました。この森は、当クラブがロータリー 100 周年記念事業の一環として雑木林を造成し、100 本の桜の苗木を植樹、管理し続けています。

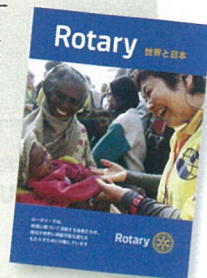
小学生以下の児童、幼児を対象に、恒例のお菓子

つりを実施。楽しみにしている子がいることを聞き、このイベントとロータリークラブの認知度が高まっていることを実感しました。

会場にポリオ撲滅のパネルを配置し、広報誌『ロータリー 世界と日本』と、わがクラブの奉仕活動を紹介したパンフレットを配布しました。350 個準備したお菓子や景品が予定より 2 時間ほど早くなくなるという盛況ぶりでした。地元ケーブルテレビや名張 FM 放送の取材があり、ロータリーの広報活動にも役立ったと思います。またポリオ撲滅への募金活動も行いました。

（第 2630 地区 三重県）

※各クラブへ、広報誌『世界と日本』を 1 冊ずつ見本誌として同封しています。クラブのイベントなどにご活用ください。





Rotary World Magazine Press

ロータリー雑誌の仲間たち

32の地域雑誌と『The Rotarian』を総称して、「ROTARY WORLD MAGAZINE PRESS」といいます。各地域雑誌では、その発行地域のロータリークラブやロータリアンの活動を紹介するとともに、『The Rotarian』から指定される記事を、その地域で使われる言語に翻訳して掲載しています。記事だけでなく、表紙にも、そのお国柄が表れています。



公式雑誌
The Rotarian
月刊 A4判変型
表紙共 64 ページ
英語
発行部数 500,000
1911 年創刊



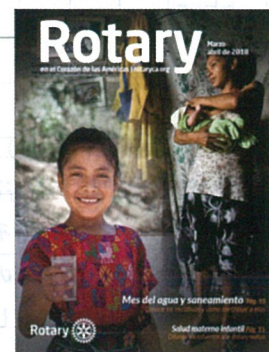
Vida Rotaria

アルゼンチン・ボリビア・パラグアイ・ウルグアイ 隔月刊
表紙共 72 ページ スペイン語
発行部数 12,000 1955 年創刊



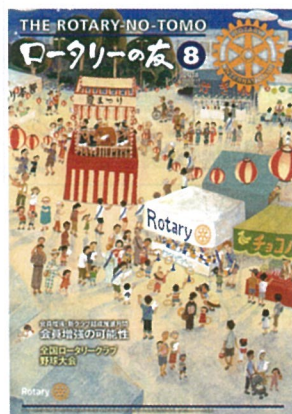
REVISTA ROTARY BRASIL

ブラジル 月刊
表紙共 76 ページ
ポルトガル語
発行部数 53,000 1924 年創刊



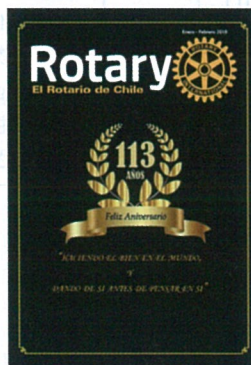
Rotary en el Corazón de las Américas

中央アメリカ 隔月刊
表紙共 54 ページ
スペイン語
発行部数 4,050 2017 年創刊



ロータリーの友

日本 月刊 A4判
表紙共 76 ページ
日本語
発行部数 95,500
1953 年創刊



El Rotario de Chile

チリ 隔月刊
表紙共 56 ページ
スペイン語
発行部数 4,500 1927 年創刊



COLOMBIA ROTARIA

コロンビア 隔月刊
表紙共 36 ページ
スペイン語
発行部数 3,500 1970 年創刊



revista rotaria

ベネズエラ 隔月刊
表紙共 24 ページ
スペイン語
発行部数 9,900 1992 年創刊



EL ROTARIO PERUANO

ペルー 隔月刊
表紙共 64 ページ
スペイン語
発行部数 3,000 1932 年創刊



Rotary en México

メキシコ 隔月刊
表紙共 52 ページ
スペイン語
発行部数 2,225 2017 年創刊



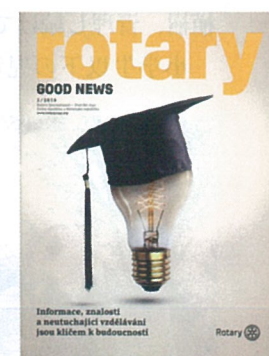
Rotary CONTACT

ベルギー・ルクセンブルク
年 11 回 表紙共 40 ページ
オランダ語・フランス語
発行部数 10,850 1984 年創刊



ПОТАРИ В БЪЛГАРИЯ
(Rotary in the Balkans)

ブルガリア・マケドニア・セルビア
年 10 回 表紙共 32 ページ
ブルガリア語
発行部数 2,500 1995 年創刊



rotary GOOD NEWS

チェコ共和国・スロバキア共和国
隔月刊 表紙共 40 ページ
チェコ語・スロバキア語
発行部数 2,500 1990 年創刊



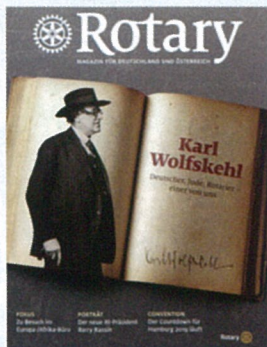
Rotary

英国・アイルランド 隔月刊
表紙共 52 ページ
英語
発行部数 53,000 1915 年創刊



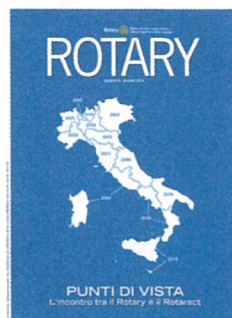
Rotary Mag

フランス他 月刊
表紙共 68 ページ
フランス語
発行部数 39,200 1952 年創刊



Rotary MAGAZIN

ドイツ・オーストリア 月刊
表紙共 124 ページ
ドイツ語
発行部数 62,095 1929 年創刊



ROTARY Italia

イタリア・アルバニア・マルタ・
サンマリノ 年 10 回
表紙共 68 ページ イタリア語
発行部数 40,000 1924 年創刊



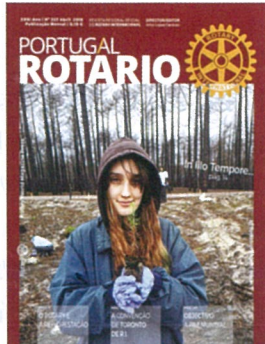
Rotary magazine

オランダ 年 8 回
表紙共 28 ページ
オランダ語
発行部数 20,000 1927 年創刊



ROTARIANIN

ポーランド 隔月刊
表紙共 52 ページ
ポーランド語
発行部数 2,000 2004 年創刊



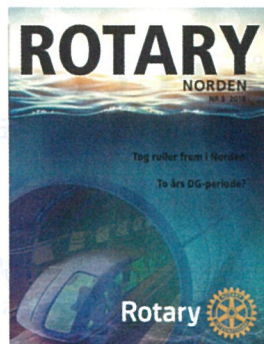
PORTUGAL ROTÁRIO

ポルトガル他 月刊
表紙共 32 ページ
ポルトガル語
発行部数 7,000 1984 年創刊



ESPAÑA ROTARIA

スペイン 隔月刊
表紙共 68 ページ
スペイン語
発行部数 6,000 2001 年創刊



ROTARY NORDEN

フィンランド・デンマーク・アイスラ
ンド・スウェーデン・ノルウェー
年 7 回 表紙共 68 ページ
スウェーデン語など北欧 4 語
発行部数 69,000 1936 年創刊



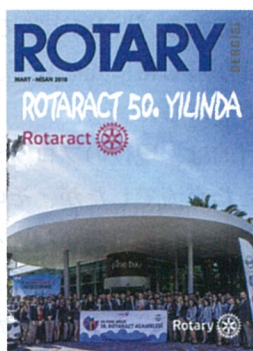
Rotary SUISSSE LIECHTENSTEIN

スイス・リヒテンシュタイン
年 11 回 表紙共 48 ページ
フランス語・ドイツ語・イタリア語
発行部数 12,000 1926 年創刊



ROTARY Magazine

エジプト他 隔月刊
表紙共 100 ページ
アラビア語・英語
発行部数 4,000 1929 年創刊



ROTARY DERGISI

トルコ 隔月刊
表紙共 44 ページ
トルコ語
発行部数 8,100 1983 年創刊



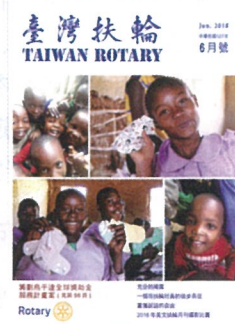
Ротарієць (Rotariets)

ウクライナ・ベラルーシ 隔月刊
表紙共 24 ページ
ウクライナ語
発行部数 1,000 2004 年創刊



ROTARY AFRICA

南アフリカ他 年 11 回
表紙共 36 ページ
英語
発行部数 4,658 1927 年創刊



臺灣扶輪 (TAIWAN ROTARY)

台湾・香港・マカオ・モンゴル
月刊 表紙共 104 ページ
中国語
発行部数 11,800 1960 年創刊



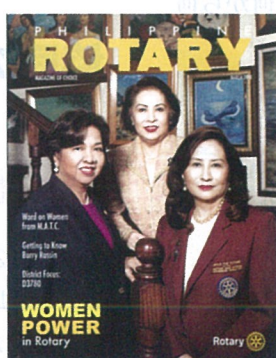
Rotary Thailand

タイ・ラオス・カンボジア
隔月刊 表紙共 56 ページ
英語・タイ語
発行部数 8,000 1983 年創刊



로타리코리아 (The Rotary Korea)

韓国 月刊
表紙共 88 ページ
韓国語・英語
発行部数 60,000 1963 年創刊



PHILIPPINE ROTARY

フィリピン 月刊
表紙共 48 ページ
英語
発行部数 15,000 1978 年創刊



Rotary DOWN UNDER

オーストラリア・
ニュージーランド他 年 11 回
表紙共 52 ページ 英語
発行部数 43,000 1965 年創刊



ROTARY NEWS

インド他 月刊
表紙共 84 ページ
英語・ヒンディー語
発行部数 97,000 1952 年創刊

第2760地区

第1回 青少年・学友交流フェスタ

青少年をサポートして

2017 - 18 年度地区インターアクト委員長 佐藤 裕彦

クロスプロモーション検討から運動会へ

6月17日、第2760地区内のロータリー青少年プログラムやロータリー学友のメンバー400人が参加し「第1回青少年・学友交流フェスタ」を愛知県豊田運動公園体育館で開催しました。この交流フェスタは地区内のロータリーのプログラムに参加する若者が中心となり、協同で企画運営した全国初の大運動会です。地区内では以前から座学形式の青少年クロスプロモーション事業がありました。しかし、より質の高い交流事業、全青少年プログラム参加者が参加できる事業がしたい、との考えで、言葉もいらない大運動会の案が出て、神野重行ガバナー（当時）の後押しで実施になりました。

ロータリアンは何をサポートすべきか

全てが初めての事業。声を掛けてみるまで全参加人数すら定まらず、会場の規模を決めるにもひと苦労。運動会自体を企画・運営するのももちろん初めてでした。運営スタッフとしてサポートの役割を担うロータリアンがどのくらい集まるかも心配の種でした。本当に何から何

まで不安でいっぱいだったのです。

しかし実行委員会がいざ動き出すと、その不安は一気に払拭されました。実行委員会の中心となったメンバーは一致団結。多くのロータリアンの協力もあり、質の高い交流が可能な備えが準備されていきました。具体的な助けの要請や、よほど大きな問題が発生しない限り、参加者募集、交通網の整備、運営資金面以外の全てにおいて彼らに企画・運営を任せました。ロータリアンが表に出ると、若者目線の企画、若者同士の交流も阻害してしまう恐れがあると感じていたからです。もっとも、弊害も発生しました。当日、想定よりも時間が余り、急きょ競技数を増やしたり、状況に応じてルール変更をしたり。裏方に徹しながらも常に先を見て、現場対応力を生かしながら運営できました。

本大会の目的は、現役のプログラム参加者と学友間の枠組みを超えた交流でしたが、その楽しさを味わえたとの声が参加者の多くから聞かれ、本大会の大きな収穫となりました。これも、任せられるところはしっかりと若者たちに任せる。そのような器量があったのと感じました。当地区では今回の変化をきっかけに、今後、われわれには想像もできない大きな化学反応が各グループ間で起こっていくと感じています。（第2760地区 愛知県）

協同のイベント企画・運営は…

RYLA学友会 大野 真以

突然の問い掛けに四苦八苦

昨年12月「地区の青少年奉仕委員会に出席してほしい」と、所属するRYLA学友会から連絡がありました。通常の会だろうと軽い気持ちで参加したところ、そこには私たちライラリアン以外にも、ローターアクター、ローテックス、米山学友も同席しており、ただならぬ雰囲気を感じました。そして、岡田雅隆・青少年奉仕委員長



交流フェスタの企画について議論する実行委員会のメンバー

(当時)から、「ロータリーのプログラムに参加している若い人にクロスプロモーションの事業をやってもらおうと思うけど、何がいい?」と突然尋ねられたところから、この「青少年・学友交流フェスタ」の企画がスタート。早速、実行委員会が立ち上がりました。

企画を検討するに当たり、実行委員会で何度も話し合う必要がありました。しかし、それぞれの活動があったり、活動の拠点が異なったりするなどの理由から、毎回メンバーが集まることは困難と判明。そこで、SNSを利用したウェブ会議やメッセージのやり取りで準備を進めることにしました。それでも全員の参加はなかなか難しく、また意見の食い違いなどから、企画の詳細を練り上げるのに苦労がありました。

実行委員会でまとめた企画や運営方法は、ロータリアンに説明し、アドバイスをいただきながら修正を重ねて準備しました。フェスタの直前には、私たち学友の話し合いに加わってもらい、詳細を再確認。とても心強く感じました。そういった中で、物事を多角的に捉える力、伝える力、柔軟に対応する力などを学ぶことができたと感じています。

6月17日、半年間の準備期間を経て、いよいよフェスタ本番を迎えました。当日の朝は、短時間で会場設営をしなくてははいけません。うまく指示が出せるか、時間内に準備できるかと緊張しましたが、集まったロータリアンは、私たちの作った運営マニュアル片手にどんどん手伝いを進めてくださり、本当に助けられました。参加者の協力もあって、プログラムの進行が予定よりも早く進んで時間が余ってしまうというハプニングもありましたが、ロータリアンの人たちはその状況を楽しむかのように冷静に対応。臨機応変に対応できる柔軟さを目の当たりにできたことも良い経験となりました。

次は後輩たちの運営に期待したい

今回の催しは全てが初めてで、先例がなく、ゼロからスタートしました。実行委員会はメンバーの所属するグループが違うこともあってか、リーダーシップを生かし切れなかったり、意見がまとまらないこともありました。しかし、そういった中でも話し合いを重ねながら協力して進めたことで、結果的に実りある事業にできたのではないかと感じています。実行委員会に加わったことで、自分が所属している学友会以外について知るきっかけにもなり、運営に携わった実行委員会が、真っ先にクロスプロモーションを体現できたように思います。私たちの姿を見て、次年度以降、進んで運営側に回ってくれる後輩たちが現れることを期待し、今後も各委員会の枠を超えた交流の橋渡し役として貢献できればと考えています。

(第2760地区 愛知県)



Annotation

R Y L A (Rotary Youth Leadership Awards)

ロータリー青少年指導者養成プログラムのこと。ライラと発音する。経験者はライラリアンと呼ばれる。

ローテックス (ROTEX)

ロータリー青少年交換プログラムによって、海外で勉強した経験のある人たちのグループの呼び名。

「ロータリー希望の風奨学金」 息の長いプログラムをどうするか

ロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会委員長 地葉 新司（潟上RC）

昨今、私たちの周りでは地震や津波、火山の噴火、台風や大雨による洪水や土砂崩れ、大規模火災など、自然災害や人的災害が続いています。そして、それぞれの災害に対し、さまざまな支援が行われています。私たちが2011年3月11日に経験した東日本大震災の後、ロータリーとして何ができるかを議論していた時、「次代を担う青年たちが進学希望を絶つことなく未来への夢を膨らませること、それは日本の、とりわけ東北の真の復興を支える大きな力となると確信し」、多くの地区の賛

同を得て、その年の11月に東日本大震災による被災児に対する教育支援プログラム「ロータリー希望の風奨学金」を開始しました。

1) 奨学生の実態報告

奨学金を支給される奨学生は4月1日から翌年の3月31日までの期間ですが、ロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会の会計年度は、国際ロータリーと同じ7月1日から翌年の6月30日としています。2017－18年度(第8期)給付奨学生の状況(資料1)もロータリー一年度の表示となります。プログラム開始以来、奨学生の総数は362人を数えます。最下段の「次年度への継続者123人」は7月1日現在の給付奨学生となります。

2) 支援金ならびに奨学金の実績報告

事業は目下2033年までをめどとしています。(資料2)にあるように、事業開始時の資金計画に対して約1億9千万円の不足となっていますが、これまでの皆さまの支援のおかげで、現在保有する資金で7年間は事

「ロータリー希望の風奨学金」の概要

この奨学金はロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会の運営する教育支援プログラムです。

奨学生の条件：

東日本大震災で両親もしくは片親を失った「遺児」で大学(短大を含む)、専門学校に学ぶ者

奨学金の給付：

入学から卒業まで毎月5万円を継続して給付し、返還を求めない

申請から登録まで：

①被災各県高等学校・遺児家族・本人から、在籍高等学校の推薦とともに申請を行う。資格審査(書類確認)の上、遺児には「奨学金給付者名簿登録済み」と「進学後に必要な手続き」を、推薦学校宛には「給付決定の通知」と「推薦に対するお礼状」を送付する。②申請者が既に大学や専門学校に入学している場合は、被災遺児であることが確認できる書類と在学先の推薦状を添えて申請を行う。資格審査の上、前項と同様の手続きとする。

奨学金給付開始：

大学・専門学校入学と同時に、在学証明書を当協議会に送付してもらい、入学を確認後、奨学金の給付を開始する。

後のフォロー：

奨学生が進級するごとに在学証明書を送付してもらう。留年や停学、退学の報告を受けた時または在学証明が更新できない時は給付を停止する。

(資料1) 2017－18年度(第8期)給付奨学生の状況

2018年6月30日現在	
2016－17年度からの継続者	136
新規給付者	37
復学した者	1
2017－18年度内支給者総数	174
2017年3月卒業者	40
休学による停止者	2
退学による終了者	2
留年による停止者	0
給付期間終了者	1
在学証明書未提出による停止者	9
2018－19年度(第9期)への継続者	123

注) 給付期間終了者とは、6年制大学で4年経過による終了者と停学後の復学で累計期間の終了者です。

注) 2018年7月1日現在、在学証明書未提出者は9人ですが、留年・停学・退学か、理由は不明です。

付記) 2011年12月のプログラム開始以来の奨学生は362人となっています。

業を維持することができます。しかし、奨学生の実績が積み重なってきた現在、事業計画との整合性を検証し、結果においては資金計画の修正も視野に入れなくてはなりません。

震災後7年間の経過し、その間、国内外で発生する災害に対する支援もその都度行われており、今までのような支援を継続することも困難な状況であると予想されます。

（資料3）は第8期（2017年7月1日～2018年6月30日）の収支予測を示しています。皆さまからいただいた支援金は4,612万円でしたが、第3期～7期までの前5年間の平均7,540万円に比べて61%と減少しています。今後もこの傾向が続くと予想されます。

3) 地区別の支援実績

プログラム開始時は国内34地区中、10地区の賛同で始まりましたが、現在では国内26地区の、地区あるいは地区内のクラブ、ロータリアン、団体、個人の方から支援をいただくようになりました（資料4）。『ロータリーの友』で読んで知ったと直接電話をいただくことが多くなり、激励と共に支援金を送ってくださいます。私たちの活動の裾野が広がっていると実感できる瞬間です。しかしながら、支援が途絶えた地区が存在するのも現実です。

4) 奨学生ならびに家族の声

卒業生の母親：大変お世話になりました学生の母です。専門学校での3年間、多大なる支援をいただきまして



東日本大震災で両親もしくは片親を失った遺児の支援をしています（写真はイメージです）

本当にありがとうございました。おかげさまで国家試験に合格し、念願の柔道整復師の資格を習得することができました。3年間、無遅刻、無欠席だったので皆勤賞をいただき、卒業することができました。そして今、横浜の接骨院に就職して、一生懸命頑張っています。それもこれも、多大なる支援をいただいたおかげです。本当にありがとうございました。亡くなった主人もきっと感謝していることと思います。このご恩を忘れずにこれからも頑張っていきたいと思っています。本当にありがとうございました。

大学2年生（女子）：大学に進学し、春から2年生になりました。（中略）授業、サークル、アルバイトで充実した生活を送っています。このような生活を不自由なく過ごせるのは、皆さまから支援をいただいているからです。いつも本当にありがとうございます。今年一年も精一杯できることに取り組み、さらに充実した日が過ごせるよう頑張ります。

（資料2）プログラム開始から終了までの活動実績および予測

奨学生数は開始時の予測値に実績値を加味

	'11	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19	'20	'21	'22	'23	'24	'25	'26	'27	'28	'29	'30	'31	'32	'33
奨学生数	35人	80人	143人	161人	172人	176人	175人	173人	114人	107人	100人	100人	100人	81人	62人	49人	34人	32人	30人	28人	19人	10人	5人
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	予測	予測	予測	予測	予測	予測	予測	予測	予測	予測	予測	予測	予測	予測	予測
奨学金	支給した奨学金								継続可能な残高								今後支援金を募らねばならない範囲						
	支給した金額								現在の支援金残高								今後支援金を募らねばならない金額						
	473,250,000 円								423,206,447 円								186,893,553 円						

※管理運営費は約24万円／年程度と小額のため、ここでは表記していません。

※2018年7月6日時点 予測

(資料3) 第8期の収支予測

(2017年7月1日～2018年6月30日)

2018年6月30日現在

収入の部		
前期繰越額	458,485,328	
支 援 金	46,123,934	
雑 収 入	95,203	
収 入 合 計	504,704,465	
支出の部		
(1) 奨学金	奨 学 金	81,350,000
(注)	振込手数料	0
	小 計	81,350,000
(2) 経 費	設 備 費	0
	通 信 費	148,023
	手 数 料	0
	消 耗 品 費	0
	会 議 費	0
	備 品 費	0
	雑 費	0
	小 計	148,023
	支 出 合 計	81,498,023
	次月繰越額	423,206,442

注) 支出の部の奨学金に関する振込手数料は千葉銀行からご支援をいただいています。

奨学生の母親：(前略) 娘へご支援、本当に感謝でいっぱいです。ありがとうございます。娘が進学して1年、この間にどれだけの経験をして、たくさんの人たちに出会い、助けてもらってきたのか想像もできませんが、たまに顔を見せてくれる娘は、たくましく、優しく育ってくれています。親元を離れて生活することは娘のためにもなるとは思っていましたが、正直皆さまの支援がなかったなら、叶わなかったかもしれません。今は精いっぱい勉強、サークルにと学生生活を満喫してほしいと願っています。感謝の気持ちを忘れずに。末筆になりますが、ロータリー希望の風奨学金に携わる皆さまのご健康とお幸せをお祈り申し上げます。

5) 今後の活動

奨学金を支給するというだけで、それ以上のことはなかなか実現することができなかったのですが、昨年度は、第2580地区の「地区ロータリー希望の風奨学金支援委員会」の協力により、奨学生と直接懇談する機会を設け

(資料4) 地区別支援金の累計

2018年6月30日現在

(単位：円)

地区及び団体・個人	開始時資金＋ 支援金 前期までの 合計	第8期 2017年7月～ 2018年6月	開始時資金＋ 支援金 累計
2510 地区 (北海道西部)	1,050,000		1,050,000
2530 地区 (福島)	260,000	24,000	284,000
2540 地区 (秋田) *	10,863,278	952,419	11,815,697
2550 地区 (栃木)	2,193,101	473,500	2,666,601
2570 地区 (埼玉西部) *	52,845,887	3,693,535	56,539,422
2580 地区 (東京、沖縄) *	157,069,832	7,910,289	164,980,121
2590 地区 * (神奈川 横浜・川崎)	29,798,732	342,680	30,141,412
2610 地区 (石川、富山)	2,000,645	1,031,470	3,032,115
2620 地区 (静岡、山梨)	3,653,271		3,653,271
2630 地区 (岐阜、三重) *	19,759,625	1,000,000	20,759,625
2640 地区 (大阪、和歌山)	2,147,021	50,000	2,197,021
2650 地区 * (福井、京都、奈良、滋賀)	208,141,087	20,092,589	228,233,676
2670 地区 (愛媛、香川、高知、徳島)	1,300,000		1,300,000
2690 地区 (岡山、島根、鳥取)	2,163,801		2,163,801
2710 地区 (広島、山口) *	51,996,688	200,000	52,196,688
2720 地区 (熊本、大分) *	31,671,886	541,038	32,212,924
2730 地区 (鹿児島、宮崎)	0	65,000	65,000
2740 地区 (長崎、佐賀)	75,860		75,860
2750 地区 (東京、グアム、北マリアナ諸島、 パラオ、ミクロネシア)	15,911,733		15,911,733
2760 地区 (愛知) *	45,471,496	4,548,845	50,020,341
2770 地区 (埼玉南東部)	1,000,000		1,000,000
2780 地区 (神奈川)	1,050,000		1,050,000
2790 地区 (千葉) *	68,515,939	3,449,347	71,965,286
2800 地区 (山形)	1,282,330	550,000	1,832,330
2820 地区 (茨城)	6,100,204	859,222	6,959,426
2830 地区 (青森)	220,000		220,000
3340 地区 (タイ)	1,765,192		1,765,192
9710 地区 (オーストラリア)	700,000		700,000
日台ロータリー 親善会議	125,339,917		125,339,917
米国・個人・台湾・団体	7,049,013	340,000	7,389,013
計	851,396,538	46,123,934	897,520,472

* 印はプログラム開始時の参加地区です。

忘れない東北、届けよう みんなの心 ～ 復興に希望を

横浜あざみRC 一楽 祥子

クラブでは東日本大震災の翌年から、東北復興支援のチャリティーコンサートが続いています。2017 - 18年度は4月25日に、テノールの高田正人さん、ソプラノの全詠玉さん、ピアノの金井信さんを迎え、生の音楽を楽しみました。高田さんは、ロータリー財団の奨学生としてイタリアで学ばれた経験をお持ちです。当日は、素晴らしい歌声と演奏を堪能したところで、全員で「花は咲く」の大合唱となり、会場は大いに盛り上がりました。「また来年も開催してね」という声もいただきました。今回のコンサートの収益金と会場での寄付金は全て「希望の風奨学金」に寄付させていただいております。

当クラブは、会員数20人に満たない小さなクラ

ブですが、地域に密着したイベントを継続的にを行っています。チャリティーコンサートでは一流の音楽を地域の皆さまにお届けしながら、東北の支援をこの先も息長く続けていきたいと願っています。

(第2590地区 神奈川県)



ることができました。参加した奨学生からは「ロータリーを知らずに奨学金をもらっていたけれど、いろいろ知ることができて、参加してよかった。今後も交流を続けていきたい」との感想も得ることができました。

その後は、第2580地区の地区大会に参加したり、学生生活の報告を送ってくる奨学生もいます。しかし、奨学生の中にはいまだに震災時の記憶から、口にするのは気持ちの上でまだ難しい状況にある人もいます。私たちの今後の活動は、奨学生に奨学金を給付するだけでなく、奨学生と継続的に接触する場を設け、ロータリーを認識してもらう活動を進めるとともに、奨学生の声を、支援をいただく皆さまに広く直接伝えることではないかと思っています。

あの震災から早くも7年半が経過しました。震災当時0歳児だった被災遺児が大学を卒業するまで支援を続けるとする「ロータリー希望の風奨学金」は、震災後22年間にわたる道のりの3分の1を経過したことになります。しかし、まだ長い道のりが控えています。繰り返しますが、この7年半の間に、日本列島ではさまざまな災害が続いており、これらの災害における被災者にも支援が行われています。

私たちは今、「息の長いプログラムをどうするか？」を検討する段階にきていると思います。「ロータリー希望の風奨学金」のように長期にわたる支援では、開始当時のモチベーションを継続することの難しさを痛感して

います。プログラムを立ち上げた時の思いを持った人たちも第一線を退いていこうとしています。プログラムの開始後に参加した人たちに、当初の思いをつなげていかなければなりません。月日の経過につれて薄れていく東日本大震災の記憶と共に、いつまで募金活動が続けるのか、と批判される方もいます。

しかし、私たちロータリアンは決して東日本大震災を忘れません。そして「ロータリーでは、人をつくる、人を育てるという援助も支援であり、奉仕である」とするのがロータリーの理念です。それを実践しているのが「ロータリー希望の風奨学金」事業だと確信しています。今後とも皆さまのご支援ご協力をよろしくお願いします。

(第2540地区2010 - 11年度ガバナー)

連絡先

ロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会

〒104 - 0031

東京都中央区京橋2 - 11 - 8 全医協連会館1階

国際ロータリー第2580地区ガバナー事務所内

Tel: 03-5250-2050 Fax: 03-5250-2050

Eメール: r.kibounokaze@wave.plala.or.jp

支援口座 (口座名義)

ロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会

千葉銀行 銚子支店 普通 3549340

音楽を生かして、自由で差別のない世界を

ロータリー希望の風奨学生 久我 理亜

東日本大震災が起きたのは、私が中学2年生の時でした。自宅は内陸部にありましたが、仕事で^{ゆりあげ}関上（宮城県名取市）にいた父親を津波で亡くしました。中学3年生の時に、父の遺したギターを弾くようになったことが、音楽の道に進むきっかけになりました。

高校生の時、震災遺児のためのプログラムに参加し、初めてベルギーを訪れたのを機に、海外に興味を持つようになりました。希望の風奨学金を受け神奈川県^の洗足学園音楽大学に進み、音楽とアルバイトの日々を重ね、19歳の時にヨーロッパを一人で旅しました。英語が話せるわけではなかったのですがとても勇気がいりましたが、10代のうちに旅に出たことは大切だったように思います。

進学した大学の3年生を終え、現在は1年間休学して、アフリカの最西端の国、セネガルにいます。

セネガルに来て4カ月たちましたが、最初はあいさつ程度だったフランス語も、学校に通いながら少しずつ上達してきました。ここでもギターを買って、子どもたちやセネガルのミュージシャンと音楽を楽しんでいます。

海外にいる時は、自分が日本の代表のつもりで、日本の文化を伝えるようにしています。セネガルには「テランガ」という日本の「おもてなし」に似た文化があり、いつも彼らの優しさには驚かされています。今では家族の



音楽は世界共通の言葉。音楽を通して地元の子どもたちとすっきり仲良しになった理亜さん

ような存在の人も、いつも一緒に出かける仲間もできました。

来年2月に日本に帰り、学業を再開します。卒業後は海外の大学か大学院に進学したいと思っています。

私は今まで多くの人に支えてもらってきました。私がその人たちに、そしてこの世界に貢献できることは何だろうと考えます。それは、人と人をつなぎ、より生きやすい世界をつくることだと思っています。はっきりとした職業はまだ見えていませんが、自分ができること、自分にしかできないことを見つけて、自由で、差別や偏見のない世界をつくっていきたいと思っています。



朗読コンサートを実施し、市内小学校へ絵本を寄贈

高崎RC 吉井 宏文

3月4日に東日本大震災復興支援「輝く未来のいのちプロジェクト・朗読コンサート」を入場無料で開催しました。宮城県石巻市で津波の犠牲となった当時6歳の女児・愛梨さんをモデルにした絵本『あなたをママと呼びたくて…天から舞い降りた命』は、女児の母の依頼で空羽ファティマさんが制作。絵本の収益は全て被災地に寄付されるようにしました。

当日はファティマさん自ら情感豊かに朗読。命の大切さを伝え、涙する参加者もありました。この絵本を後日、高崎ロータリークラブ（RC）から市内小学校59校と中央図書館に2冊ずつ寄贈したところ、児童たちから105通のお礼や感想文が届きました。そこには素直な感想が書かれていて、私たちの胸を熱くさせました。抜粋してご紹介します。

「家族が亡くなったらと思うと、ものすごく悲しい」「いろんな人の思いや言葉がたくさん入っていて、とても幸せになる」「命はね、どのくらい生きたかではなく、大

切なのはどう生きたかだよ』という言葉に感動した」「津波にのみこまれるバスの中で『ありがとう』の歌を大きな声で歌ってみんなを励ます愛梨ちゃんはすごい」「命の尊さや、生きていることの幸せが描かれている本だ」「こんなにも素晴らしい本を贈ってくださった高崎RCの皆さん、本当にありがとうございました」

（第2840地区 群馬県）



震災復興と命の大切さを学ぶ被災地植樹

姫路西RC 吉田 和正

当クラブでは、東日本大震災被災地支援の植樹事業に5年間協力してきました。2017－18年度は、4月21日、宮城県岩沼市千年希望の丘で開催された植樹祭に、日頃、里親として苗木を育ててくれている姫路市内の小中学生および教職員12人を地区補助金プロジェクトとして招待し参加。持参した400本余りのアラカシの苗木を当



クラブ会員10人と共に植樹しました。植樹後、千年希望の丘交流センターにおいて、森の防潮堤協会理事長・日置道隆氏の話聞き、過去に植樹した苗木の成長を観察しま

した。

翌22日には、大津波によって町のほとんどが流された名取市閑上地区にある「閑上の記憶」を訪れました。ご両親、ご子息を失ってなお語り部として活動されている丹野祐子さんから、大震災時の様子や失われたものの尊さ、町の変貌についての話を聞いた後、復興の現状を見て回りました。そして津波で亡くなられた14人の閑上中学校の生徒の慰霊碑に、参加者全員が献花をして冥福をお祈りしました。

参加者からは「多くの苗木が手作業で植えられていて、すごいと感じた」「子どもや親を亡くされた語り部の話が印象的だった。友達や家族に、見聞きしたことをちゃんと伝えたい」という感想をいただき、植樹奉仕だけでなく命の大切さを学ぶプロジェクトとして、将来を担う子どもたちや教職員にとっても、またわれわれ会員にとっても、大切なものを得たプロジェクトとなりました。

(第2680地区 兵庫県)

心は 平成30年7月豪雨 共に

気仙沼から西日本豪雨の被災地を支援

岡山東RC 内山 淳

7月上旬、西日本を中心とした豪雨で岡山県倉敷市真備町は甚大な被害を受けました。岡山東RCでも義援金を募るなど支援に取り組んでいた12日、私たちが東日本大震災の復興支援を行った先の窓口、宮城県気仙沼市の坂井政行氏から、「岡山に恩返しをしたい」と、支援物資提供の申し出がありました。

東日本大震災の後、岡山東RCは、地元の中国学園大学・中国短期大学から派遣されたボランティアの移動手段を提供したり、現地に医師や弁護士、税理士を派遣するなど復興支援に取り組んできました。坂井氏はこの時、被災地での受け入れを取りまとめたリーダーです。物資が岡山に届くのは3日後。すぐにクラブで臨時理事会を開き、緊急チームを編成。受け入れ体制を整えました。

15日の朝、坂井氏が岩手県大船渡市や、宮城県気仙沼市を支援した富山県氷見市を回り、かつて受けた支援の恩返しに、と託された支援物資を満載した2tトラックを自ら運転し中国学園大学・中国短期大学に到着。当クラブの会

員や同大学の学生、教職員など約30人で、届いた物資を会員が用意したトラックに積み替え、供給拠点の真備総合公園に運び、倉敷市に寄贈しました。その後、学生たちと一緒に新品のタオル、Tシャツ、ズボンなどを公園内の体育館に搬入し、仕分け作業を手伝いました。

災害復興支援で生まれた「絆」が、今回のプロジェクトにつながりました。復興には長い時間がかかると思われます。岡山東RCではこの絆を大事にしつつ、今後も被災地を支援する予定です。

(第2690地区 岡山県)





©2017 Breathe Films Limited British Broadcasting Corporation and British Film Institute. All Rights Reserved

ブレス

しあわせの呼吸

< 世界一幸せ > に生きた
全身麻痺の英国人と家族による感動の実話

映画「ブレス しあわせの呼吸」が9月7日から劇場で公開されます。この映画は、1950年代にアフリカでポリオに感染した父親のロビン・カヴェンディッシュとその妻ダイアナの激動の半生を、息子であるジョナサン・カヴェンディッシュが自ら映画化した感動作です。

ロビンは、首から下が全身麻痺になり、人工呼吸器なしでは自力で息をすることができず、余命数カ月を宣告されました。しかし、彼は、笑顔とユーモアを絶やさず、外の世界へと飛び出していきます。なぜ、彼は「世界一幸せ」だと胸を張れたのか？ ポジティブかつエネルギーに人生を謳歌したロビンと、彼に無償の愛を注ぎ込んだ妻のダイアナ、支え続けた兄弟や友人たちとの絆が、感動的に描かれています（詳細は『友』2018年2月号横組みP 32「エバンストン便り」参照）。

この映画の公開に向けて、国際ロータリー（R I）が協力し、本作の公式ウェブサイト（breath-movie.jp）、ポスター、チラシ、映画本編のオープニングクレジットにR IとEND POLIO NOWのロゴが入っています。

映画の紹介に加えて、ポリオの概要やポリオ撲滅活動とロータリーについて、さらにロータリーの活動内容に至るまでをコンパクトにまとめた一般配布用資料

もありますので、ご活用ください。映画配給元の（株）KADOKAWAから団体鑑賞会のご案内も来ています（これらは「友」ウェブサイトからダウンロードできます）。上映劇場は、公式ウェブサイトでご確認ください。

なお、作品の公開に先駆け、ロータリアンに鑑賞していただき、コメントをいただきましたので、次のページにてご紹介します。



The
Rotary
Foundation



**END
POLIO
NOW**

不覚にも試写会で涙し、慌てて周りを見回した。
近くのごついおじさんも肩を震わせていた。

私は、いったい何に感動したのだろう？ 主人公の生き方？「死にたい！」と訴えるポリオ患者の夫に生きる力を与えた妻の深い愛情？ リスクを負いながらも仲間と共に人工呼吸器付き車椅子の改造を楽しむ姿？ 病院という名の監獄に入れられた重病患者たちが、青空の下に解放された時の弾ける笑顔に心が震えた。

いつ、どんな運命が降りかかるか誰も分からない。でも、人生を心から楽しむ強い意志と深い愛があれば、運命を切り開いていける勇気をもらった。

本作品によって、ロータリーのポリオ撲滅活動はその活動の数だけ、一人一人の大切な運命を変えるお手伝いにつながっていると気付くことができ、とてもうれしかった。

例会で、クラブの仲間を紹介しようと思う。これから孫や友人を誘って、何回も見に行くことになるそう。

横浜港北RC 亀ヶ谷純子
(第 2590 地区 神奈川県)

ポリオで人工呼吸器がなければ生きられない境遇に陥った主人公ロビンが前向きに生きていく姿、そして妻のダイアナ、息子、知人、周囲の人たちとの触れ合いが描かれた映画であったが、ワンシーンごとに、観ていて心から感動させられた。

夫婦は、病院で人生を過ごすのではなく、どんなに困難であっても、自宅で家族と一緒に生活することを選択。たとえ死が早まることになっても、夫妻が人間として、生きたいように生き、死んでいきたいという意志が感じられた。ダイアナの献身に尽くす姿、ロビンを看取るまで愛し続けた姿には、ただただ感銘を受けるばかりであった。

たとえ身体的なハンディがあっても、病気に対する自身の受け止め方、そして、人生は長さの問題ではなく中身が重要であって、自分自身や周囲の人の満足により、満たされるのではないだろうか。

すぐに死に至るかもしれない状況の中で生きていくこの主人公、そして、その周囲の人たちは、その時々を悔いなく、共に幸せな時間を過ごし、充実した人生を全うしたように映った。

相模原グリーンRC 原 正幸
(第 2780 地区 神奈川県)

鑑賞した ロータリアンの声

ポリオ。この感染症の名が、私の心に強く刻まれたのは、今年1月、サンディエゴでの国際協議会のパートナー研修でした。インドの貧困地域の路上を四つん這いになって歩く子どもたちの映像が、目に焼き付いたのです。

「プレス」の主人公もこの恐ろしいポリオに侵され、下肢まひどころか呼吸すらできない状態となりました。ところが、この主人公は人工呼吸器をつけ、家族や友人の愛に囲まれて、その後36年を生きたのです。そして、これが実話というのですから、驚くばかりです。

この映画の原題「BREATHE」は、「呼吸する」すなわち生きることを選択した主人公と妻の壮絶な愛と感動のストーリーです。重度障害者というありのままの自分を受け入れ、それにとどまらず、アクティブに、かつリスクを恐れぬ強靱な心を持っていることに、ただただ感嘆します。妻の深い愛情と明るさに支えられ人生を全うした主人公から「幸せとは何か」と問いかけられる、素晴らしい作品です。

岐阜加納RC 木村 容子
(第 2630 地区 木村静之ガバナー夫人)

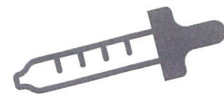
ポリオという病気がこんなに重く、大人も罹^{りかん}するものとは知りませんでした。子どもだけが感染し、足が不自由になる病気がポリオ(小児麻痺^{まひ})だと思っていました。

日本では、1960年に6,500人ものポリオ患者が発生したことが社会問題となり、1961年に生ワクチンを緊急輸入して接種が始まり、1963年には100人以下に減少したそうです。70代以上の方はその恐ろしさを知っていますが、最近の若い人は知らない人が多いと思います。

ロータリーは30年にわたり、莫大な資金と時間を使ってポリオ撲滅活動をしてきました。ようやく「あと少し」のところまでできましたが、ここで気を抜いたら再びポリオが流行してしまいます。

この映画は、ポリオが身近でない若い人たちのためにも、ポリオ撲滅活動の意義を再確認してもらうためにも、考えるいい機会を与えてくれる作品だと思います。

大阪東RC 井上 雅晴
(第 2660 地区 大阪府)



ロータリアンの ポリオ撲滅活動をたたえる



ロータリーがポリオ撲滅活動を始めたのは、1979年、フィリピンでのワクチン投与が最初とされています。以降ロータリアンはあらゆる側面から、ポリオ撲滅活動の支援をしてきました。

世界で年に何十万件もあった野生株による症例数は、昨年、史上最少の22症例にまで減少。2018年は7月31日時点で13件（アフガニスタン10件、パキスタン3件）。これらの発症が全てゼロになり、その状態が3年間続くと撲滅となります。

ポリオ撲滅活動への感謝

インターナショナル・ポリオプラス委員会委員 小沢 一彦

6月14日、国際ロータリー（R I）日本事務局を訪れたG P E I（世界ポリオ撲滅推進活動）の代表者から、ポリオ撲滅活動への感謝の言葉をいただきました。

G P E Iは、ロータリーと、世界保健機関（WHO）、U N I C E F（国連児童基金）、米国疾病対策センター（C D C）、ビル＆メリンダ・ゲイツ財団、そして各国政府を含む官民協同の取り組みの組織です。この中でロータリーは主に、アドボカシー、ファンドレイジング、ボランティアの動員、認識向上における重要な役割を担っています。昨年のアトラント国際大会では、安倍晋三首相の英語でのビデオメッセージが大会参加者に大きなインパクトを与えました。

日本のロータリーは、現金とD D F（地区財団活動資金）を合わせると年間300万ドル（約3億3,000万円）以上をポリオ撲滅のために寄付しています。ゲイツ財団からの2倍のマッチング（上限あり）がありますので、1の寄付が3になる。これを最大限活用するために、D D Fをポリオプラス基金に寄贈することをご検討ください。

現在残っているポリオ常在国3カ国のうち、ナイジェリアは2016年8月以降、野生株ポリオの発症がなく、確実に成果を出しています。

アフガニスタンは移動手段が整っておらず、治安の問題もあり、ワクチン接種拒否が多くみられる地域です。そのため、予防接種を受けていない子どもが多く、最も課題が大きな国といえます。

パキスタンでは、ここ数年コミュニティーの保健員を



（左から）アキール・アイヤー氏（U N I C E Fポリオ根絶プログラム代表）、アンドレ・ドレーン氏（G P E I 渉外責任者・シニア・ストラテジスト）、ローランド・シャッター氏（W H Oポリオ根絶プログラムリサーチ・政策・プロダクト開発コーディネーター）、小林宏明氏（R I日本事務局長）、山口郁子氏（U N I C E Fポリオ根絶プログラム上席顧問）、小沢一彦氏

動員し、ワクチン拒否を減らす活動が成果を出し、症例数は大きく減ってきていますが、カラチやペシャワールなどの都市部でも野生株ポリオウイルスが環境中から検出されており、予断を許さない状況です。

U N I C E Fポリオ根絶プログラム代表のアキール・アイヤー氏は言います。「私たちがポリオ撲滅活動で築いてきた保健システムは、エボラ出血熱など他の感染症の防止にも大いに役立っており、これまでの努力は決して無駄になっていません。歴史をつくるカウントダウンは既に始まっているのです。ロータリアンの皆さんとともにポリオのない世界の実現のために活動していることを大変うれしく思っています。一緒にポリオ撲滅という歴史的偉業をお祝いしようではありませんか」

（第2780地区2000-01年度ガバナー、元R I理事）

31

4つの質問

「世界ポリオデー」イベントの実施

メアリー・バン・ホウトさんに聞く

第 6250 地区（アメリカ）パストガバナー



1 地区では昨年、どのようにして世界ポリオデーを祝いましたか？

10月24日の午後4時、地区内の75人のロータリアンがウィスコンシン州マディソンにある州議会議事堂の広場に集まりました。この広場は集会場として人気があり、またこの時間帯は、人通りが多いため、ガバナーやクラブリーダー、会員たちがここで簡単なプレゼンテーションを行い、情報を提供し、行動を呼び掛けました。その後、「End Polio Now」のパナーを持って広場を歩き回りました。最後は、地元の店に寄ってビールと食事で締めくくりました。

残念なことに、その日の天気は最悪。寒さに加え、強風が吹き荒れていました。悪天候のため、来場者数がぐっと減ってしまいました。天気が大きく左右することもあるのです。

2 目標は何でしたか？

狙いの一つは、人々の目に触れることでした。ポリオ撲滅の取り組みにおいて、ロータリーの名をしっかりと見てもらうチャンスはほんの少しです。世界には現在もポリオが存在し、その撲滅のためにロータリーが懸命に活動していると知ってもらうことが重要です。こうしたことを、ロータリアン以外の人々に伝えたかったのです。ウィスコンシン州知事とマディソン市長にも働き掛け、この日が「世界ポリオデー」であることに触れた声明を、両者から発していただきました。また、テレビとラジオでも宣伝したので、集会に来られなかった人もメディアを通じて、ロータリーのポリオ撲滅活動のことを耳にしたと思います。

もう一つの目標は、ロータリーのポリオ撲滅活動について、地区内のロー

タリアンに理解してもらうことです。このプロジェクトが始まった8月末から世界ポリオデーまでの数カ月間、ガバナー補佐を通じて、クラブ会長へのダイレクトメール、『月信』、クラブでのプレゼンテーションなど、地区内のロータリアンと多くのコミュニケーションを図り、ポリオ撲滅活動の啓発と参加を促しました。

3 イベントを計画しているロータリアンにどんなアドバイスがありますか？

早めに準備を始めること！ 著名人の講演を企画すればよかったと思いますが、時間がありませんでした。クラブや会員と頻繁に連絡を取りましょう。

4 今年度は地区で何をする予定ですか？

ポリオのために一杯（Pints for Polio）」というイベントを計画している委員会があります。地区内の居酒屋やレストランに掛け合い、ビールや他の飲み物の売り上げの一部をポリオ撲滅に寄付してもらうというものです。委員会の目標は、地域にある多くの小さな店に参加してもらうことで、ポリオ撲滅の認知度を上げることです。これは素晴らしいアイデアだと思います。

地元で計画中の世界ポリオデーイベントの情報をお寄せください

皆さんのクラブは、どのような「世界ポリオデー」を行いますか？ 集会、マラソン大会、ファーマーズマーケットでのブース、それともコンサート？ ロータリーは、そのために役立つ「イベント計画ガイド」を用意しています。このガイドには、ロータリーがポリオ撲滅活動にもたらす影響を地元の人々に理解してもらうためのバーチャルリアリティ視聴イベントの実施方法も含まれています。ガイド、プレスリリースの見本、ソーシャルメディア用グラフィックなど、各種資料を endpolio.org/ja/worldpolioday からダウンロードしてご利用ください。また、クラブが計画中のイベントの情報を endpolio.org/ja/promote-your-event を通じてお寄せください。



日本のロータリー 100 周年 超我の奉仕に魂を !!

日本のロータリー 100 周年実行委員会委員長
石黒 慶一 (2017 - 19 年度 R I 理事)

この度、直前国際ロータリー (R I) 理事の斎藤直美氏から、日本のロータリー 100 周年実行委員会委員長の大役を引き継ぎ、身の引き締まる思いです。

2015 年に元 R I 理事の北清治氏、杉谷卓紀氏により準備委員会が発足し、斎藤氏のご指導の下、16 年 7 月 1 日に「日本のロータリー 100 周年委員会 (現・日本のロータリー 100 周年実行委員会)」がスタートしました。ビジョン策定委員会 (本田博己委員長)、記念事業等委員会 (鈴木喬委員長)、組織連携委員会 (水野功委員長) が組織され、各委員会と協議を重ねつつ、まだ細部にわたっては変更の可能性がありますが、今年度、第 1 回実行委員会 (7 月 11 日開催) において概要が決まりましたので、現状を報告します。

3 つの委員会からの報告

ご承知の通り、1920 年に日本で初めて東京ロータリークラブ (R C) が誕生しました。これはとりもなおさず、日本のロータリーの誕生であります。

100 周年は歴史の一通過点であるかもしれませんが、先輩の皆さまが築き上げた歴史は大切にしなければなりません。それは、これからの一世紀に向けてのスタートラインでもあります。

このお祝いは、2020 年のロータリー研究会の時に同時開催の予定です。例年研究会に出席しているシニアリーダー、ガバナー補佐だけでなく、全てのロータリアン、ロータリー家族 (インターアクター、ローターアクター、財団奨学生、ロータリー学友など) と共に祝いたいと思います。

ビジョン策定委員会は、各クラブ宛てにお送りしたアンケートの結果 (『ロータリーの友』2017 年 11 月号横組み P28 ~ 32 参照) を踏まえ、再度、アンケートを実施してさらに検討を重ね、式典の中で日本のリーダーが元気になる「日本のロータリー

100 周年のビジョン声明」の発表を計画しております。

記念事業等委員会は、東京 R C と協同で「100 周年を祝う鐘」を既に各地区にご送付しましたが、一部に不備があり、現在修正作業を行っております。記念バッジのデザイン募集では、40 点を超えるご応募があり、8 月末までに専門家を交えて選考する予定です。また、バッジのデザインとして応募された作品を元に、記念切手の発行も検討しております。今年 11 月に行われるロータリー研究会の席上で、これらデザインの発案者の表彰を行う予定です。

組織連携委員会では、100 周年に当たり現在の組織体系と位置づけ (ガバナー会、ロータリーの友委員会、ロータリー文庫委員会、米山梅吉記念館ほか) や、組織間の整合性と連携について検討していただいておりますが、それぞれの組織に長い歴史があり、多くの解決しなければならない課題があると認識しております。

日本の全ロータリアンでお祝いを

いずれにしても、「日本のロータリー 100 周年」はわれわれの新たな出発点であります。過去の延長として漫然と過ごせば、新たな発展はありません。今、R I は CONNECT、END POLIO NOW、TRANSFORM、INSPIRE を旗印に掲げ、TAKE ACTION の時を迎えております。日本のロータリーも変革を恐れることなく、未来に向けて、発進する時ではないでしょうか。その意味からも、今年度から実行委員会に顧問として斎藤氏、アドバイザーとして元 R I 理事の菅野多利雄氏、千玄室氏、渡辺好政氏、小沢一彦氏、黒田正宏氏に加わっていただくことは大きな力となります。

「日本のロータリー 100 周年」は日本の全ロータリアンで祝いたいと思っております。

第 2800 地区 (山形県) 2005 - 06 年度ガバナー

ロータリー米山記念奨学事業の基礎知識

—— 寄付金・財政編 ——

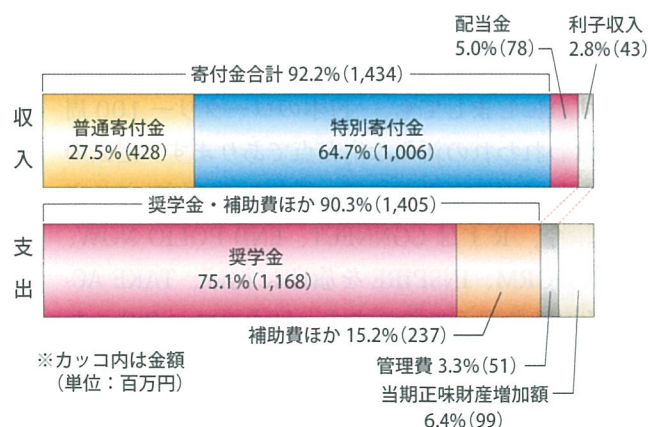
★ 寄付金は奨学事業に

2017 - 18 年度の寄付金収入は 14 億 3,381 万円(前年度 13 億 7,305 万円)と、前年度から約 6,000 万円の増加となりました。また、個人平均寄付額(寄付総額を会員数で割った額)は 1 万 6,068 円(前年度 1 万 5,435 円)でした。昨年度はロータリー米山記念奨学会の財団設立 50 周年記念の年であり、多くの方々から支援をいただきました。

いただいた寄付のほとんどは奨学金と奨学生・学友関係費、そのほか地区・世話クラブへの補助費、事業部門の事務局人件費などの奨学事業に使われています。

2017 - 18 年度の事業費は約 14 億円でした。この 4 年間は毎年、奨学生採用数を増やしており、2018 学年度は前年度から 40 人増の 820 人枠としたため、奨学金や補助費が増加しています。来年 4 月の採用枠はさらに 30 人増の 850 人枠とし、数年間の黒字分を積み立てた奨学事業安定積立財産からも使用する予定です。

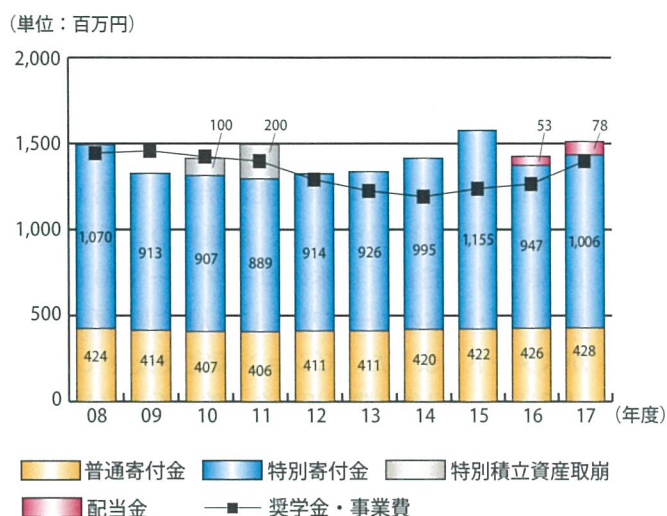
★ 寄付金の使途(2017 - 18 年度決算)★



当奨学会では、財政の健全性・透明性確保に十分配慮しています。内部監査に加え、公認会計士による外部監査として、公正な立場から毎月全伝票のチェックを受けています。

決算報告もホームページ上で公開しています。詳細な計算書類は事業報告書(統計・資料編)に掲載し、毎年 9 月下旬に全クラブへ送付しています。

★ 寄付金と奨学金・事業費推移(08-09 ~ 17-18 年度)★



★ “税額控除” が選択できます

当奨学会へご寄付をいただくと、個人の所得税や一部の住民税、法人寄付の場合は法人税が軽減されます。特別寄付をしていただいた個人・法人には、金額にかかわらず、確定申告用の領収書をお送りします。普通寄付金についても、クラブからの申請と会員氏名のデータ提供があれば、申告用領収書を発行します。

当奨学会は寄付金の「税額控除」適用法人であり、確定申告の際に「所得控除」か「税額控除」のどちらか有利な方を選択することができます。税額控除は、寄付額の約 40% の金額が所得税額から控除されるもので、所

★ 寄付の種類 ★

当会への寄付金には「普通寄付金」と「特別寄付金」の 2 種類があります。いずれも使い道は同じです。

■ **普通寄付金**：各クラブが決めた金額×会員数分を国内全クラブから納入いただいているもので、安定財源として必要です。**2017 年度平均：4,797 円**

■ **特別寄付金**：個人、法人、クラブからの任意の寄付金で、金額は自由です。一定金額に達するごとに表彰制度があります。**2017 年度平均：1 万 1,271 円**

今月の「よねやまだより」は、前号に続いて「ロータリー米山記念奨学事業の基礎知識」の寄付金・財政編です。寄付者の皆さまにとって、「寄付金がどのように使われているのか」は、最も気になることではないでしょうか。そのため、当奨学会では毎年本誌9月号にて、前年度の収支決算と寄付金の状況をご報告しています。また、所得税・法人税などの税制優遇制度についても詳しくお知らせします。



得控除よりも控除額が大きくなる場合があります。このほか、東京都にお住まいの方は、個人都民税の寄付金控除も合わせて受けることができます。※東京都以外にも自治体が条例で指定している場合は適用されます。

法人からの特別寄付については、一般の寄付金損金算入限度額とは別枠で損金算入でき、これによって、法人税額が軽減されます。確定申告の際は、ぜひこうした寄付のメリットもご活用ください。

★ 奨学生数は寄付額と連動

米山奨学生の採用数は、ほぼ寄付額で決まります。全体の寄付が増えれば全国の採用数が増え、各地区の採用枠「地区割当数」も、寄付額の対全国比によって決定されます。地区割当数は、地区の年間寄付総額：個人平均寄付額：特別寄付者の割合：有資格者数（地区内の留学生数）が5：3：1：1の割合で算出されます。つまり、上記の要素が他地区よりも増えれば、その地区の奨学生採用数は増えることになります。このうち「個人平均寄付額」は、地区の規模に左右されることなく、寄付増進の成果が反映されやすい指標の一つです。

2017－18年度、個人平均寄付額の伸び率の全国トップは第2550地区（栃木県）で、前年度から35%アップの2万4,777円でした。好調の要因として、同地区で1,000万円の大口法人寄付があったこと、それ以外にも、地区米山奨学委員が特別寄付金ゼロのクラブをなくすよう働き掛けたり、例会受付に寄付ボックスを置いて継続的な寄付意識の定着を図る、また月々1,000

円程度の少額の積み立てを奨励して裾野を広げる、といった呼び掛けが功を奏したのでは、と昨年度の地区米山奨学委員長・辻裕司氏は振り返ります。

前述の大口法人寄付をしたのは（公財）ロータリー米山記念奨学会の理事を務める飯村愼一氏。かつてアメリカへ留学し、学業とアルバイトの両立に大変苦勞した経験があり、その一方で留学中に受けた周囲の人たちの温かさが今も脳裏に焼き付いているそうです。飯村氏はこう語ります。「戦争が終わり、平和を一番望んだのは米山梅吉さんだと思う。今や経済を含むアジア諸国のパワーバランスは変化し、日本の立場はますます難しくなるだろう。われわれにできることは民間レベルで日本のファンを一人でも増やし、アジアの平和を築く礎となる人を育てること。全員がそんな人材になるわけではないが、米山の事業を通じて伝えるロータリーの平和の精神、これは彼らの心のどこかに必ず残ると信じている」

ロータリー米山記念奨学会は財団設立50周年を終え、新たな歴史への一步を踏み出しました。個人として特別寄付をする会員の割合は過去最高の45.4%と、支援の裾野は確実に広がっています。ロータリーの平和の精神をアジア諸国、さらには世界へと広げるべく、引き続き皆さまのご支援をお願いいたします。

ロータリー米山記念奨学会事務局

米山記念奨学事業、または“よねやまだより”についてのご意見を、当奨学会まで、ぜひお寄せください。

Tel. 03-3434-8681 Fax. 03-3578-8281

Eメール：mail@rotary-yoneyama.or.jp

モンゴル米山学友会から西日本豪雨被災地への義援金が届けられました

「平成30年7月豪雨」は、西日本各地に甚大な被害をもたらしました。このニュースに心を痛めたモンゴル米山学友会では、オイドブ・バトゲル会長（2005－07／前橋RC）が中心となり義援金を呼び掛けました。そして7月20日、同学友会を代表して、創立会長のジャンチブ・ガルバドラッハさんと第3代よねやま親善大使のエンフボルド・ボロルトヤさんが当会事務局を訪れ、「被災された皆さまのために役立てていただけたら」との手紙と共に、学友36人からの義援金14万9,050円を届けてくれました。義援金は全額、第2710地区（広島県・山口県）に送金しました。



（右から）ジャンチブさんとエンフボルドさん

ローターアクトクラブの 優れたプロジェクトを表彰

2018年「卓越したローターアクト・プロジェクト賞」が表彰されました。2017年2月1日から18年1月31日までに行われたプロジェクトを対象に、59カ国から470以上の応募があり、単独クラブのプロジェクトと多地区合同プロジェクトとして、下記2つが最優秀賞に輝いたほか、6つの地域から優れたプロジェクトが選ばれました。最優秀賞には将来の活動資金としてそれぞれ1,000ドルの賞金が贈られました。次回の応募は、on.rotary.org/ROPA1819 をご覧ください。

最優秀賞

スリランカ・エドリンクインターナショナルキャンパス RAC

エドリンクインターナショナルキャンパス・ローターアクトクラブ（RAC）は、起業スキルを教えることで、HIV／エイズに感染した女性たちの自立を支援しました。

このクラブは、女性たちが自分で作った作品を販売できるサイト「Dream Store（ドリームストア）」を立ち上げました。売り上げは彼女たちの銀行口座に振り込まれます。プロジェクトの企画段階で、クラブはまず女性たちと会って各自の技術を確認。その後、地元の専門家やロータリアンと協力して、彼女たちの技術をさらに伸ばしたり、新しい技術を教えたりしたほか、経営の基本と家計管理についての研修も行いました。

さらに、スリランカの手ギフトショップを含む複数企業と提携して彼女たちの作品を販売し、顧客の確保を支援しました。彼女たちの才能が開花するのを支援し、商業を通して持続可能な収入源を確保し、イベントで住民に病気について教育することで、HIV／エイズ患者に押された烙印（らくいん）を取り除くことができるよう望んでいます。

「かつて彼女たちは、誰からも仕事をもらえなかった



ため」と、クラブの元会長、ニブン・ペイリスさんは言います。「物乞いをするほかありませんでした」

今回の表彰で「努力が報われた」とペイリスさん。「クラブの達成をととても誇りに感じています」

多地区合同プロジェクト最優秀賞

ヨーロッパ・ローターアクト情報センター

ヨーロッパ・ローターアクト情報センターは、1988年に創立され、45カ国以上の115地区、ローターアクター2万4,000人の協力と奉仕プロジェクト立案を推進する、多地区合同プロジェクトです。

このプロジェクトでは、多くの情報を集めて、ローターアクターがアクセスできるオンラインのライブラリーにアップロード（登録）することで、協力クラブを探すの

に役立っています。ライブラリーには、興味深いプロジェクトを見つけやすいよう、150以上のプロジェクトが項目ごとに分類され、奉仕や友情など関心を共有するクラブ同士を結び付けています。

「協力クラブ探し」でローターアクターは、国際的な理解と親善を推進し、地元で奉仕活動を実行するため、長期的な関係を築くことができます。

地域優秀賞

アジア・パシフィック地域

フィリピン・マカティサンミゲルRAC

フィリピンのマカティサンミゲルRACの「Mini-Hackathon and PechaKucha プロジェクト」では、情報テクノロジー分野の専門家、ビジネスリーダー、コーチ、地域社会のリーダーらの力を借り、地元が抱える問題を解決する新しいアプリを開発。イベントで3つの試験が行われ、その機能が実証されました。1つ目のアプリは緊急時に病院、避難所、消防署を見つけるもの、2つ目のアプリは参加者が就職活動用の履歴書を作り、条件の合う雇用者と結び付けることができるもの、3つ目のアプリは洪水時に被災地にいち早く物資を届けるため、通行可能な道を輸送トラックに知らせるものです。

南アジア地域

インド・ザカドゥケウスRAC

インドのザカドゥケウスRACは、炭鉱業による悪影響が出ている地元で「Ground Reality Journey」プロジェクトを立ち上げました。地元団体、政府、村人と協力して、健康診断の提供、廃棄物分別システムの設置、保健教育セミナーの実施、植樹、学校改善のための募金を行いました。



サハラ砂漠以南南アフリカ

タンザニア・セントジュードアルーシャRAC

タンザニアのセントジュードアルーシャRACは、失業中の若者12人を対象に、さまざまな仕事のスキルに加え、スープとジュースの作り方を教えるワークショップを実施。その後、ロータリアンの力を借り、地元企業での3カ月の有給インターンシップに若者たちを派遣。プログラム修了後には6人が企業に正式採用され、2人が地元で起業しました。



ヨーロッパ・中東・中央アジア

モロッコ・ヒポクラテスRAC

モロッコのイミンリット村の若者たちは平均10kmの道のりを歩いて通学します。これが高い退学率の原因と



なっていることを知ったヒポクラテスRACは、募金で集めた資金で自転車を購入し、若者たちに贈る「Action Velos」プログラムを開始。1年以内に、退学率は45%から23%に下がりました。

アメリカ・カナダ・カリブ海諸島

ジャマイカ・ニューキングストンRAC

ジャマイカのニューキングストンRACは、ロータリアンや保健の専門家と協力して「Back to School Medical」プロジェクトを実施し、医療支援が行き届いていない地域の学校で、無料の健康診断、歯のクリーニング、眼科検診を提供。親たちへの保健教育も行いました。



ラテンアメリカ

ブラジル・ベロオリゾンテステRAC

ブラジルのベロオリゾンテステRACは、地元住民や教員ボランティアと協力して、大学入試を控えた生徒たちのための入試対策コースを実施しました。受講した生徒たちは、美術館やアートギャラリーを訪れる課外活動にも参加しました。

—ARNOLD R.GRAHL

People of action around the world

世界中で活躍
「世界を変える行動人」

ドイツ

トルコ

ネパール

ドミニカ

南アフリカ

ドミニカ

2017年に発生したハリケーン、マリアは、風速約260kmの暴風と豪雨により、ドミニカの多くの屋根が吹き飛ばされました。何千人もの人々が家を失い、30人以上が命を落としました。

ポーツマス・ロータリークラブ（RC）は直ちに復興のために立ち上がりました。1月下旬に、最も甚大な被害を受けた地域で家屋に屋根を取り付けるプロジェクトを実施。これには強力な助っ人がスイスから駆けつけました。スイスのチューリヒグラッタルRCによって集められた1万ドル（約112万円）がスイスのボランティアによって届けられ、さらに同クラブの会員が大工仕事にも参加したのです。このプロジェクトでは7軒の修繕を行い、さらに8軒の修繕が予定されています。

トルコ

アンカラガジRCが開催した第3回美犬コンテストに、約70匹の犬が出場し、5人のトレーナーと獣医師によって審査が行われました。昨年10月に行われたこのコンテストでは、世界的に有名なウェストミンスター・ケンネルクラブ・ドッグショーのようにはいきませんが、行儀のよい元野良犬たちが出場。この楽しいコンテストには、ペットを飼う責任についての意識を啓発するという目的があります。「トルコの人口密度が高い都市部では、野良犬や野良猫の世話が大きな問題となっています」と同クラブの前会長であるサミ・サイジン・ヤジチオグさんはいいます。「もう一つの目的は、公開イベントでロータリーの公共イメージを向上させることです」

ハリケーン・マリアが直撃したドミニカの被害総額は約13億ドル（約1456億円）

南アフリカ

10年連続でエンパンゲニRCが開催している自転車レースで、同クラブの本拠地であるクワズール・ナタールからケープタウンまで、約1,500kmをサイクリストたちが旅しました。20人から成るサイクリストのチームは、毎日異なる地域を訪ね、2万1,000ドル（約235万円）の募金を集めました。このコネクション・ライドというプロジェクトでは、地元のロータリアンとの交流も企画されました。「一番大変だったのは朝4時半に起きることでした」と2人乗り自転車に参加した同クラブの元会長グリーン・ハーバースさん（現在はヒルトン&ホウィックRC所属）と妻のジーンさんは言います。「午前5時15分にはもう私たちと、自転車とタールだけの世界になっているのです」とハーバースさんは言います。



ドイツ

アーレンリメスRCが実施したカットアンドペーストプロジェクトは、1,600時間以上もの共同作業を経て、人気絵本の点字版の出版という形で幕を閉じました。

点字版になったのはエリック・カールによる絵本『ね、ぼくのともしちになつて!』。さまざまな動物の中から友達を探そうとするネズミの冒険の物語です。この点字絵本は、ロータリアンが14の作業グループに分かれ、貼りつけた多種多様な布地を貼り付けてできています。

ドイツ語版のこの絵本にはプラスチック製の動物のおもちゃが11個ついています。「子どもたちは、作品中に出てくる全ての動物の形を立体的に感じることができます」とドイツ南部にある同クラブの元会長のウルリッヒ・ベッツォルトさんは言います。

同クラブでは3年以上にわたってこのプロジェクトに約1万2,000ドル（約134万円）をかけ、230冊を

制作しました。視覚障害者施設への寄贈として、この絵本を購入することもできます。「子どもたちは絵に触れて（立体的な形といった）情報を感じ取ることができるのです」と、ベッツォルトさんは言います。「視覚に障害のある子どものための絵本はたくさんありません。触れられる絵本なら、子どもたちは指を使って見ることができます」

ネパール

インフルエンザ流行の兆しをつかんだバグマティ・カトマンズRCは、インフルエンザによる死亡者数を減らすために、基本的な衛生管理で感染のリスクを減らせることを説明したパンフレットを1万部印刷して啓発キャンペーンを実施しました。

「このパンフレットは、カトマンズの谷にある5カ所の主要なバス停留所で配布するために特別に作成しました」と、同クラブの直前会長マヘーシュ・シュレスタさんは話します。バグマティカトマンズRCとカリマティのバグマティKECRC、バグマティハルチョーク中学インターアクトクラブが配布を行いました。

-BRAD WEBBER

ネパールの平均寿命は1960年で35歳でしたが、2016年に70歳に延びました

日本からは 2,095 人が登録

国際ロータリー（R I）の第 109 回国際大会が、2018 年 6 月 23 ～ 27 日、カナダ・トロントで開催されました。トロントで国際大会が開催されるのは、今回で 5 回目。シカゴの 7 回に次いで 2 番目に多い都市になります。国際大会の開催地としてふさわしい理由について、イアン H. S. ライズリー R I 会長は、散策するのに美しい街だということのほか、ロータリーと同様、多様性に富んだ都市だということを挙げました。トロントでは、カナダ以外で生まれた人が半数を占めるのです。

実は評判がよくなかった開催時期について、ライズリー会長から説明がありました。数年前、本会議場としての使用をエア・カナダ・センターに打診したところ、「NHL（北米プロアイスホッケーリーグ）で行われるスタンレーカップが終わってからなら大歓迎ですよ」と言われ、スポーツ好きの自分としては、国際大会を 6 月の最終週にせざるを得なかった、とのこと。

国際大会が終わる時にはロータリー年度も終わる、という時期に国際大会に参加をしたのは、世界 172 の国と地域から、2 万 5,188 人のロータリアンとそのゲストたち。この中には、創立 50 周年を迎えたロータリーのプログラム・ローターアクトクラブの会員も含まれます。クラブの行事や会社の株主総会と重なるという理由で参加したいが、難しいという方の声を日本でも多く聞いていたのですが、登録者数は、2,095 人。アメリカ、カナダに次いで 3 番目に多かったとのことでした。



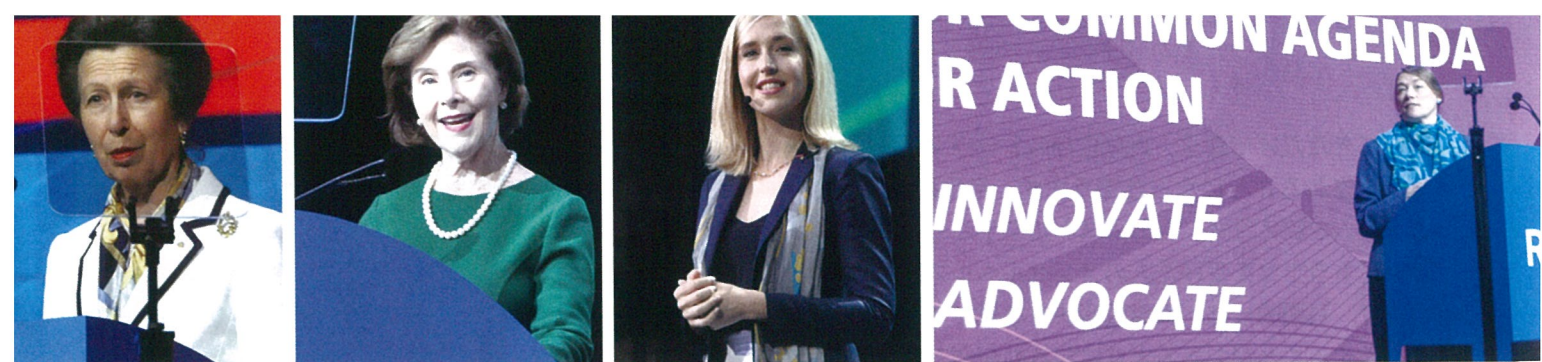
大きな会場でやっと発見！ 日本のロータリアン

講演者に多くの女性を登用

今回の大会でいつもと違うと感じたのは、ローターアクターの多さ以外に、講演者として女性が圧倒的に多いということでした。これもライズリー会長が、年間を通じて、女性会員を増やそうと呼び掛けていたことにも関係していたのかもしれません。

今大会で最初に講演をした女性は、イギリスのアン王女でした。彼女はエリザベス女王の子どもで、チャールズ皇太子の妹に当たります。セーブ・ザ・チルドレン英国の会長を務めるアン王女は 1970 年以來、子どもの保健、教育、保護、災害救済の分野で活動しています。活動を進める中、ポリオ撲滅活動の難しさを知ったというアン王女は、ロータリーのグローバルなネットワーク、さまざまな文化や言語に対する柔軟な対応などを称賛。パートナー組織とともに、世界からポリオをほぼ撲滅す





(左上から) アン王女、ローラ・ブッシュさん、本大会の司会を務めた、元ローターアクトのブリタニー・アーサーさん、講演者のジェーン・ネルソンさん(左下から)、マリア・ポール・アテマさん、イシス・メヒアスさん、ライズリー会長とジュリア・フェルプス管理委員

るに至っていることを挙げ、ロータリーの活動に感謝の意を表しました。退場の際、メディア席にいた私の前を通ったアン王女から伝わってきたのは、優雅さと凛とした気品。ざわついていた会場もこのときばかりは静まり返り、多くの人が、姿勢を正し、敬礼をしていたのが印象的でした。

その他にも、ローラ・ブッシュさん(ジョージ W. ブッシュ元大統領夫人)が登壇。自分が生きてきた時代における女性の立場の変化を語った上で、女子に対する教育制度を整備すれば、国や経済の発展につながり、社会に女性が存在することで安定性が増すとし、「女性もイニシアチブを持つようになれば、将来は明るいものになるでしょう」と述べると、(特に)女性参加者からは元気のよい歓声が上がりました。また、恵まれない子どもに対する支援活動をしていた際に、救いきれなかった男の子の話を語り、「いつも活動が成功しているわけではないが、うまくいかなかった時のことを忘れずにチャレンジすることで、世界に変化をもたらしていけるでしょう」と結びました。

女性の社会進出については、ニュージーランドの元首相のヘレン・クラーク氏がライズリー会長と対談。「女性の社会進出を応援することは単に正しいのではなく、英知のある選択です。国連でも議会でも、人口分布を反映するべきです」と述べました。ニュージーランドでは、クラーク氏が首相になる前は女性議員は少数だったものの、現在は40%近くを占めるとのこと。ロータリーにおいても、女性がトップリーダーになることのメリットを挙げました。ちなみに日本の女性議員数は、計算方法によって違いはありますが、約13%。世界の水準から見てもかなり少ないことが分かります。

今回の大会で最も輝いて見えたのは、「最近お母さんになったばかり」というロータリー平和フェローのマリ

ア・ポール・アテマさんでした。ルワンダで1994年4月7日の大虐殺が起こるまでは普通の生活を送っていたという彼女は、大虐殺で彼女自身も身内を失い、暴力を目の当たりにし、深い心の傷を負いました。怒り、悲しみ、そして自分は助かったという自責の念とともに生きていたというマリアさんは、13歳の時、カナダに移り、1つの英単語「maybe(もしかしたら)」しか知らずに地元の学校に通うことになります。その後、素晴らしい先生と出会い、心的外傷後ストレス障害(PTSD)に苦悩しつつ、徐々に心を開いていく彼女は、「どうして自分ばかりなのか」という発想から「どうして自分ではないのか」という発想に転換し、自分の可能性を広げることになっていったと言います。2度目の挑戦でロータリー平和フェローに選ばれ、オーストラリアに留学すると、正義と平和のためにもっとがんばろうという勇気が

ハイテンションなロータリアンたち

本会議開始前に流れるBGMにすぐ踊りだすロータリアンのテンションの高さに驚き。BGMでさえこのノリの良さですから、エンターテインメントでアーティストの演奏が始まったあかつきには、ライブ会場に様変わり。写真は「ヤングマン(原曲はY.M.C.A.)」に合わせて踊るロータリアン。振り付けが世界共通だということ、ご存じでした?

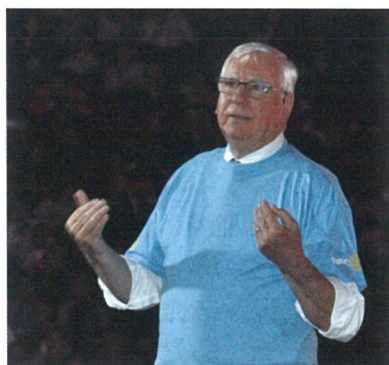


湧いてきただけでなく、自分自身のトラウマから抜け出し、癒されることになったそうです。最後に、「このプログラムを終えた後、自分のスキルを生かして、戦争によってトラウマを受けた人のメンタルヘルスをケアしたいです。長期的には、世界政策決定を通じて平和と平等を推進することができるようになるのが望みです。素晴らしい変化はささやかな行為から生まれます。私の人生に変化をもたらしてくれたロータリアンに感謝します」。そして、ステージのすぐ下にいた赤ちゃんのもとに駆け寄りました。彼女のこれまでの努力に対する拍手、今の幸せを祝福する拍手、これからを応援する拍手……会場はとても温かな雰囲気になりました。

この他にも、女性の講演者が続々と登場。あらゆる分野における女性の活躍、影響力が強く印象付けられました。

ローターアクトはロータリーの第1のパートナー

現今のロータリーの最優先課題はポリオの撲滅ですが、今回、開催地であるカナダ政府のポリオ撲滅への多大な支援をたたえ、ライズリー会長からジャスティン・トルドー首相に「ポリオ撲滅推進功労賞」が贈られました。カナダは1986年、国として初めて世界ポリオワクチン投与活動に資金を提供して



イアンH. S. ライズリー氏

以来、約6億4,000ドル（2017年の7,500億ドルの誓約も含む）以上の支援をしています。この賞は2015年に、安倍晋三首相にも贈られています。また、ポリオに関して、カナダ人の貢献という意味で、財団管理委員長のポール・ネツェル氏からカナダの科学者、レオニー・ファレル博士（女性！）が、ワクチンの大量生産に大きく貢献したとの紹介がありました。

財団管理委員会からの新たな情報として、ネツェル氏からは、2030年までに現在8カ所にある、ロータリー平和センターが、新たに4カ所増設されることが発表されました。より平和な世界を求めるロータリーの意気込みの表れといえると思います。

閉会式で、マーク・ダニエル・マローニー氏のR I会長ノミニ受諾演説では、ゴールに近づきつつあるポリオ撲滅活動を通じ「私たちは共に活動すれば、ほとんどのことは成し遂げられることを知っています。ポリオ撲滅活動もパートナー団体がなければ、ここまで来るのは難しかったでしょう」とパートナーシップの大切

さを強調しました。「パートナーシップを組むことで、私たちはさらに困難な課題に取り組むことができます。そして私たちの一番のパートナーはローターアクターたちです」



マーク・ダニエル・マローニー氏

と述べ、2019年に開催される国際協議会に、一部のローターアクターが公式に参加することを発表しました。バリー・ラシンR I会長エレクトもローターアクトクラブについては、提唱クラブを増やしたり、地域に密着したクラブの支援をするよう呼び掛けていましたが、今後、ロータリークラブとローターアクトクラブとのより強固な結びつきが重要になってくるだろうと感じました。

最後の閉会の辞の中で、ライズリー会長は、2017－18年度テーマに沿って、「変化をもたらす」ロータリアンの活動に感謝をするとともに、昨年度、6回開催されたR I会長主催平和会議について言及。その中の一つ、カナダのバンクーバーでの「環境の持続可能性と平和」の会議後、広島で被爆した木の苗を川妻二郎氏（第2710地区2002－03年度ガバナー、現・東京米山友愛R C会員）と植樹したことについて述べました。

すると会場の大きなスクリーンに現在も広島で被爆した木を平和の象徴として、各地に届ける活動を行っている川妻氏の画像が映し出されました（この反響は大きく、すぐに川妻氏の元へ世界中のロータリアンからメッセージが届いたそうです）。



今回の国際大会では、さまざまな角度から平和について述べられましたが、この川妻氏の写真こそが、ライズリー会長の植樹に寄せる思いを最も表していたのではないかと感じました。参加したロータリアンには、大会で受けたインスピレーションをそれぞれの地域に持ち帰り、世界を変える行動人としての活躍が期待されます。

※役職は当時のものです

取材：『友』編集長 野崎 恭子

教育の仕事に就きたい

ローテックス 関根 ゆり子

私は将来、教育関係の仕事に就きたいと思っています。きっかけはベルギーで青少年交換学生として過ごしたことです。私は昔から政治に関するテレビをよく見ていましたが、同年代には政治に興味のある友達は少ないと思



っていました。しかしベルギーの若者は政治に大変関心を持っていました。

ベルギーでは選挙に行かないと罰金が課せられ、就職にも関わることから、投票率は常に90%を超えています。このようなことも

一因かと思いますが、学校での教育も関係していると考えました。現地では多くの授業を割いて政治について討論し、生徒は自分の意見を大切にしていました。派遣中に行われたアメリカ大統領選挙の際には授業で、アメリカの選挙制度やトランプ氏、クリントン氏についてたくさんの方の話を学びました。友達や家族と政治について語り合うことも多く、私は日本との相違を強く感じました。

投票権が18歳以上に引き下げられ、10代の私たちが政治に意見できる今、自分で学び考えた上で支持政党を決めている若者がどれだけいるのでしょうか。日本でも、若者が政治を身近に感じ、その1票が日本を変えることを自覚し考えるようになるような中立的な教育が必要と考えます。若者が日本のあり方を自分で考えられるようになる教育制度を整え、そうした社会にすることが私の夢です。

東京都港区出身。成蹊高校3年。第2750地区2016-17年度青少年交換学生としてベルギーへ派遣。趣味は友達の相談に乗ること、音楽鑑賞。

人を大切に

ローテックス 飯塚 千尋

昨年転職し、ブライダル業界でインターネット広告の仕事に携わりながら、ランジェリーブランドを友人と共に立ち上げました。もともと、服飾や美容、デザインに興味があり得意でした。女性向けのビジネスで私のブランドを通じ「本当の幸せ、愛とはなにか」を発信し、女性たちがもっと幸せに輝いて人生を過ごしてほしいと思い、日々の仕事に邁進しています。仕事で「自分が楽しく輝けるかどうか」が、急速に変化する現代社会での成功に重要なことだと思っています。

8年前ドイツへ派遣されて以来ずっと世界中に友人を広げていることが今につながっています。インターネットの普及により、リアルタイムで海の向こうの友人たちとコミュニケーションを図ることができます。派遣先で学ぶことも大切ですが、もっと大切なことは帰国後です。



帰国後、現地の友人と疎遠になる人は少なくありません。積極的に、縁のあった人たちとコミュニケーションを取り続けるべきです。人種、言語、国境を超えて

友人をつくり、意見を交換し続けることは世界平和につながり、国際性豊かな人材育成につながると考えます。

人生は何が起るかわかりません。今与えられているものに感謝し、チャンスを逃さぬよう、常に積極的に朗らかに愛と感謝を持ち、人と接するようにしています。

今後もローテックスとして、先輩を尊敬し、同胞と活気よく、後輩たちに自信と安心を与えていきたいです。

新潟県柏崎市出身。第2560地区2010-11年度青少年交換学生としてドイツへ派遣。(株)ウェディングパークアドテク本部勤務。趣味は愛犬と過ごすこと。東京都在住。

●皆さんの周りの若い人をご紹介ください！ ロータリーのプログラムに参加したことのある10～30代までの若者（現役、学友どちらも可）を『友』編集部にご推薦ください。記入用紙は『友』ウェブサイト www.rotary-no-tomo.jp からダウンロードできます。



今月はクロスワード。パズルは一般的な問題で、ご家族の方でも楽しめます。ただし、二重枠に入った文字を入れてできた言葉とロータリーには少し関係があります。どんな関係かな。ロータリーのこと、ちょっとずつ学ぼう。

パズル制作／ニコリ

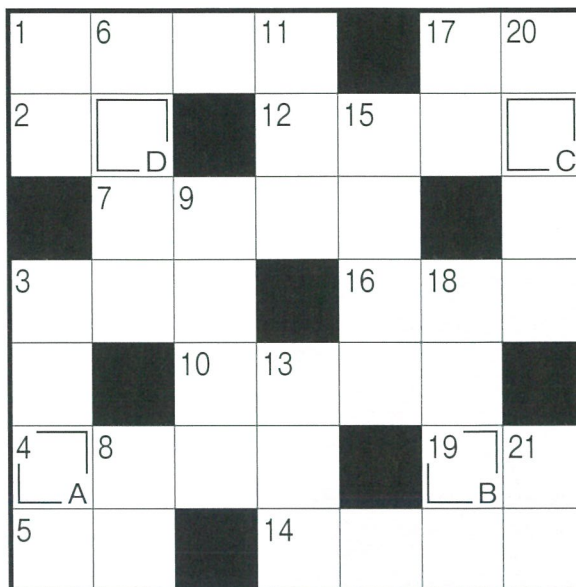
問題 二重枠に入った文字をAからDの順に並び替えてできる言葉は何でしょう？

ヨコのカギ

- 1 ー の日は国民の祝日。今年は9月17日
- 2 料理に使う舌
- 3 入浴前にすること
- 4 マイアミがあるアメリカ南東部の州
- 5 掛け算の基本として暗記する
- 7 俳諧の季語がたくさん載っている
- 10 伝統的に女性向け武道として発展した
- 12 秋のは女郎花、萩、桔梗などなど
- 14 ー をつける ー に乗る
- 16 お月見に似合う植物
- 17 部屋に入る前にノックする
- 19 日本とアルゼンチンのは12時間

タテのカギ

- 1 3は1、25は2、85006は5
- 3 イチゴ入りのもある和菓子
- 6 紙やTシャツなどに行うプリント
- 8 仕官する人への給与
- 9 反論もせずに言葉に従う
- 11 首の後ろのあたり
- 13 話し合う内容。アジェンダともいう
- 15 踏むとキュッキュッと音がする



答 A B C D

- 17 食らわば皿まで
- 18 写真や番組を撮影する場所
- 20 葉っぱが細いネギの仲間。別名センボンワケギ
- 21 年齢の単位



毎月10人に『ロータリーの友』
名前入り木製パズルをプレゼント!!



※パズルは3種類あり
ます(種類はお選び
いただけません)

◆パズル de ロータリー応募方法◆ 郵便はがきに、①「9月号の答え」②名前 ③所属クラブ ④今月号で印象に残った記事 をお書き添えの上、〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階(一社)ロータリーの友事務所P係までお送りください。④に関する回答は、「声」欄(縦組みP52)に掲載させていただくことがあります。会員以外のご応募も大歓迎です。

WEB応募は下記のURL、または右の2次元バーコードから。
<https://rotary-no-tomo.jp/puzzle.php>



◆締め切り◆ 2018年10月10日(水) 必着

●パズル de ロータリー(6月号)の答えと当選者は、横組みP51に掲載しています。

詰め将棋



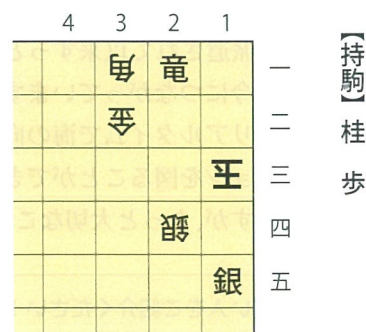
出題

日本将棋連盟
宮田 敦史 七段

ヒント

3手目は歩打ち
5手詰め 5分で4級

●詰め将棋の解答は、P51に掲載しています。
(※詰め将棋にはプレゼントはありません)





家族に優しいロータリークラブ

イギリス・バークシャー州メイデンヘッドブリッジRC

THE ROTARIAN 9月号から

創立：2012年
創立会員：25人
現在会員：48人

未来への懸け橋：

テムズ川に架かるメイデンヘッド鉄道橋は、1830年代に造られた時、工学技術の奇跡と評されました。若い専門家や若い子どものいる会員の予定に合わせて調整し、結成したメイデンヘッドブリッジロータリークラブ(RC)もこの橋のように、地域の社会や文化、そして全ての世代とのつながりを築いています。会員は奉仕活動に重点を置き、毎年、2,000時間の奉仕活動を記録しています。それとは別に楽しむ時間も十分に確保しています。

メイデンヘッドブリッジRCの創立会員の数人は、メイデンヘッドローターアクトクラブのメンバーでした。「私たちは30歳に達したところで、『今後は何をするのか?』と自分たち自身に問いかけました」と、創立会長のリサ・ハンターさんは言います。

私たちは、私たちがロータリーに望むことについて話し始めました。主だった町中のロータリークラブは、昼食時に例会を行っていました。若い職業人や子どもを持つ私たちにとって、昼例会への出席は現実的ではありませんでした。私たちには、小さな会員と一緒に連れてくることのできるような、家族への優しさが必要でした。

ハンターさんの娘、クロエちゃんは7歳で、彼女は生まれた時から例会に出席しています。普段から例会に参加している10人ほどの子どもと同様に、「彼女は他の人を手助けることをとても理解しています」と、ハンターさんは言います。

「バースデーカードを渡したり、発表を手伝うなど年齢に応じて、子どもたちに役割を与えています。地元のイベントでのバザーでは彼らは大活躍なんですよ。未来の販売員です」

特徴的な共同体構想でクラブは注目されるようになり、他の地元グループとのつながりもできました。「身体障害や学習障害のある子どもたちのニーズに合わせたテムズ・バレー・アドベンチャー運動場や、障害に立ち向かっている人々を支援する組織Family Friendsといった多くの慈善団体がすでに動き出しており、支援を求めています」と、ハンターさんは言います。

会員はビジネスで培ったノウハウを生かして非営利団体Food shareを支援しています。この団体は困窮してい

CLUB INNOVATION：

2週間に1回、地元のカフェで開かれる例会は、肩肘張らない柔軟な雰囲気です。家族を大切にすることに重点を置いているため子ども連れで例会に出席する会員も珍しくありません。例会では、子どもにも役割を与え、次世代のロータリアンを育てています。家族に優しい、に焦点に絞りながら、楽しいことが大好きな町で行われる地元のフェスティバルで実行委員を会員たちは務めています。

る人々に無償で食べ物や援助を提供しています。が、会員の協力で在庫管理を改善し、無駄をなくして活動範囲を拡大しました。「会員の何人かはこのフードバンクのメンバーとしてよく知られています。地元のスーパーの買い物客から定期的に寄付される品物を基にし

て組織化しました」と、地元Food shareの管理委員、レスター・タナーさんは言います。

「私たちの要望に応えられる善意と能力を持つ組織があると知ることは良いことです」

「地元でまじめな活動をする一方で、クラブは愉快なこともします」とハンターさんは言います。毎年、ロータリー財団への寄付資金調達のため、24の挑戦を目玉にした24時間イベントを開催、会員たちはそれに取り組まなければなりません。「土曜日の午前8時から日曜日の午前8時まで。たくさんのきつい運動の時間と精神的な活動の時間があります。午前3時の折り紙は、おそらく、私がこれまでに経験した最もきつい挑戦の一つでした」と、彼女は言います。「イベントによる一つのすてきな副産物はチームの成長でした。楽しい時間を過ごしながら、より深く仲間の会員を知るようになりました」

娯楽はクラブの目的の一部です。「私は、その成長を促しているのはクラブの例会の柔軟性にあると思います」と、ハンターさんは言います。「変化を恐れず、逃げないこと。ロータリーは、私たちが望むロータリーにすることができます」

—BRAD WEBBER



上：地域の清掃プロジェクト
下：非営利団体・シルバースターによる糖尿病検査

あなたのクラブはどのような革新的な
取り組みを図っていますか？

hensyu@rotary-no-tomo.jp までお知らせください。

各地で難民支援に当たる ロータリアン

その数は驚異的といえます。戦争、抑圧、貧困によって家を追われる人は毎日2万8,000人以上。これは、1分に約20人が難民になっているということです。

2018年7月3日現在、難民の数は6,850万人。世界は歴史上最悪の難民危機に直面しています。

移民・難民の波は国際社会を揺るがし、近隣諸国やヨーロッパでひずみをもたらすこともあります。トルコでは300万人近くを受け入れており、パキスタンがそれに続きます。受け入れ国トップ10のうち唯一の先進国であるドイツでは、約70万人の難民や亡命希望者を受け入れています。

シリアでの内戦が難民発生最大の原因となっており、2011年の騒乱発生以来、数百万人が国を追われています。そのうち、子どもの数が非常に高く、半数以上が18歳未満です。

ロータリーは、難民キャンプに水や医療を提供するプロジェクトや、難民がより安全な国へ移動するための支援を通じて、難民危機の緩和に取り組んでいます。過去数年間、クラブや地区はグローバル補助金約300万ドルを使用し、難民関連のプロジェクトや奨学金を提供してきました。

毎年6月20日は「世界難民の日」

に指定されており、安住の地を求めて家を追われる難民の力、勇気、その貢献に対し、世界中の人々が敬意を表する日です。

以下に、数千人もの難民の生活を変えたロータリーの事例を紹介します。

カナダ・ノバスコシア州のアマースト・ロータリークラブ(RC)は、シリアから2家族を呼び寄せ、新しい生活を立て直す支援。クラブは、他の地域団体に迅速に働き掛け、家族が町やその文化になじめるように支援しています。同じくカナダ・ブリティッシュコロンビア州のメリットRCもシリアの家族をカナダへ呼び寄せるために、資金を集めました。

ウガンダ・ナキバレRCは、ウガンダ最大級の難民施設「ナキバレ難民居住地」の住民がビジネスを立ち上げ自立するための資金集めをしています。このクラブは、難民施設内に設立されており、難民に砂糖、石鹸や衣服などを提供しています。

ドイツのロータリアン、ピア・スカラビス・クエルフェルト医師は、ボランティアドクターのネットワークを構築し、ベルリンに移動した数千人の難民を支援しています。難民が最も多かった2015年には、彼女の非営利団体であるメディスン・ヘルプ診療所で100人以上のボランティアが働いていました。また、ベルリンティアガーデンRCは、2018年3月までにグローバル補助金16万ドルを使ってこのプロジェクトを支え、レムゴスターンブルグRCは、約600人の難民を対象にドイツ語を教えるボランティア60人の研修資金を援助しました。

第2452地区(レバノン)と第6560地区(アメリカ・インディアナ州)のロータリアンは、レバノンの子ども32人、シリア難民の子

ども10人の救命心臓手術を行うため、グローバル補助金18万5,000ドルを使用して手術を援助しました。

ルワンダのキガリビルンガRCは、ドイツのドルトムントRCと協力し、ルワンダのガハラ・セクターの難民キャンプに井戸を掘る支援を行いました。

ソウルと台北のロータリアンは、北朝鮮からの難民のために、グローバル補助金8万9,000ドルを使用し、耳鼻咽喉科の診断機器をソウルのラファエル診療所に提供しました。

-Ryan Hyland

2年連続！ 年次基金 寄付ゼロクラブがゼロに

2017 - 18年度、ロータリー財団の年次基金寄付の、第1、2、3ゾーン内の寄付ゼロクラブは、ゼロとなりました。2016 - 17年度に続き、2年連続の達成となりました。

今後のR I 国際大会

2019年6月1～5日

ドイツ・ハンブルグ

(以下予定)

2020年6月6～10日

アメリカ・ハワイ州ホノルル

2021年6月12～16日

台湾・台北

統計

全世界ロータリアン総数

1,201,005人

クラブ数 35,705 クラブ

地区数 538 地区

国と地域 200以上

ローターアクト会員数 257,853人

クラブ数 11,211 クラブ

国と地域 160以上

インターアクト会員数 528,885人

クラブ数 22,995 クラブ

国と地域 150以上

2018年7月13日現在



ロータリー財団管理委員長からのメッセージ
2018-19 年度ロータリー財団管理委員長

ロン D. バートン



国際大会へのカウントダウン 日帰り旅行

6月1～5日に開催される2019年ロータリー国際大会に参加される方には、ハンブルクでのめくるめく観光体験が待っています。さらに、ハンブルク近郊にもたくさん見どころがあります。

例えば、市街地から100km近くも離れているのにハンブルクの一部である、北海に浮かぶ島をご存じですか？干潮時には、干潟のヴァッテン海（約480kmにわたる海岸で、干潮時には潮が16kmも引き、干潟が現れます）を歩いてノイヴェルクまで行くことができます。島まで歩くのが大変な人には、馬車に乗って行くという手もあります。14世紀に監視塔として建てられたノイヴェルクの巨大な灯台からは見事な眺望をお楽しみください。

もう一つ、自然に親しめるスポットとして外せないのがリュネブルガー・ハイデ。にぎやかな港湾都市の約50km南にある自然保護区では、他では見られない自然環境の静けさに心が安らぎます。その道中、Gasthaus Zum Heidemuseumで伝統的なボリュームたっぷりのランチはいかがでしょうか。

または、典型的な北部の小さな田舎町を訪れてみるのもよいでしょう。エルベ川の対岸のアルテスランドは、昔からハンブルクの食料庫であり、庭でした。サクランボやリンゴの果樹園で知られます。日帰りツアーはハンブルクから出発します。

-STEFAN MEUSER



2019年ハンブルク国際大会の参加登録はこちら riconvention.org

チャールズ C. ケラーさん（今年5月に逝去）が国際ロータリー（RI）会長だった1987-88年度に、私はガバナーを務めました。ガバナーとして、私はフィラデルフィアで開催された国際大会に出席し、ポリオが125カ国で推定35万件発症していることを知りました。しかし同時にうれしい知らせも耳にしました。ポリオ撲滅のために1億2,000万ドルという目標額を上回る、2億1,935万449ドルの資金を集めたのです（会計処理後には2億4,700万ドルに修正されました）。私たちは皆大喜びしました。ロータリーの力を自分たち自身と世界に示し、グローバルな保健問題に取り組む力があることを証明したのです。

その後30年間、世界保健機関（WHO）や米国疾病対策センター（CDC）、UNICEF（国連児童基金）、ビル＆メリンダ・ゲイツ財団などのパートナーとともに、ロータリーはさらに募金を集め、全国予防接種日（NIDs）を企画し、各国政府に働き掛けてきました。私たちは子どもたちにポリオのない世界をもたらすという約束を守るために活動を続け、2017年には発症数がわずか22件にまで減りました。

まさに偉業といえますが、これで終わりではありません。発症数をゼロにまで減らし、自然環境でウイルスが検出されなくなった後で、世界からポリオがなくなったとWHOが公式に宣言するのを待たなくてはなりません。そのためには、人または自然環境で野生株ポリオウイルスが一つも検出されずに少なくとも3年間が経過しなくてはなりません。その間も、私たちは子どもたちへの予防接種を続け、ポリオウイルスが二度と蔓延しないように監視を続けていかなくてはなりません。

ロータリアンは常にポリオ撲滅活動の最前線に立ってきました。それは今も変わりません。それでは、私たちに今、何ができるのでしょうか？あらゆる知り合いにロータリーとポリオについて教えましょう。寄付をしましょう。クラブに最新情報を伝えて、ポリオ撲滅活動に直接貢献する方法を一緒に考えましょう。

10月24日には、6回目の世界ポリオデーのイベントで、世界ポリオ撲滅推進活動（GPEI）の30周年を、始まりの地であるフィラデルフィアで祝います。世界ポリオデーの募金イベントやパブリックビューイングパーティーを開き、endpolio.org/ja/promote-your-eventにイベント情報をお寄せください。endpolio.org/jaにはいろいろなアイデアが載っています。

ポリオ撲滅のためには皆さまからの協力が必要です。子どもたちへの約束を果たすために、皆さまの力が必要なのです。

Ron D. Burton
財団管理委員長



地区別クラブ数・会員数一覧表

(2018年6月末現在)

地区	R C 数	会員数	17年6月末 会員数
第2500地区	67	2,270	2,280
第2510地区	69	2,542	2,560
第2520地区	79	2,219	2,260
第2530地区	65	2,323	2,361
第2540地区	42	1,127	1,124
第2550地区	51	1,748	1,720
第2560地区	56	2,095	2,088
第2570地区	51	1,613	1,637
第2770地区	74	2,554	2,530
第2790地区	83	2,799	2,761
第2800地区	49	1,592	1,592
第2820地区	55	1,959	1,956
第2830地区	41	1,170	1,170
第2840地区	45	2,113	2,063
第2580地区	70	3,017	3,018
第2590地区	56	2,019	2,050
第2600地区	54	1,918	1,943
第2610地区	64	2,630	2,624
第2620地区	79	2,979	3,004
第2630地区	75	3,132	3,091
第2750地区	99	4,733	4,754
第2760地区	85	4,851	4,785
第2780地区	67	2,396	2,325
第2640地区	69	1,791	1,893
第2650地区	96	4,578	4,572
第2660地区	81	3,589	3,579
第2670地区	74	3,054	2,989
第2680地区	73	2,772	2,792
第2690地区	66	3,014	3,025
第2700地区	61	3,173	3,143
第2710地区	73	3,265	3,254
第2720地区	75	2,454	2,413
第2730地区	66	2,362	2,352
第2740地区	57	2,236	2,228
34地区合計	2,267	88,087	87,936

日本のロータリー

会員概数 87,807 人

クラブ数 2,258

(左の表中 34 地区合計から、第2750地区のP Bグループを引いた数です)

ガバナー月信より 2750 クラブ数・会員数は、P B グループ 9 R C 280 人 (北マリアナ諸島・グアム・ミクロネシア・パラオ)を含みます。P 6「日本のロータリー」数は 34 地区合計から P B グループを引いた数。17 年 6 月末 P B グループ 9 R C 会員数 290 人。

地区会員数修正 本誌 7 月号横組み P59 (4 月末) 表中、2650 : 4,668 人、34 地区合計会員数 : 89,824 人、表外と P6「日本のロータリー」最終行会員数 89,544 人。同 8 月号横組み P47 (5 月末) 表中、2800 : 1,641 人、2750 : 4,852 人、2650 : 4,686 人、34 地区合計会員数 : 90,184 人、表外と P6「日本のロータリー」最終行会員数 89,904 人。

ご案内 右記一覧表は、3 つのゾーン順で色分けしてあります。表中の左端の色と、横組み P 49 奥付の日本ロータリー分布図の色を対照し、ご覧ください。

*『友』ウェブサイトの「ロータリー資料館」にデータ修正後の表を掲載しています。
*第2520地区の数値は震災につき概数。

ロータリーの友 Home Page www.rotary-no-tomo.jp

ロータリー衛星クラブ

大阪南なみはや (2660・大阪府)

スポンサー 大阪南

2018 年 7 月 2 日認可

会員数 : 8 人

例会日 : 第 1・3 火 20 : 00

例会場 : ビストロヴェール

事務所 : 〒556-0011 大阪市浪速区難

波中 1-12-5 難波室町ビル 8 階

議長 : 中 邦暁 幹事 : 森本秀樹

新インターアクトクラブ

福島県立猪苗代高校 J R C

(2530・福島県・猪苗代)

結成 : 2018 年 5 月 16 日 会員数 : 18 人

事務所 : 〒969-3111 耶麻郡猪苗代

町窪南 3664 福島県立猪苗代高校内

会長 : 工藤清香 幹事 : 未定

アサプション国際中学校高等学校

(2660・大阪府・池田くれば)

結成 : 2018 年 7 月 1 日 会員数 : 7 人

事務所 : 〒562-8543 大阪府箕面市

如意谷 1-13-23

アサプション国際中学校高等学校内

会長 : 古淵日菜 幹事 : 元木玲那

◆ 公共イメージ向上のための広報誌『世界と日本』第 11 版刊行

一般の方向け広報誌『世界と日本』を、今年も改訂し制作しました。見本誌とご案内状 (注文用紙付き) は、『友』誌 9 月号と同送しております。ご注文は友ウェブサイト (www.rotary-no-tomo.jp) からできます。なお、会員候補者のための広報誌『あなたも新しい風に』は、昨年刊行の第 9 版をもちまして休刊となっております。どちらの広報誌も、在庫ある限りです。

◆訂正 本誌 8 月号縦組み P 22 柳壇・選評第 2 句作者名を井戸→井口様へおわびとともに訂正いたします。

ロータリーの友

10 月号主要記事予定

横組み 経済と地域社会の発展月間

特集 明治 150 年 米山月間

縦組み 地域資源を活かした復元力のあるまちづくり

(公社) 日本建築士会連合会会長 三井所清典

クラブを訪ねて 大阪堂島 R C

Rotary



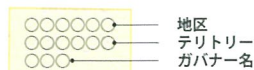
ご投稿・お問い合わせは——

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階

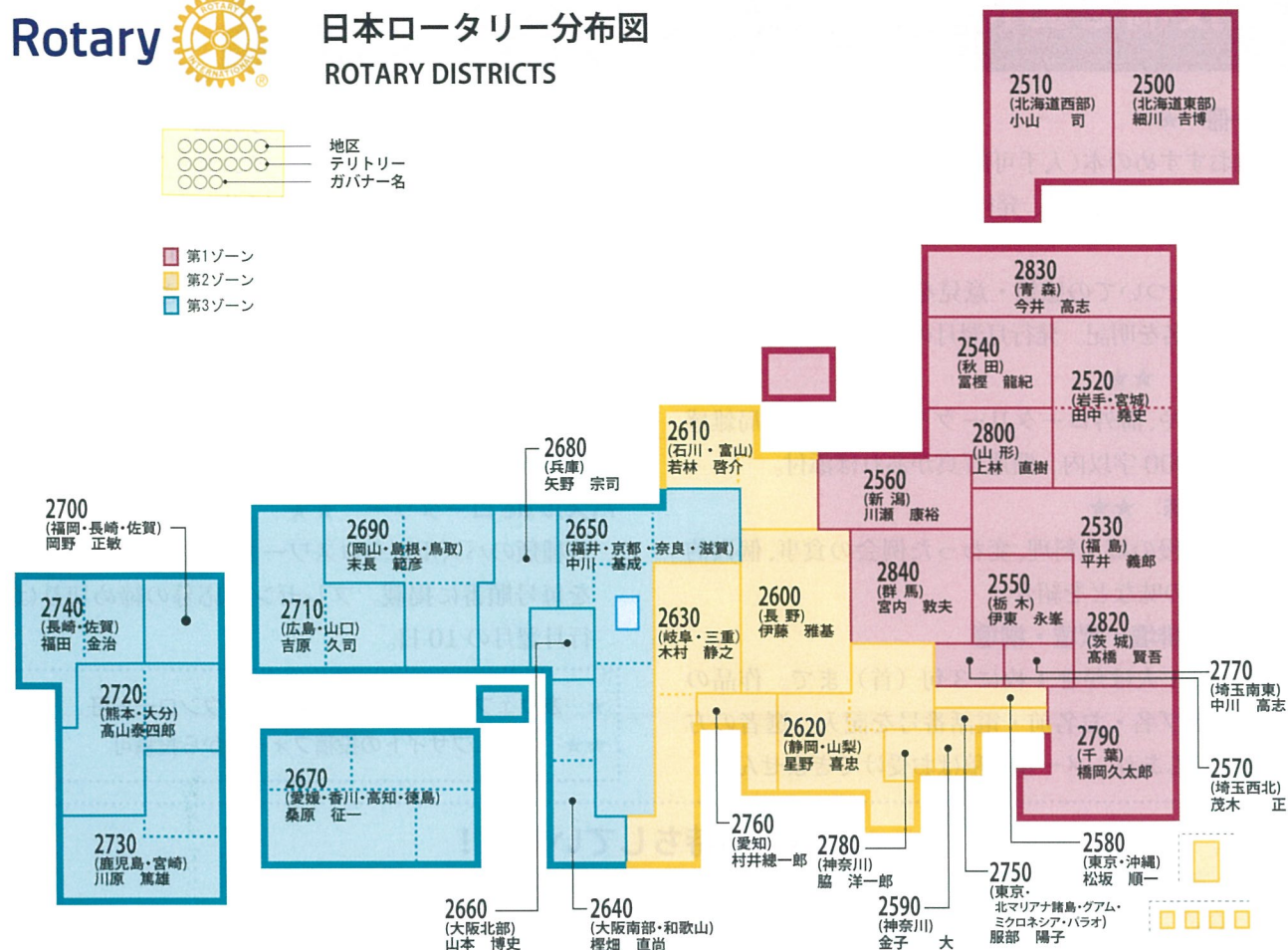
一般社団法人ロータリーの友事務所 Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956

編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp 管理部メール keiri@rotary-no-tomo.jp

ロータリーの友ウェブサイト www.rotary-no-tomo.jp



第1ゾーン
第2ゾーン
第3ゾーン



ロータリーの友ウェブサイト www.rotary-no-tomo.jp に各地区のホームページをリンクしています。

月刊 ロータリーの友

第66巻 9月号

2018年8月31日印刷 2018年9月1日発行

一般社団法人

ロータリーの友事務所

■ 社員

石黒 慶一	(鶴岡西)
三木 明	(姫路)
松坂 順一	(東京葛飾東)
服部 陽子	(東京広尾)
脇 洋一郎	(茅ヶ崎湘南)
山本 博史	(大阪南)

■ 理事会

代表理事	片山 主水	(名古屋東南)
理事	神崎 正陳	(茅ヶ崎湘南)
	上野 孝	(横浜)
	安平 和彦	(姫路)
	片岡 信彦	(土浦南)
	橋本 長平	(京都東)
	清水 良夫	(横浜)
	田中 政春	(長岡西)
	岡部 一輝	(南砺)
	庄司 尚史	(境港)
	松坂 順一	(東京葛飾東)
	服部 陽子	(東京広尾)
	横山 武志	(東京北)
	中里 公造	(川口モーニング)
	堀口 昇治	(東京西)
	野中 茂	(川崎)
	津村 政男	(東京臨海東)
	渡辺 誠二	(東京みなと)
	野崎 恭子	
監事	船越 豊	(千葉中央)
	小川 湧三	(川崎鷺沼)

■ 職員

所長	渡辺 誠二	(東京みなと)
編集長	野崎 恭子	
編集	稲川 やよい	
	黒野 穰二	
	山名 愛	
	飯田亜由香	
	熊谷健太郎	
管理	富澤 美子	
	半田 弥生	
	福元菜穂子	

振込銀行 三井住友銀行浜松町支店
口座番号 (普通) 7450015
郵便振替 口座番号 00180-8-694591
印刷 大日本印刷 (株)
表紙印刷 半七写真印刷工業 (株)

一般社団法人ロータリーの友事務所

〒105-0011
東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階
電話 03-3436-6651
FAX 03-3436-5956
編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp
管理部メール keiri@rotary-no-tomo.jp
ウェブサイト www.rotary-no-tomo.jp
定価 200 円 + 消費税 (送料別)

ご投稿をお待ちしています！『ロータリーの友』投稿規定



私の一冊 ★

会員おすすめの本(入手可能な市販書籍)を紹介。書籍名、作者名、出版社、発行年と推薦文(320字以内)。

声 ★★

『友』誌についての感想・意見を200字以内で紹介。対象記事名を明記。発行月翌月の10日締め切り。

友愛の広場 ★★

エッセーや、海外ロータリークラブ訪問記、時局雑感など。1,000字以内。関連写真があれば添付。

わがまちの味 ★★

わが町自慢の郷土料理、変わった例会の食事、個人的な思い出の味などを紹介。

ロータリー俳壇・歌壇・柳壇

1か月に1人はがき1枚に3句(首)まで。作品の横にクラブ名・お名前・電話番号を記入。選者の方のご都合もあり、メール投稿はお受けできません。

ロータリー・アット・ワーク写真編 ★★

ロータリークラブ、地区、インターアクト・ロータリーアクトクラブなどの奉仕活動を写真で紹介。写真と150字程度の説明文。必ず活動日を入れてください。活動後1カ月以内にご投稿ください。

ロータリー・アット・ワーク文章編 ★★

内容は写真編と同じ。600字以内の原稿と関連写真を。

内外よろず案内

会員間の趣味の交換、催し物の案内など。200字以内。

パズル de ロータリー ★★

3種類のパズル(クロスワード、数独、シークワーズ)を毎月順番に掲載。プレゼント応募の締め切りは発行月翌月の10日。

★…友ウェブサイトから記入用紙をダウンロード可

★★…友ウェブサイトの投稿フォームから投稿可

情報もお待ちしています！

NEW GENERATION ★

ロータリーのプログラムに参加経験のある10～30代までの若い人(現役・学友)を紹介。推薦対象者(インターアクト、ロータリーアクト、青少年交換学生、財団奨学生、米山奨学生、ライラリアンなど)について編集部へご一報を。編集部から直接、当人へ原稿を依頼。

『クラブ週報』『クラブ会報』

クラブの『週報』『会報』をご送付ください。「卓話の泉」に掲載するほか、クラブ活動の参考としてご提供をお願いします。メール配信のクラブは、メーリングリストに『友』編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp を加えてください。

送り先

一般社団法人ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階

Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956

Eメール hensyu@rotary-no-tomo.jp

投稿方法、その他規定は友ウェブサイトで！

ロータリーの友
Home Page
www.rotary-no-tomo.jp



NEW GENERATION 皆さんの周りの若い人をご紹介します！

—— ニュージェネレーション

横組み「New Generation」のコーナーでは、ロータリーのプログラムに参加したことのある10～30代までの若者を掲載しています。現役、学友問いません。身近にいるロータリーに関わる若者を『友』編集部にご推薦ください。特にインターアクトの推薦をお待ちしています。ロータリー学友だけでなく、クラブや地区独自の奨学生の推薦も可能です。推薦者の記入用紙は『友』ウェブサイト www.rotary-no-tomo.jp からダウンロードを。編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp へお寄せください。



募集中！

※写真ならびに原稿は、友ウェブサイト、広報誌など、(一社)ロータリーの友事務所発行の出版物に掲載の場合があります。

「パズル de ロータリー」(6月号)の答え

6月号の答え「エイセイクラブ」

💡 答えの「衛星クラブ」は、2013年規定審議会で採択された新しいクラブ形態で、「クラブの中にあるクラブ」といえます。新たなクラブを設立するための移行的形態として設けられたクラブで、少なくとも8人以上の会員を有している必要があります。衛星クラ

オ	ク	ラ		シ	ア	ゲ
シ	ロ	ム	ク		フ	シ
イ	ス		ラ	ス	ク	
レ		ク	イ	ズ		マ
	ド	ラ	マ		コ	エ
ア	ク		ケ	イ	ヨ	ウ
メ	ロ	ン		セ	イ	リ

ブの会員はそのスポンサークラブの会員でもあり、ロータリアンと同等の権利と義務を負います。細則を別に定めて、より柔軟な例会開催など、既存のクラブとは異なる人たちがロータリアンとなる機会を増やします。これまでに国内に11の衛星クラブができ、そのうちの2つはロータリークラブになりました。現在は9つの衛星クラブがあります。

応募総数 99人 正解者 99人

当選者(敬称略・順不同)／三牧博史(倉敷RC)、山下正雄(加賀白山RC)、田中寿雄(甲斐シティRC)、川端貞喜(和歌山RC)、松尾巧(湯布院RC)、樋上成泰(小倉東RC)、笹島弥一(日立中央RC)、中村健一(塩尻北RC)、山田享司(豊橋RC)、富川唯夫(舞鶴東RC)

◆ P44 詰め将棋の答え ◆

▲2五桂△同銀▲1四歩△同銀
▲2四銀まで5手詰め

この問題に関するお問い合わせは、往復はがきに、お名前、ご住所、電話番号をお書き添えの上、〒151-8516 東京都渋谷区千駄ヶ谷2-39-9(公社)日本将棋連盟普及課ロータリーの友詰め将棋係までお送りください。

	4	3	2	1
		馬	竜	
		王		
				王
			銀	銀

【持駒】なし

◆ 解説 ◆

初手▲2四竜は△1二玉▲1三步△同角以下、▲2四銀は△1四玉以下いずれも詰みません。また▲1四歩は打ち歩詰めです。▲2五桂が好手。2手目△同銀と取らせれば▲1四の地点に歩を打つことができ、4手目△同銀と取らせて▲2四銀で詰みとなります。

□表紙について

横組みの表紙

読む力+書く力=幸せ引力

イラストレーター おかドド



文房具を、人が立ったり座ったりする土台として描くことで、基本的教育の支援をイメージしてみました。生活力向上のその向こうにある、読めるからこそその発見や感動、書けるからこそその正しい理解と伝えられる喜び。それがまた伝わって、どんどん幸せの連鎖が始まっていくといいなと思います。

縦組みの表紙

お月見

イラストレーター ますこひかり
月にいるのはうさぎ? かに?
かぐや姫?…… いえいえ100
年後にはきっと人間が。



被災者の皆さまに お見舞い申し上げます

平成30年7月豪雨でお亡くなりになられた方々に哀悼の意を表するとともに、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

ロータリーの友事務所一同

編集部のあとがき

当欄開始から3回目。今回はそのタイトルについて。
「鴨の水かき」という言葉。水上の鴨は気楽そうに見えても水かきは動いている。つまり、人知れず苦勞するという意味ですけど、僕らの状況がまさにこれ。企画で頭を抱え、追われて入稿し、いざ出来上がって「あっ…」ということの繰り返し。とはいえ見栄がありますから、読者には「水上の鴨」だけを見てほしい、苦勞はあえて隠したいという思いもあります。ところが、友の役員の方から、「水かき」が見たいとの要望が増え、ついに欄を設けるに至って頭に浮かんだのが、入稿前後に付きまとう(悪)あがき…。だから挿入されたあがきです。それにしても、あえて水面下を見たいなんて、変わった人の集まりなんだと思うんですけど。あつ、だから変(編)集なんですかね。(編集部 黒野)

声

6月号の感想

『友』を読んで、「この原稿を書いた人にエールを送りたい!」「感動した」「知らなかった」などの感想、『友』そのものに關するご意見などを紹介します。

【対象記事】

特集◇暮盤の上では言葉はいらない
(横 P 14・15)

【感想】 かつての職場の大先輩から「囲碁を覚えると良い。先、先と相手の手の内を考えるので、仕事にも役立つ」と言われ、実際に囲碁を習い、仕事に生かしてきました。ロータリーにおいても、変えてはならないこと、変えなければならぬことを先に読み、取り組まなければ生き残れないと思います。囲碁の極意は、ロータリーの運営に不可欠です。また、囲碁は国を超えて親睦を深められる手段でもあります。

福井西RC 中村 敏雄

【対象記事】

米山梅吉は本年生誕150年を迎えました (横 P 24・25)

【感想】 10代から60代までの米山梅吉氏の足跡が簡潔明瞭にまとめられており、良かったです。また、5月号横組み32ページに紹介された漫画『米山梅吉ものがたり』を注文して読んでみましたが、良かったです。日本ロータリーEクラブ2650

西川 政美

【対象記事】

スピーチ◇虹別コロカミイの会長・館定宣氏の「シマフクロウの森づくり」 (縦 P 4・8)

【感想】 自然を相手に100年先を見据えた森づくり、とにかく多年にわたり、大勢の参加の下で地道に活動されていることに、素晴らしいさがあります。次世代へと引き継がれることと確信しています。

蒲郡RC 本多 英夫

【対象記事】

ロータリーの友委員会委員長／ロータリーの友事務所代表理事・清水良夫氏の「退任に当たり」 (横 P 31)

【感想】 清水良夫委員長、お疲れさまでした。『友』誌の経費に苦勞されているとのこと。購読料の値上げもやむなしです。

【対象記事】

クラブを訪ねて◇第2550地区・益子RC (縦 P 9・12)

【感想】 陶器は宝です。わが家にも一つくらいは良い品がほしいと思っていますが、手が届きません。

川崎中RC 廣山 宗一

【対象記事】

友愛の広場◇敦賀RC・刀根莊兵衛氏の「次年度R-テーマ日本語訳について思う」 (縦 P 16)

【感想】 国際ロータリーテーマ「インスピレーションになろう」について、「人の心に火をつけるリーダーになろう」との解釈、ありがとうございます。「She's my inspiration」(彼女のことを思うと、身も心も元気になるんだ)の引用もあつて納得。これで7月からもロータリアンとして在籍できそうです。

岸和田東RC 坂東 桂子

【対象記事】

卓話の泉◇松山RC・大橋裕一氏の「ブルーライトにご注意」 (縦 P 18)

【感想】 メラトニンへの理解が深まりました。不眠の人の増加は、日本の経済発展に伴う眠らない街現象のツケだと思えます。農家の私は毎晩、真っ暗な空間で眠りへ。早朝4時、爽やかに目覚めるとエネルギーに満たされています。農家だけど、接客大好き人間、心地よく眠れる場所を提供できます。元氣を取り戻すためにも、夜が真っ暗になる広島県尾道市瀬戸田町へぜひお越しください。

瀬戸田RC 川原真奈美

【対象記事】

ロータリーアットワーク写真編◇宇都宮陽東RCの「クラブ創立25周年記念 ベトナムで汗かき国際奉仕」 (縦 P 22)

【感想】 私も歯科医師として、このような事業に参加したいと思っています。全国の会員から参加者を募集したらどうでしょう。ベトナムの子どもたちの虫歯の罹患率が日本と同じように低くなることを願いたい。

丸亀RC 夏見 良宏

【対象記事】

ロータリーアットワーク文章編◇仙台RCの「未来へつなぐたすき 中学生に職業講話」 (縦 P 26)

【感想】 同じ宮城県内にある仙台RCの活動を知り、生徒たちからの感想文にも感動しました。当地は東日本大震災で被災し、わがクラブも地域に貢献していますが、各クラブともいろいろなところで社会奉仕、職業奉仕をしているのですね。楽しく読ませていただきました。

名取RC 針生美千子

●本文200字以内。本文とは別に、対象記事名(例・〇月号「友愛の広場」、〇〇さんの記事とお名前、クラブ名、連絡先を付記しお送りください。詳細は投稿規定または「友」ウェブサイトで見えます。

当日は深い霧が立ちこめ、気温も低い中、会員と若者、学校や学年の垣根を超えた時間を過ごし、水源地でも、昼食会場でも、参加者の皆さんの笑顔と元気な声が絶えず辺り一面に響き渡っていました。

今回植えたブナの木々が大きく成長し、その木漏れ日の下、笑顔で再会できたら、それがこの事業の最終的な夢になると考えています。

私たちのブナの森

諏訪湖ロータリークラブ

第2600地区・長野県

良い天候に恵まれ、15年目を迎える「私たちのブナの森」の事業を、4月28日に実施することができました。

私たちは1985年の創立当時から、クラブ名の母なる諏訪湖を鏡に見立て、地域の子どもたちと湖の浄化、環境問題に取り組み、奉仕の理想を追求してきました。

15年前からは下諏訪町立下諏訪中学校と、湖の浄化を里山から考え、行動しようとして、毎年20〜50人の中学生とともにブナの植林と下草刈り、枝払い、シカによる食害を防止するネットの設置などを行い、自然のダムであるブナに着目して環境教育に取り組んでいます。



中学生たちと一緒にブナの植林作業

す。さらに3年前からは環境問題への取り組みとして、諏訪市立高島小学校の児童と一緒に「私たちのブナの森」の事業を実施しています。

今回は会員22人、下諏訪中学校の生徒と先生20人、高島小学校の児童と保護者、先生15人が参加し、子どもたちには安全のためヘルメットと手袋を着けてもらい、大人とチームを組んでブナの植林を行いました。特に今回はイン・ライズリー国際ロータリー会長（当時、以下同）と関邦則ガバナーが「一人1本の植樹」を訴えたことを意識しつつ、38本のブナを植えました。会員は息を弾ませ、心地よい汗をかき、子どもたちの元気な歓声とともに素晴らしい1日を過ごしました。

最初にブナを植えた時の子どもたち

も成人年齢を越えました。今後も木々と子どもたちの成長を願い、より良い環境を目指し奉仕していきたいと思っています。

（萩田均・記）

大地の恵み ジャガイモ・プロジェクト

大宮シテイロータリークラブ

第2770地区・埼玉県

当クラブは2009〜10年度から毎年、地域社会奉仕事業として「大地の恵み ジャガイモ・プロジェクト」と銘打って、地元で借りた畑で作付けから収穫までを地域の人たちと共にを行っています。

昨年度は3月4日に種芋1800個を植え付け、4月29日に芽かき作業、6月3日を本収穫日として、約1000個の立派なジャガイモが収穫できました。種芋の植え付けと芽かき作業は日本ボーイスカウト埼玉県連盟のさいたま第8団ビーバー隊と保護者が担当。本収穫日は同さいたま第8団・第9団・第10団の関係者130人、埼玉県立大宮北特別支援学校から90人、会員と関係者、米山奨学生30人の計250人が参加し、交流を深めながらの作業となりました。



今回もたくさんのジャガイモを収穫

終了後、収穫したジャガイモを使って豚汁とカレーを作り、参加した皆さんと一緒に食べました。子どもたちは種芋からたくさんのおいしいジャガイモができること、また土に触る楽しさを知りました。そして自分が収穫したジャガイモを食べることができ、とても喜んでいました。

晴天に恵まれ、私たち会員もいい汗をかくことのできた素晴らしいイベントとなりました。今後もずっと続けていきたい事業の一つです。

Annotation

AED（自動体外式除細動器）

けいれんし、血液を流すポンプ機能を失った状態（心室細動）の心臓に電気ショックを与え、正常なリズムに戻すための機器です。

員会が調査を実施。1泊2日で那珂川本流4カ所、源流1カ所の計5カ所で採水して専門機関に分析を依頼しました。結果は5地点全てで、水質の指標となる4項目(水素イオン指数 pH 、生物化学的酸素要求量 BOD 、化学的酸素要求量 COD 、浮遊物質 SS)が、環境省の定める基準(水道水として供給可)に適合し、汚染といえるほどではありませんでした。しかし、大腸菌群の数値は下流域ほど高くなる傾向が見られ、流域周辺の状況が影響していると考えられました。

この時を皮切りに、今年5月に11回目の調査を行いました。得られた数値は、これまでのものとほとんど変化はありませんでした。

今後も調査を続け、分析結果に大きな変化(水質の悪化)が見られた場合は、行政にデータを開示することになっていますが、そうしたことにならないよう、環境が悪化しないことを願っています。

(相馬征志・記)

日本一公園の清掃奉仕例会

大江ロータリークラブ

第2800地区・山形県

当クラブは、山形県を流れる母なる最上川の中流、西村山郡大江町が所在

地域です。当地は川の上流、米沢方面から小型の舟に積んできた農作物などを中型の舟に積み替え、酒田まで運ぶ舟運で栄えた町でした。当時をしのぶ「最上川の流通・往来及び左沢町場の景観」は、国選定重要文化的景観となっています。

その町並みを眼下に眺望できる高台には、かつて自然を生かした山城がありました。現在は絶景を楽しめる「楯山公園」があり、町内外の人々が訪れています。いつの頃からか「この眺めは日本一だねが?」「んだね、んだ、んだ」という声が多くなり、やがて通称で「日本一公園」と呼ばれるようになりました。

当クラブと公園の関わりは古く、創立10周年にはあずまやを建立し、その後ペンチ、昨年6月には創立50周年



“日本一”の眺めを楽しみながら清掃活動

記念としてフクロウ(不苦労)をモチーフにした山形産物の鐘「幸せの鐘」を贈り、澄んだ音色を響かせています。

園内には大江町発祥で、世界3大舟唄の一つといわれる「最上川舟唄」の石碑もあります。皆さんに気持ち良く訪れていただけるよう、毎年清掃奉仕も続けています。

今年5月22日の清掃奉仕例会当日は「幸せの鐘」を点鐘として開会し、おにぎり昼食を楽しみ、暑いぐらいの晴天の下、清掃を行いました。時折汗を払うかのような薫風が流れ、きれいになった公園からは、さながら「日本一!」「最高!」「しあわせ!」という声飛び交いそうな眺めが広がっていました。

(菊地正憲・記)

水源の森で

足柄ロータリークラブ

第2780地区・神奈川県

当クラブは11年前から未来の森再生に向けた活動、青少年育成プログラム「水源の森を訪ねて」を実施し、地元の中学生たちと南足柄市狩野川上流水源地で、ブナの植栽を続けてきました。ブナの木々が成長していけば、自然災害の防止にもつながり、われわれを含む生き物に豊かな自然資源を育んでく

れます。

本事業は次世代を担う子どもたちが、植栽を通じてその自然体系の仕組みを学ぶことを目的として実施しています。しかし、水源地の土壌は予想以上に固くやせており、栄養不足の状態でした。また、付近は強風の通り道で、小さなブナの木にとって成長に適した場所とは言えません。ブナの成長が遅いことが気になり、クラブ内で検討を重ね、植栽開始から10年を迎えた昨年、根本から見直し、大がかりな土壌改良が必要との結論に達しました。

結果、地区補助金を活用し、昨年12月に土壌改良に着手。そして今年5月13日、新たな気持ちでインターアクター、青少年交換学生を含む若者たち、地区役員の皆さんと共に82本のブナの苗木を植栽しました。



濃い霧の中での植樹作業



健常者も巻き込んで、車いすバスケ大会を開催

体に障害のある子や、各種養護施設の人たち、および交通障害者の人たちも招待しています。もちろん一般市民との交流を図り、障害への理解を広く求めることを理想としています。

午後からの「ふれあいの時間」では健常者が車いすに乗ってコート内を動き回り、シュートに挑戦するという内容にしましたが、行列ができるほど盛況でした。

試合中は選手の方々の真剣な姿を見て、コート内で一緒に闘っているような気持ちになりました。最近では健常者が障害者チームに混じってプレーする動きもあるようです。ボールの仕様もゴールの高さも健常者の公式戦と同じだそうです。スポーツを通して交流が行われ、障害のある人とそうでない人たちの共生が今後も続く世

の中であってほしいと願います。

飛鳥の歴史を肌で感じ みんなで歩こう

日本ロータリーEクラブ2650

第2650地区

当クラブは4月21日、地区補助金事業として「飛鳥歴史ウォーク」を開催。これは「みんなで奉仕を！」を旗印に、当クラブの人道支援事業として、養護盲老人ホーム・慈母園の入所者の皆さんや、国際交流会館との連携で来日している外国人、万葉の歴史に興味を持つ一般の人たちとともに奈良県の飛鳥路を歩こうというものです。

2月に入り、各会員が住む地域の公共施設や商業施設などにポスターやチラシを掲示、地方紙や広報誌に告知の掲載を依頼し、広報に努めました。近畿地域からの参加者がほとんどでしたが、中には東京や神奈川、福井、福岡からの参加者もいました。

会員は朝7時半に近鉄飛鳥駅前に集合し受付準備開始。看板を立て、テントを張り、参加者の手首に目印のテープを巻き、タオルと水のペットボトルを入れた袋を渡しました。しばらく駅前は人であふれ、当日登録もあり、総勢180人余が参加。15〜20人のグループになって、日本の原風景、心の



当日登録もあり、大勢が参加したウォーキング

故郷である飛鳥の古墳や史跡に触れたり、写真やメモを取りながら、地元ボランティアガイドの説明に耳を傾けたりしました。

キトラ古墳、犬飼万葉記念館などに立ち寄りながら、3時間30分または2時間35分のコースを歩き、最後に橿原考古学研究所の菅谷文則所長の講演「飛鳥に栄えたお寺の音・香・色」で、日本の歴史、飛鳥の変貌と成長について聞きました。

この事業は障害者への理解を深め、支援の大切さを知ってもらうこと。外国人と交流し理解を得ることで、奉仕の輪が広がることを願って開きました。また、なかなか会う機会のないEクラブ会員にとって、フェイス・トゥ・フェイスの貴重な一日となりました。

(江口成美・記)

河川水を調べて11年

黒磯ロータリークラブ
第2550地区・栃木県

当クラブが所在地とする那須塩原市黒磯地区は栃木県最北に位置し、自然豊かな地。この地で私たちが大切に思うものの一つに清流・那珂川があります。那須連山の渓谷を水源とする全長150キロメートルの大河です。

1970年頃から上流部に複数のダムが作られ、黒磯地区内での流量減など徐々に変化が見られるようになり、那珂川を生活用水としている一部の市民から、水質悪化を危惧する声が出始めました。

当クラブでは2007年6月、正確な水質の情報を得るため、社会奉仕委



那珂川源流でサンプリング

台湾で姉妹クラブ締結式

杉戸ロータリークラブ
第2770地区・埼玉県

当クラブは5月29日、台湾桃園市において第3501地区の中壠北區RCと姉妹クラブを締結しました。

締結式の立会人は、第3501地区の黄慶瑄ガバナ―（当時、以下同）と、当クラブの関口博正バスターガバナ―が務めました。締結式への参加者は300人で、当クラブからは13人が出席しました。

中壠北區RCは張寶蓮会長の方針で、グローバル補助金事業の実施を目標に掲げ、海外のクラブとの姉妹締結を目指しました。2008―10年に当地区の春日部RCがお世話した米山



華やかに、姉妹クラブの締結式

奨学生・張淑恵氏を窓口とし、春日部RCの子クラブである当クラブが昨年

5月から連絡を取り合い、12月7日に中壠北區RCから会員16人が当クラブを訪ねました。こちらの中野恒明会長をはじめ3人で、今年1月10日に中壠北區RCを訪問し、懇親を深めました。

先方は日本国内をはじめ姉妹クラブの締結は初めてとのこと。当クラブは今年創立47年となりましたが、来るべき50周年に向け、勢いがつく一歩となりました。

今後は互いに自由に行き来できる関係にしつつ、協力して奉仕事業ができるよう会員同士の親睦、交流を進めていきます。

（栗原偉憲・記）

中学生への救急蘇生講座
その継続と成果

浜松南ロータリークラブ
第2620地区・静岡県

当クラブでは、浜松市医師会などが進める「人の命を大切に作る街づくり」の一環として実施されている「中学生のための救急蘇生講座」を、継続支援しています。この講座は1995年の阪神・淡路大震災を教訓とし、その年に開始された中学生の週休2日制、土曜日の学外研修日を利用してスタート

したもの。24年目を迎え、今年は5月12日から、市内公立中学48校と他2校の計50校を対象に順次実施中です。

自宅や学校、道路上やスポーツ中に突然、あるいは災害などが原因で心肺停止となった傷病者に遭遇した時、救急車が現場に到着するまで、心肺蘇生のためのマッサ―ジやAED（自動体外式除細動器）の使用といった一次救命処置を、勇気を出して正しく行えるよう、地域が一体となって取り組む講座です。

過去23年間で計852回の開催。受講した中学生は2万5743人（男子1万2455人、女子1万3288人）となりました。

その成果として、救急現場におけるバイスタンダーCPR（居合わせた人による応急手当）の実施率が、



心臓マッサ―ジを学ぶ生徒たち

1995年の約12割から2017年では50割以上に上昇。全国平均を大きく上回り、今や政令都市のトップクラスになっていることで証明されていると思います。この結果は、受講した生徒たちも含め、クラブの誇りです。

（内村正幸・記）

第5回
車いすバスケ南九州大会

鹿児島ザンウインドロータリークラブ

宮崎東ロータリークラブ
第2730地区・鹿児島県・宮崎県

4月22日、鹿児島ザンウインドRCと宮崎東RC主催の「第5回車いすバスケットボール南九州大会」を開催しました。鹿児島ザンウインドRCが始めた奉仕事業で、最も熱意を注いでいる事業でもあります。鹿児島市内から3チーム、宮崎から1チームがエントリーし、4チームで優勝を競いました。

前日からの会場設営には、鹿児島高校のバスケット部員が手伝ってくれました。当日は午前9時に会場の鹿児島アリーナに集合。ロータリアンはさすがに慣れたもので、持ち前のチームワークでいくつかの小さな問題を次々にクリア。無事に開会式、試合へと進みました。

ROTARY AT WORK

文章編

ロータリークラブと地区の活動を紹介、600字以内。字数を超える場合など、編集させていただきます。関連写真があれば添付してください。

タイで ストッブ結核キャンペーン

釧路ロータリークラブ
第2500地区・北海道

タイ・カンチャナブリ州は、HIV／エイズ感染者のほか、同国内で結核患者数が最も多い州といわれています。そこで、1人の女性医師が立ち上げました。隣国からの移民など外国人を含め、全ての結核患者を治療してこそ、初めて全住民の健康を回復、維持することができると考えたのです。行政からの理解が得られずにいたところ、地元のマニカーン・ロータリークラブ（RC）が手を差し伸べ、釧路RCと協同でグローバル補助金を活用した結核予防キャンペーンを実施しました。

X線機器を搭載したトレーラーで州内を回り、できる限り多くの人を対象に診断。データを集計し、結核が判明



多くの人が参加した結核予防・撲滅キャンペーン

した場合は、無償で薬を提供します。ただし、まずは結核について関心を持ってもらい、診断を受けてもらうことが大事です。そのためにはメディアを活用し、各地でキャンペーンを実施することが有益ではないかということになりました。

私たちが参加したのは4月30日、同州トムアン地区の寺院で実施されたキャンペーンでした。無料で飲食物を提供することで多くの人を集め、結核予防・撲滅に関心を持ってもらい、希望者に診断を受けてもらいました。1000人以上が集まり、さながら祭りのようでした。

このキャンペーンを主導する女性医師としては今後、この事業を他の地域にも広めていきたいと考えています。X線機器を搭載したトレーラー不

足が今後の課題となっています。

不登校を学び、 子どもたちを支援する

京都洛中ロータリークラブ
第2650地区・京都府

「不登校」についてご存じですか？言葉だけは知っている、という人が大多数ではないでしょうか。

当クラブは2017-18年度、京都府教育委員会や京都府子ども相談センター・パトナなどと連携し、将来を担う子どもたちが直面する社会問題「不登校」を奉仕事業に取り上げました。

難しい課題です。まず例会の卓話などで、私たち自身が不登校について学びました。その上で、会員が不登校の生徒が学ぶ中学校に出向き、職業についての経験や思いを語った授業「はたらく人に学ぶ」、会員が経営する和菓子工場に不登校の子どもたちを招いた校外体験学習を実施し、京都市立の小学校の6年生全員に相談窓口を記載したクリアフォルダを配布しました。

事業のメインは、11月23日開催の「不登校の子どもたちへの支援フォーラム」。専門家と、保護者代表として当クラブ会員も加わったシンポジウムで、不登校への社会全体の理解や、子どもに寄り添い見守ることの大切さな

どを訴えました。参加した約180人の市民や教育関係者からは「励みになった」「また開催してほしい」といった声をいただきました。

今回の事業を通じ、ロータリーは地域の各関連団体とも連携して、困難であっても課題解決に向けて挑戦し続けるべきであると再認識しました。会員が「やってよかった」「参加できてうれしかった」と実感できた今回の奉仕事業は、将来に向けたクラブの大きな財産になったと考えます。

フォーラムの内容は5月10日付の国際ロータリー日本語版ブログ「ロータリーボイス」に掲載されました。
<https://on.rotary.org/2xOhg1>
こちらをぜひ、ご覧ください。



次の開催を望む声も聞かれ、好評だったフォーラム

ROTARY AT WORK



ミンダナオの子どもたちを支援

〈堺おおいずみRC〉

フィリピンのNPO法人ミンダナオ子ども図書館と協力し、サンタマリア市クラクシ村の子どもたちのために、集団生活ができる寄宿舎の建設を支援。今回、会長以下4人が開所式に出席した。寄宿舎脇には数年後には収穫できるように、マンゴーなどの果樹8本を記念植樹した。地域住民による歌や踊り、食事会の歓迎を受け、笑顔の奉仕事業となった。

(6月10日 第2640地区 大阪府)

ROTARY AT WORK



ロータリーデーでポリオ撲滅キャンペーン

〈函館・函館セントラルRC〉

第3回のロータリーデー・ポリオ撲滅キャンペーンとして、金森赤レンガ倉庫みなどの森前広場でチャリティーフリーマーケットを開催した。会員が持ち寄ったさまざまな商品を陳列・販売すると、午前11時の開始を待たずに、たくさんの方が来場し大盛況となった。売り上げ金と募金を合わせた約24万円は、ポリオ撲滅のために全額寄付した。

(6月16日 第2510地区 北海道)

ROTARY AT WORK

ROTARY AT WORK

大分・熊本両県チームが野球で親睦

〈第2720地区〉

「第1回永田壮一ガバナー杯争奪野球大会」を、別府市の野口原総合運動場で開催した。熊本地震で被害を受けた両県の連携を図り親睦を深めようと、岡村泰岳バスターガバナーの提唱で企画。大分県内7チーム、熊本県内1チームの計150人(うち女性2人)が参加。トーナメント方式で熱戦を繰り広げ、決勝で熊本八代RCが別府RCを13対7で下し優勝した。

(6月2日 大分県)



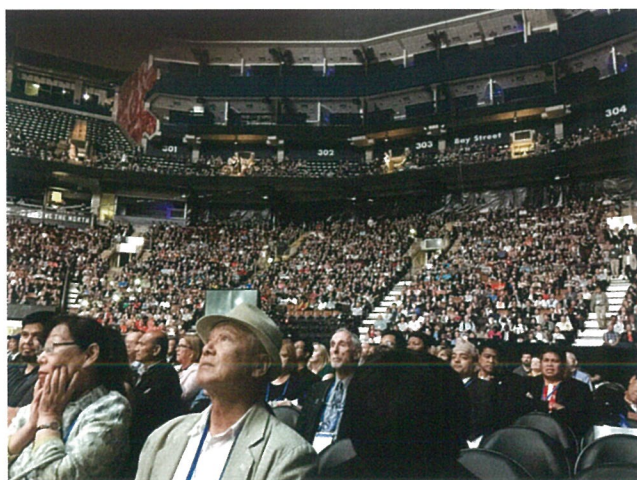
ROTARY AT WORK

カナダ・トロント国際大会に参加して

〈第2640地区〉

カナダ・トロントで開催された国際大会に、岡本浩ガバナー(当時)率いる同地区から45人が参加した。6月24日午後の本会議では、200以上の国々の国旗入場があり、JAPANの国旗にはひととき大きな歓声が上がった。その夜、地区恒例の懇親会で大会参加の感動を分かち合った。

(6月21〜26日 大阪府・和歌山県)



ロータリークラブ奉仕活動をカラー写真で紹介。写真と150字程度の説明文。字数を超える場合は編集させていただきます。必ず活動日を入れてください。記念写真(集合写真)は掲載できません。

ROTARY AT WORK

ロータリー…梅の里に
変化をもたらす

〈第2580地区〉

梅の名所・青梅市では昨今、ウイルス感染により3万6000本が伐採された。昨年度、地区の44クラブから再生事業として360万円の支援を集め、それを活用して記念植樹を行った。イアン・ライズリーRII会長当時）が提唱した植樹は、各クラブからの協力を得て、必要とされる場所へ行うことができた。来春には見事な花が咲くことが期待される。

(5月14日 東京都)

ROTARY AT WORK



チャリティーバザーを開催

〈福山西RC〉

福山市中心部を会場に「福山はら祭2018」が開催され、家族連れなど約34万人の人出でにぎわった。クラブでは社会奉仕委員会を中心に各奉仕部門の協力の下、チャリティーバザーを実施し、奉仕活動を紹介するパネル展示や、ポリオ撲滅への募金箱も設け、ロータリー活動のPRに努めた。

(5月19〜20日 第2710地区
広島県)

ROTARY AT WORK



社会について学ぶ機会を

〈小松RC / 小松商業高校1AC〉

石川県立小松商業高校の2年生を対象に将来を見据えてもらおうと「会社、社会は何を求めているか」をテーマに会員5人が職業講話を行った。その後、同校インターアクトクラブのメンバー13人、顧問2人、会員5人で合同例会を開催。地域住民のコミュニケーションを高める必要がある、人によってゴールはさまざまだと実感したなど、職業講話の感想が聞かれ有意義な機会となった。

(5月23日 第2610地区 石川県)

ROTARY AT WORK

厳しい冬を越した木の成長を
見守る

〈北海道2500ロータリーEクラブ〉

クラブでは昨年の秋、旭川市東部の東光スポーツ公園にエゾヤマザクラ20本を植樹した。季節が移り、厳しく雪深い北海道の冬を乗り越えた苗木が折れていないかの確認と、周辺の環境整備を目的として、市役所と市公園緑地協会の職員、会員で公園内のごみ拾いを行った。幸いにも、木は折れることなく成長していることを確認できた。

(5月19日 第2500地区 北海道)

ROTARY AT WORK

ROTARY AT WORK



植樹後はメンテナンスも大事 〈浦和ダイヤモンドRC〉
毎年行っている親睦旅行。今回は地元の良さを再発見しようと、県内の名勝・長瀬に出かけた。現地では08・09年度に当時の岩渕均ガバナーの提唱でできた宝登山の「ロータリーの森」に、ヤマボウシ、カエデ、サクラの3本の苗を持参して植樹した。森の中は下草が伸び、以前に植えられた苗木には枯れているものもあり、今後の課題も見えた活動となった。
(5月19・20日 第2770地区 埼玉県)

ROTARY AT WORK



未来のメジャーリーガーを支援 〈厚木RC〉
「厚木RC会長杯 第6回厚木オープンふれあいティール大会」を開き、厚木市周辺の28チーム、420人の小学生選手とその家族が参加した。始打式では、常磐重雄会長(当時)が大きなホームランを放って開会を盛り上げた。選手たちは絶好のグラウンドコンディションの中、家族の大きな声援を受け、日頃の練習の成果を発揮し、楽しんだ。
(5月12日 第2780地区 神奈川県)

ROTARY AT WORK

ROTARY AT WORK

身近な国際交流から始める 〈和歌山南RC〉
地域で暮らす外国人と交流し、相互理解を深める場を作ろうと、和歌山県国際交流協会との共催で、市内の和歌山ビッグ愛で「国際交流フェスティバル」を開催。世界各国の料理や音楽、日本の縁日遊びのコーナーもあり、親子連れを含む約3500人がイベントを楽しんだ。県内では外国人労働者が増加しており、異文化を乗り越え、国際協調の一助になればと願っている。
(5月20日 第2640地区 和歌山県)



ROTARY AT WORK

歌を通じた親睦のため 全国から福井に集結 〈福井南RC〉
クラブがホストを務め「第23回全日本RC親睦合唱祭」を福井県立音楽堂で行った。当日は北海道から長崎まで、30の合唱団が集結し、男声合唱、女声合唱、混声合唱など、日頃の練習成果を思う存分披露した。次回は来年5月に震災復興記念として福井県で、郡山南RCのホストで開催が予定されている。
(6月2日 第2650地区 福井県)

ROTARY AT WORK



児童園にサクラを植樹

〈那覇RC〉

那覇市の石嶺児童園で、子どもたちが見守る中、名嘉義明会長（当時）と児童園を管理する、偕生会理事長・安里政晃会員、上原裕園長の3人の他、会員24人で70本のサクラを園庭の各所に植樹した。園児と世話をすること、環境への意識向上を図る。サクラは順調に育てば3～5年後に花を咲かせる。
（5月12日 第2580地区 沖縄県）

ROTARY AT WORK



ミュージカルで子どもたちに笑顔

〈大和中RC〉

クラブ創立40周年を記念し、劇団ポプラによるミュージカル「ピーターパンとウェンディ」の観劇招待会を開催した。事前に大和市内の小学校を通じ希望者を募ったところ多くの応募があり、抽選で選ばれた約1000人の親子が鑑賞。小柳智裕会長（当時）のあいさつとロータリー活動の紹介後にいよいよ開演。歌と踊りに、客席から笑い声もこぼれ、楽しんでもらった。
（4月28日 第2780地区 神奈川県）

ROTARY AT WORK



笑顔をもつても多く

〈川越・川越中央・川越小江戸・川越西RC〉

川越市内の4RCは例年、協同社会奉仕事業を展開している。今回は地区補助金を使い、市立あけぼの・ひかり児童園に、遊具を2基贈呈した。「障害のある子どもたちに多くの笑顔を見たい」という目標に、市内の会員が一致団結。贈呈式は川越中央RC会員の川合善明市長も出席して行われた。多くの子どもたちの笑顔が見られた。
（5月29日 第2570地区 埼玉県）

ROTARY AT WORK

ROTARY AT WORK

地域からオリンピック選手を出したい！

〈珠洲RC〉

地区補助金を活用し「東京オリンピック・パラリンピック子供の夢を叶える応援プロジェクト」を実施。県内で唯一五輪選手を出していない地元の珠洲市で活動するウエイトリフティングチーム「SUZUDRIFUM CLUB」へ、試合用のTシャツを寄贈した。チーム一丸で試合に臨み、オリンピック出場へ向けて頑張ってもらいたいという願いを込めた活動となった。
（5月24日 第2610地区 石川県）



ARY CL



SUZUKI JAPAN

ROTARY AT WORK



**県政150周年
記念植樹** 〈第2680地区〉
イアン・ライズリーRII会長
(当時) が提唱した植樹活動。
4月20日のアースデーには間に
合わなかったものの、兵庫県政
150周年を記念して、県と三
木市の支援を得て、三木総合防
災公園で、地区行事として植樹
を実施した。当日は梅雨入り前
で雨に見舞われることなく、高
さ約3mのシラカシとヤマモモ
を、地区のクラブ数と同じ73本
植えた。
(6月5日 兵庫県)

ROTARY AT WORK

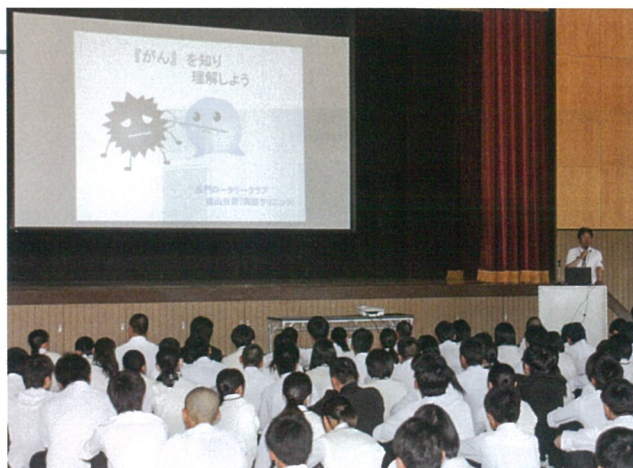


**街ぐるみで健康増進の
催し** 〈東京東村山RC〉
シニア世代の健康寿命増進のため
に、「第2回ハッピーライフ
支援プロジェクト 東村山歩こ
う会」を開催。スタート地点の
八坂駅前では市長があいさつ、
消防署では消火器訓練やAED
の講習、歴史館では学芸員の解
説で地域の歴史を学ぶなど、各
施設と街ぐるみの協力を得た。
天候にも恵まれ、50人以上の参
加者と共に新緑の東村山を歩い
た。
(5月26日 第2580地区
東京都)

ROTARY AT WORK

ROTARY AT WORK

**高校でがん予防のための
勉強会を実施** 〈長門RC〉
山口県内の私立、長門高校の1、2
年生を対象に「がん予防について」
の講演を行った。講師は医師の梶山
公則会員が務めた。青少年へのがん
教育推進を目的に実施。スライドを
用いた解説は分かりやすく、生徒は
熱心に耳を傾け、がんに対する知識
や予防法について理解を深めてい
た。
(5月30日 第2710地区 山口
県)



ROTARY AT WORK



**感謝の気持ちは
次の代へ贈る** 〈市川東RC〉
2014年度に世話をした台湾
出身の米山奨学生の何駿逸(カ
シュンイツ)さんは卒業後、日
本で就職。奨学金への感謝から、
後輩の奨学生にも日本と台湾の
懸け橋となつて国際社会で活躍
してほしいとの願いを込めて、
クラブ創立50周年記念式典にお
いて米山記念奨学会へ寄付。こ
れに対し、地区を代表して、寺
嶋哲生ガバナー(当時)から感
謝状が手渡された。
(5月26日 第2790地区
千葉県)



ロータリー アットワーク

ROTARY 写真編
AT WORK

地域歴史散策と まちかど清掃奉仕

名古屋昭和ロータリークラブ
第2760地区 愛知県

名古屋昭和RCの所在地域である名古屋市昭和区が、区内各所の史跡・伝承を紹介する「ぶらり昭和区MAP」の「松栄・御器所」編を制作。クラブではこれを制作費の面で協力しました。このガイドの完成を機に、5月26日、社会奉仕委員会、青少年奉仕委員会協同の特別事業例会「ウォーキンググリーン昭和」を開催しました。

当日は天候に恵まれ、クラブから31人、「ぶらり昭和区MAP」の編集に携わった桜花学園高校1ACからは10人が参加。さらに、史跡案内役として「昭和区案内人クラブ」6人の協力も得て、3班に分かれ、市営地下鉄・桜山駅をスタート。案内の方々に導かれ、神社仏閣、今ではひっそりと祭られたお地蔵さんなど約10カ所を探訪。それぞれの伝承を伺いながら、大きなごみ袋を手し、区の木でもあるハナミズキの新緑が映える歩道周辺のごみ拾いの清掃奉仕も行いました。

桜山駅〜御器所駅の1駅区間分、約3kmの道程散策でしたが、松栄と御器所の2地区内の路地裏も巡りました。いつも通り過ぎてしまっ道や町並みの中に、古墳時代の名残りを見つけたり、「石みやみち(熱田神宮)、左なるみみち(鳴海方面)」と読み取れる道標を目にしたたり……。そもそも御器所の地名は、「宮で使う神器を作る所」に由来があるとされ、近くにある熱田さん熱田神宮と昔から縁が深かったのだと認識するなど、新たな発見がありました。

ゴールとなった昭和区役所では、柵木由美区長から「ぶらり昭和区MAP」への協力に対して感謝状を授与され、この清掃奉仕活動へのねぎらいの言葉もいただきました。(須原茂樹・記)

飛梅の僅かばかりの梅をもぐ

福岡城南 吉武 草徑

サンガラス頭にひよいと乗せ句会

佐賀・伊万里 田中丸縫子

金婚の集ひ終りて古茶を汲む

兵庫・神戸西 村野 利昭

紗を出せば思ひ出も出づ更衣

東大阪東 溝畑 洋子

曙覧家の百段坂は花見坂

福井南 松山 古来

あめりかも巴里もすみだも荷風の忌

奈良 田伏 薫

葉の上の驚きの貌雨蛙

大阪うつほ 齊藤 隆二

紫陽花に水打てば水珠となり

大阪・堺フェニックス 米田眞理子

茄子植うる宣告受けし身なれども

埼玉・日高 引間 禿牛

宿の主鈴蘭摘みて別れとす

埼玉・日高 犬竹 功子

ほうたるのやさしき光掌にすくふ

石川・加賀 折橋紀与美

わらび摘む手を休めれば遠き山

新潟東 本間 徳蔵

飛び来り葉蔭に憩ふ梅雨の蝶

東京西南 菊池 恭三

堀越えて来しは隣の蝸牛

徳島・阿波池田 山下 玲子

菖蒲湯の菖蒲の力握りけり

福島北 大河内重男

投稿規定 ◇雑詠 ◇クラブ会員、家族 ◇一か月に葉書一人
一枚に三句まで ◇締切日 二〇日必着 ◇葉書ウラにもクラ
ブ名・氏名、電話明記 ◇楷書で明確に ◇『友』俳壇係宛

早苗田を毎朝廻り穴ふさぎ
今年も始まったザリガニ戦

茨城・常陸太田 小祝 年織

控え目に手話通訳の人もつく
ボランティア褒状受賞式なり

茨城・友部 矢吹 和夫

市の花のサルビア植えに集れる
ロータリアンの慣れぬ作業衣

千葉・富里 寒郡 政雄

入院の夫にいそいそ通ふ日々
待たるるわれは今や恋人

東京荒川 井上 久子

さりげなく吾妹しつらへくれし湯の
菖蒲が匂ふやすき夜半かな

東京ワセタ 福地桂之助

生きてゐる風が囁く水が歌ふ
はつ夏の森はわれに優しく

神奈川・平塚 西村 裕子

絶え間なく流るる花びら分けてゆく
鴨の番は寄りつ離れつ

神奈川・川崎西 吉田 恵一

くちなしの花のかほりは母のもの
梅雨寒部屋に母はよく活け

奈良 寺田眞佐子

温もりと心かたみに交はせて
チワワを抱く静かなる時

倉敷東 吉岡 洋子

退院を心待ちして作りたる
逆算日めくり風に揺れおり

岡山・倉敷瀬戸内 中桐 眞彦

店頭に青梅らつきよう並びだし
厨仕事に初夏の訪れ

島根・出雲南 小村 尚子

浴衣着てすまして歩く川辺に
ホタル見つけて笑顔はじける

長崎出島 伊東 浩子

投稿規定 ◇雑詠 ◇クラブ会員、家族 ◇一か月に葉書一人
一枚に三句まで ◇締切日 二〇日必着 ◇葉書ウラにもクラ
ブ名・氏名、電話明記 ◇楷書で明確に ◇『友』歌壇係宛

近づいて来たよな氣する母の味

京都・宇治鳳凰 辻 幸男

父形見型は古いがロレックス

富山・射水 江守 正

健忘症国会招致が特効薬

神奈川東 石川 正三

差し水で煮くずれ防ぐ夫婦仲

高知西 山岡 陸宏

ほどほどの金持ちというウルトラC

新潟 小林 悟

ランドセルよりも碁盤はどうですか

長野・辰野 河手 欣哉

怖いものない歳なのに心配症

埼玉・入間南 大野 快三

餌する「バラが咲いた」のリフレイン

福岡イブニング 甲斐総治郎

亡き父も指で数えた五七五

山梨・甲府北 土橋 幹夫

ここに來て座右の銘に筆入れる

群馬・伊勢崎 茂木 克美

下向いて黙って食べるからウンジで

神奈川東 吉田 隆男

トランプのカード捨ててか信じるか

岐阜南 広瀬 之彦

『どすえ』など使ったことない京育ち

京都・宇治鳳凰 清水美榮子

老いらくと言われてみたい恋花よ

東京池袋 小泉 博明

一人より二人が似合う波打ち際

東京日本橋東 井口 弘子

氣をつけよう良いも悪いも香り次第

神奈川東 飯田 泰之

投稿規定 ◇雑詠 ◇クラブ会員、家族 ◇一か月に葉書一人
一枚に三句まで ◇締切日 二〇日必着 ◇葉書ウラにもクラ
ブ名・氏名、電話明記 ◇楷書で明確に ◇『友』俳壇係宛



長谷川 權

鮎の腸箆にひっかけ地酒酌む

愛知・名古屋錦 石井 弘子

この「鮎の腸（わた）」とは鮎の腸（はらわた）を塩漬けにした「うるか」。生や塩焼きの鮎の腸ではあるまい。小さな壺の中から箸でつまむのだが、まさしく「ひっかけ」。言葉の選択が的確。

一面の青田の中に村眠る

大分中央 岩男 好員

青々とした水田のただ中に集落がある。風が稲を揺らしているものの、人影もなく音も聞こえず、まるで昼寝をしているようなのだらう。真夏の真昼の静けさを詠んでいる。

飛んできた瓢虫を連れて旅

鳥取・倉吉 馬野慎一郎

「瓢虫」と書いてテントウムシと読む。たまたま飛んできたテントウムシを服につけたまま歩いているのである。旅ではなかったかもしれないが、旅といったことによって通かな気分が生まれた。旅情の一句。

傾きたるより快速となるヨット

兵庫・甲子園 田中 由子

小さなヨットが動き出すときの感じをよくつかんでいる。まず身を船端から乗り出して船体を傾け、セーラーが風をとらえると、たちまち動き出す。自分でやる人だらうか。

山蛭の噛み跡洗ふ薬草湯

愛知・瀬戸 玉井美智子

山を歩いていると、木から山蛭（やまびる）がぼたぼた落ちてくることがあるという。思っただけでぞっとするが、蛭に噛まれた傷を薬草湯で癒やしているところ。刀傷を癒やすように。



馬場あき子

子供の目父十七回忌母七回忌
妻一周忌なぜか賑やか

愛媛・新居浜 村上 徹

初句と結句を結んで読むと「子供の目賑やか」となる。何人かの孫とその父母たちに囲まれた家の賑わいが眼に浮かぶが、この歌はその背後が単純ではない。この賑わいを見ずに亡くなった肉親たちの忌日が回想されているからだ。なかでも妻に亡くなられて一年目のさびしさが身にしみるが、父の十七回忌や母の七回忌を営む予定を心にもち、多くの死者との歳月の回想のはてにひとり存（ながら）えている孤独心がある。「なぜか」の一語にこもる思いだろう。

蚕豆の房をちぎれば青臭き
香りに染まる初夏の風

茨城・古河東 小山 幸子

蚕豆（そらまめ）は空豆といわれるだけあって空に向けて三、四の莢（さや）が伸び、大きな豆を内包している。収穫はその三、四の房をもぎ取るのだらうか。「房をちぎれば」にその所作までがみえる。その青臭い豆の香りは、新鮮な夏の香りでもある。小さな家庭内の作業ではなく、蚕豆の香が初夏の風さえ染めているところが、広い空間に満ちて蚕豆の季節がきていることと、初夏のさわやかさを感じさせる。

腰痛みていたわり歩む裏道に
柘榴赤あか花咲きはじむ

長野・佐久コスモス 中澤 道保



てじま晩秋

生きるすべマンガで学ぶ新世代

北海道・斜里 辻 舒宏

かつてのベストセラー『君たちはどう生きるか』（吉野源三郎著）のマンガ版（漫画・羽賀翔一）が、小中高生を含む「若い人」に売れています。一方、宮崎駿監督もこのタイトルで新作アニメとか、大変にぎやかです。この現象は、若者たちの文字離れの加速化なのでしょう。

青鯨の出でくる庭に偉人棲み

埼玉・熊谷籠原 森田 光彰

革新俳句界の巨匠でした、金子兜太先生の原句に基づく作品ですね。「曼珠沙華どれも腹出し秩父の子」……に並ぶ代表句の一つ「梅咲いて庭中に青鯨が来ている」……からですね。私も現職の頃、こちらの仕事の関係で埼玉県熊谷市にある金子先生宅に二度ばかり、お邪魔しました記憶、往時のなつかしいエピソードが、グググッと浮かび上がりました。

登り詰めるとさびしい風が吹くという

大阪西 鴨谷瑠美子

川柳は創作に基づく世界ですが、その根拠も「喜怒哀楽」に基づくものとなります。それがうれしい出来事ですと作品も明るくなります。*註記にご主人が叙勲とありました。誰でもいただけるものではないです。どうか大切にしてください。

合掌を解いて十指を休ませる

青森・五所川原中央 小野 順蔵

清涼飲料の今昔

サントリーモルティング(株)
代表取締役社長 金山 典生

清涼飲料水は、食品衛生法施行規則で、乳酸菌飲料、乳および乳製品を除くアルコール分1割未満の飲み物とされています。

清涼飲料水の始まりには諸説ありますが、商業的な清涼飲料水は1700年代後半、スウェーデンで始まった炭酸飲料と言われています。これはイギリス人が発見した、炭酸ガスを水に飽和させる方法を、商業的な炭酸飲料の製造に活用したものです。その後、アメリカでは炭酸水を果汁で味付けした飲料ができます。入れ物として同時期に、コルク栓を針金でガラス瓶の首に結び付け底がとがったきゅうり瓶や加熱殺菌法が発明されています。

日本の清涼飲料水は、1853年ペリー提督が「炭酸レモネード」を持ち込んだことに始まります。レモネードの「レ」を当時の日本人が「ラ」と聞き、「ラムネ」と呼ばれるようになりました。その頃にはイギリスで玉入りラムネ瓶が発明されています。日本でのラムネの販売は1860年代に横浜や長崎で始まります。三ツ矢サイダーは、1880年代、兵庫県川西市平野

で「三ツ矢印平野水」から始まり、これが国産ミネラルウォーターの最初と言われています。

1890年に入ると、アメリカで発明された王冠(栓)が世界に普及します。日本でも1900年代には王冠が輸入され、国産化もされています。以来、王冠付きはサイダー、ビー玉付きはラムネと呼ぶようになります。この時代にはオレンジジュースがみかん水と呼ばれて販売され、1920年頃にはコカ・コーラの輸入やカルピスなど乳酸菌飲料の販売が始まり、多様化していきます。

戦後は、バヤリースやコカ・コーラなど外資の本格参入が始まります。既存メーカーの抵抗がありましたが、経済発展とともに広く普及していきます。同じ頃、容器も繰り返し使えるガラス瓶から、使い捨ての缶が一般的になります。その後、ポリエチレン容器、自動販売機などが登場。1970年以降は、スポーツドリンクやペットボトル、緑茶飲料が登場。さらに、缶のステイオンタブ、省エネ自動販売機などが登場し、成熟していき、時代に応じた商品を各飲料メーカーが販売、熾烈な競争を展開しています。

(第2550地区・栃木県宇都宮RCにて・同RC会員)

弓と禅

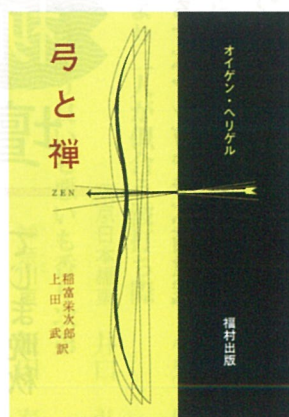
大阪大淀RC 大西洋一郎

『弓と禅』は大正末期に、東北帝国大学(現・東北大学)に招聘されて、教鞭を執ったドイツ哲学者、オイゲン・ヘリゲル(1884(1955)の著書。アップルの創業者スティーブ・ジョブズが愛読していたことが彼の死後に分かり、世界中で静かなブームを呼んでいる。

日本文化の神髄を理解しようと、ヘリゲルは1925(大正14)年、妻と共に、弓術の大射道教を創始した阿波研造(1880(1939)を師として、弓の修行にいそしみ始める。その修行を通して「禅」思想に出会い、考察したのが本書である。

日本人と西洋人のものの考え方の違いや、禅の精神の理解に戸惑うものの、ヘリゲルは帰国する頃には、阿波から5段の免許状を受けている。

(第2660地区 大阪府)



オイゲン・ヘリゲル 著
稲富栄次郎、上田武 訳
福村出版 1981年11月刊(改版)

●人生を変えた一冊、思い入れの深い一冊、最近感動した本を紹介。320字以内。詳細は投稿規定か『友』ウェブサイトで！

卓

話



■「卓話の泉」は、クラブの会報、週報に掲載の卓話の中から、客観的内容の話題、ミニ知識となるものを主に選んで要約、掲載しています。

家の防犯対策

総合警備保障(株) 成田支社
営業部 グループリーダー

佐藤

亘

自宅が被害に遭う犯罪、侵入窃盗の認知件数は年々減少しており、2002年のピーク時と比べると約25%になっています。これには諸説ありますが、ホームセキュリティなど機器による警備システムの普及が進んだことも寄与しているのではないかと言われています。とはいえ、2016年に全国で検挙された7万6477件のうち、住宅の被害は約60%と最も多く、その中でも一戸建住宅が約40%、中高層住宅が約5%を占め、1日当たり約120件発生しています。

侵入窃盗の手口としては、空き巣・忍び込み(就寝時に侵入)・居空き(在宅中の家に気づかれずに侵入)があります。侵入手段としては、鍵の閉め忘れである無戸締まりが46.9%、ガラス破りが33.6%となっています。被害としては、留守宅で帰宅するのを待ち伏せし、キャッシュカードを奪い暗証番号を聞き出して現金を引き出したり、暴行に及ぶこともあります。また侵入された後「部屋を荒らされた恐怖感」や「また誰かが侵入してくるのではないか」という不安感といったトラウマに陥るのも忘れてはいけない被害の一つです。

泥棒が空き巣に入る家を探すときに確認するポイントは大きく2つ、①侵入しやすいか(庭木など死角になるものがあるか、足場になるものがあるか、犬がいないか)、②逃げやすいか(駅に近い、通行人が少ないかどうか)などです。

また、防犯対策として地域の連帯感も重要です。泥棒が地域住民の連帯感を判断するポイントの一つは「ごみ」です。ごみの収集日を守られていない地域は、侵入者に狙われやすいと言えますので注意が必要です。

(第2790地区・千葉県・成田コスモポリタンRCにて)

私の一冊

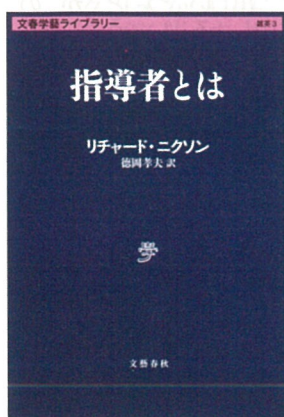
指導者とは

宮崎北RC 菅沼 龍夫

第37代アメリカ大統領リチャード・ニクソンは、米中国交樹立という歴史に残る功績を挙げながらも、ウォーターゲート事件で辞職。その彼が1982年に『LEADERS』と題して出版したのが本書である。第二次世界大戦から戦後の冷戦時代に交流があった指導者たち、特にチャーチル、ドゴール、マッカーサー、吉田茂、アデナウアー、フルシチョフ、そして周恩来について、時代背景から人物評までを鋭い切り口、含蓄のある言葉で記述しており、ニクソンという人物を再評価できる。

偉大な指導者は洞察力や計算されたリスクを冒す意志の強さと決断力を備える一方で、心の底の底では非常に感情的であり、それゆえに人間的であったという趣旨を述べている。永田町界隈の方々にも一読を勧めたい。

(第2730地区 宮崎県)



リチャード・ニクソン 著
徳岡孝夫 訳
文藝春秋(文春文庫) 2013年12月刊



15年前の写真。今のアクラム君いわく「これは私の弟では？」

め来日する旨の連絡があった。聞くと、神戸大学医学部附属病院で1カ月、東京・築地の国立がん研究センターで1カ月、主に内視鏡の勉強をするらしい。この分野では日本が最先端で、彼の日本語もあり、再来日を選んだようだ。4月29日、妻と成田へ喜んで迎えに行ったが、お互い15年間のギャップで分からないといけないので、前もって写真を交換しての再会となった。妻は息子が帰って来るような、高揚した心持ちの様子であった。無事にお互い、すぐに見つけることができたが、お腹回りは3人とも、15年間の月日を感じずにはいられなかった（あはは……）。

ゴールデンウィークの1週間をわが家で過ごし、当時世話になった当クラブのメンバーにも会ってもらったが、残念ながら半分の会員が他界されており、15年という歳月の長さを感じた。5月5日、熱海駅から神戸に送り出したが、

観音堂

山形西 佐藤 章夫

31歳にもなるちよつと太めの息子に、妻が昼食のおむすびを用意したのは笑ってしまった。ロータリーの青少年交換で学んだ日本語を使い再来日して勉強した後、スペインでさらに1カ月勉強し、帰国となるらしい。「3年後は立派な内科医になれる」と豪語していたので、その時はメキシコ市で豪華な食事のご招待でもあるのではないかと、ひそかに期待してお別れをした。
(第2620地区 静岡県 冷凍設備)

4年間務めた町内会長がお役御免となりホッとしたのもつかの間、財産区長の役が回ってきた。「財産区」とは今住んでいる町が「村」だった時代に、村が持っていた共有地を管理する組織である。財産区の組合員は元村民で、57戸に減ったとはいえ、住民が6倍に膨らんだ町内に重しのような感じで居座っている。

財産区の仕事は村神社の維持管理が主で、区長の私に氏子総代という宛て職の肩書もついた。元集落の奥まった所にある村社は神明神社。同じ境内に火伏せの神である古峰様も並んで祭られている。先の大戦で召集を受けた若者は神社に武運長久を祈り、村人のバンザイを背に戦地に赴き、多くの若者は骨となって帰った。

この境内から50ほど離れた所に、昔から弘法様と呼ばれている土塁がある。ここには弘法大師が祭られ、すぐそばに古井戸が残っている。

この井戸は「ぶどう清水」と呼ばれたほど地下水がこんこんと湧き出て、上から見るとまるでぶどうの房が集まったようだったので、この名がついた。もう水は出ないが、弘法様が鎮座しているのは、弘法大師が杖で突いただけで水が噴出したという各地の伝説によるものだろう。

ここにもう一体、野ざらしの仏像があった。郷土史家の著書によると、「先の大戦に召集されて出征した3人の息子の母親が、わが子らの無事生還を願って日夜一心不乱に神仏に祈っていたところ、夢枕に観世音菩薩が現れ、『私は土中に居る、土から出して祀れ』の声が聞こえた。母親がすぐに言われた場所を掘ると、まさしく石の菩薩像が出てきたので恐懼して祀った」とある。彼女の長子は戦死し、2人は生還した。

折しも朝鮮半島に再び戦火か？ の昨今である。私は母の子を思う心と子を失った悲しみ、そして戦争の悲惨さを町内に広く知らしめたいと思い、財産区の役員たちに諮り、この仏像に新しく台座を設え、祠堂を建てて納め、慈母観音とすることにした。この土塁にある1000年を超える桜の太木は、観音堂の新設を寿ぐかのよう、今年はとりわけ華やかに咲き誇った。町内の神域に神明様と古峰様、近くの仏域には観音様と弘法様、2柱2体の神仏がそろう、わが町の聖域となった。

私の先祖は303年前にこの村にやって来て、農業を営んで住み続けてきた。私の「職業奉仕」は農業だったが、養嗣子に経営のバトンを渡し隠居の身になった。今は「地域への奉仕」でロータリアンを締めくくりたいと思っている。

(第2800地区 山形県 農業)



難工事のトンネルを見学する貴重な機会に

なっています。緊急対策として、復旧の新ルート(国道57号北側復旧ルート)が計画され、ルート内にある二重峠にトンネルを掘って整備されることになりました。2016年11月に着工、2020年度の完成が予定されています。この二重峠トンネル工事を4月18日、会員と米山奨学生が参加し、視察しました。

国土交通省の監察官、清水建設の技術士の説明を聞いたところ、阿蘇外輪山を貫くこのトンネルは、車が通る本坑3659mと、並走する避難坑3652mが通り、幅15m、高さ8・5mのトンネルで、難工事だそうです。

トンネル工事は木材や鉄骨でトンネルの壁を支える矢板工法でなく、今から30年前に日本に導入された山岳トンネルの掘削工法「NATM(New Austrian Tunneling Method)」で行われています。掘ったばかりの岩盤にコンクリー

トを吹きつけ、ロックボルトを打ち込んで、吹きつけコンクリートと一体化させる工法です。

説明では4月18日現在、車が通る本坑は32%(1169m)、避難坑は69%の掘削を終えているそうです。総工費は231億円、1m当たり200万円、想定外の固い岩盤にぶつかると事態が起これば工事費が膨らむとのことでした。

工事現場は槌音が響き、入り口のガードマンから坑内で働く人まで、きびきびと緊張感あふれる作業風景でした。毎日24時間、約500人の作業員が必死に働いています。岩盤に爆薬を埋め込む作業に、国内に数台しかない超大型機械「ドリルジャンボ」が使われ、砕いた土砂は公道では走れない25トンのダンプカーで運び出していました。坑内は粉塵が舞い、マスクを着用しての見学でした。

いまだに、国内外の人々が熊本に心を寄せています。熊本城の被災には皆心を痛め、くまモンの登場に拍手を送り、東京銀座にある熊本館に多くの買い物客が足を運んでくれています。自らも阿蘇で生まれ育った被災者の一人として、阿蘇を思う心は人一倍かもしれません。トンネルの頂上から阿蘇山を見ながら、ロータリーアンとして「ロータリー精神」で被災地の人々を支援し、感謝の心を持ち、苦境に立たされても前に進もうとする強さを持ちたいと感じました。夏目漱石は「世の中苦にすると何でも苦になる、苦にせぬと大概なことは平気でいられる」と記しています。

今こそ県民が一丸となり、熊本の魅力を発信するチャンスです。苦難の道を乗り越えた熊本県民の姿に多くの人が感動し、勇気付けられて

いると思います。被災者ではありませんが、逆に熊本県民が全国の人々を励ましているかもしれない。目の前にある日常を、生きるという幸せを熊本から発信しようではありませんか。がんばるばい、熊本!!

(第2720地区 熊本県 建築設計)

元青少年交換学生を 15年ぶりに迎えて

熱海南 青木 義美

2003-04年度、熱海南RCが初めて青少年交換学生を受け入れた。メキシコ・トレオン市からのダルウィッチ・アクラム君である。2003年8月に来日し、翌年7月までの丸1年間をわが家で過ごした。本来なら4家族くらいを順番にホームステイさせるのだが、当クラブの都合で、結果的にわが家だけの1年間となってしまった。

静岡県立三島南高校1年生として入学し、夏の2年生まで、サッカーやテニス部で高校生活をエンジョイした。日本食が大好きで、日本語も来日前からかなり勉強をしていたらしく、すでに生活には困らないレベルであった。私の周囲にもスペイン語を話す知人が多く、マドリッドに40年間在住の後輩、チリ人と結婚してバルセロナに10年間住んでいる友人の息子など、なぜか当時からスペイン語が身近な環境だった。

15年前の思い出だったが、今年3月に突然、アクラム君が住むメキシコ市からメールが入り、5月から2カ月間、日本で医師の勉強のため

え、今では約60人だそう。私は今年は訪問できなかったが、過去2度の訪問では彼女の家族とも会った。私より一つ年下のお母さまもお元気そう。エイ・コさんも2児の母親、小太りの肝っ玉母さんとなっている。彼女は日本語も英語も完璧で、完全にミャンマーと日本の懸け橋となっている。

彼女が初めて私の家に来た時は、多くのロータリアンにご厄介になっていたわりに、大変緊張していた。しかし、実家でも父がロータリアンで留学生を何度か世話した経験があった今は亡き妻は、エイ・コさんを実の娘のように扱い、時には叱り、時には助言した。彼女も「実母と同じことを言われた」としよんぼりしていたことを思い出すが、徐々にリラックスし、打ち解けるようになった。

LINEで話すうちに、ミャンマーの医療問題の話に。エイ・コさんは「この国の医者は高いお金を取ってろくな診療をしてくれない」と言う。良い医者はほとんど外国に行き帰ってこないそう。実際、2年前の訪問時、会員の一人が高熱を出し現地の病院に行ったが、高いお金を払って抗生物質らしきものをもらってきただけということがあった。

医師免許の問題はあるが、この面からもロータリーの奉仕活動として、ミャンマー国民のために立派な医療を展開してくださる日本の方の登場を待ちたい。もし本稿をお読みになり、ミャンマーで奉仕活動をしたいクラブがあればご一報を。私が元気なうちなら彼女との仲介の労を取れるし、彼女は私からならと気を許してくれるはずである。(第2680地区 兵庫県 胃腸科)

「見て見ぬふり」をしないこととは

丸亀 横田 龍男

『友』5月号本欄の、出雲中央RC・山口孝之会員の「『見て見ぬふり』をしない世の中へ」を読み、自分の考えを述べたいと思います。

線路に落ちた人を救おうと線路に降りること。溺れた人を助けようと水に飛び込むこと。目の前の人を助けようと、思わず差し出した手が、自分の命を奪うことがあります。

一声掛けがために、当事者でもない自分に火の粉が降りかかることがあります。人助けをするときは自分一人です。火の粉が降りかかった時には、自分でそれを払いのけるだけの力が必要です。「見て見ぬふり」をしないことは大げさなようですが、自分の命を懸けることです。「良かれ」と思って取った行動は、自分だけでなく家族にも影響を及ぼします。

昨今、政治の世界や企業での偽装行為が問題になっています。それを「見て見ぬふり」をせず摘発するのは正しいことです。摘発した人は、さまざまな葛藤を乗り越えての摘発です。しかし、摘発した人は褒められもせず、疎外されたり、左遷されたりします。本当に正しいことをしても「余計なことをして」と逆に叱られてしまうことさえあります。「見て見ぬふり」をせずに行動を起こすことは、見方によっては危険なこと、誰にでもできることではありません。誰でもわが身がかわいいし、家族のことを考えると気持ちが揺らぐのは当然なことです。でも、

傷つくことを承知の上でやらなければならないことがあります。そうしないと、世の中がどんどん悪くなっていくからです。

「それほど言うのなら、お前はできるのか」と問われれば、思わず口を噤んでしまう自分があります。正直、その場面に直面しないと自分でもどうするのか分かりません。どうするかはその時、揺れ動いている心の天秤がどちらに傾くかで決まります。「やる、やらない」を決めるのは一瞬で、次の瞬間にはもう行動しています。それが吉と出るか凶と出るかは誰にも分かりません。

人間には、損得の感情を超越した自己犠牲の心があり、「やむにやまれぬ」と心が動いた時に正義が行われます。捨て身の心を持った勇気ある人の行動によって、世の中は是正され、変わっていきます。しかし、この正義も「誰にとつての正義か」。これは言うまでもなく行動を起こす当人が考える正義です。正義も立場によって変わります。唯一無二の正義はありません。だから傍観者は、勇気を振り絞って実行した人に対して複雑な気持ちを抱くのです。

(第2670地区 香川県 建築設計)

熊本地震から2年、復旧ルート工事を見学

熊本水前寺公園 小糸 興紀

2016年4月の熊本地震により、熊本と大分を結ぶ大動脈・国道57号線とJR豊肥線は寸断。阿蘇大橋が落下し、今も再開の見通しは立っていない状況で、地域の復興への障害と

デンティティーとはかけ離れたものと言わざるを得ない。「異業種職業人の集まり」として個人あるいはクラブが、より良い地域社会実現のために貢献する」。こうした運動が世界の地域社会で繰り広げられるところにこそ、ロータリーが「世界的」組織と言われるゆえんもある。

長くロータリーは、「親睦と奉仕の中に宿る」「親睦と奉仕は車の両輪」などのフレーズを強調してきた。私は今、あえてそこに「利益」を加えたいと思う。特に、大多数の日本のロータリアンにとって「職業奉仕」こそがロータリアンの根幹であると主張するのであれば、職業上の正当な報酬である「利益」について十分な議論と発信をするべきであると言いたい。

ロータリーの創始者ポール・ハリスは、『The National Rotarian』創刊号（1911年1月発行）で「Rational Rotarianism（合理的ロータリアニズム）」と題する一文を発表。その中で「ロータリーとは、商売と公益活動および親睦を、合理的に混ぜ合わせたものである」と述べている。換言すれば「ロータリーとは、親睦と利益と奉仕を合理的に混ぜ合わせたものである」、そして「奉仕と利益との調和を目指す努力」を「職業奉仕」と呼べるのではないか。この議論を曖昧にしたことがロータリーを分かりにくくしたと言ったら、大方の不興を買うだろうか。さて、「米山梅吉記念館」（静岡県駿東郡長泉町）の「公共イメージと認知度の向上」を図る必要性は、前段の話に劣らず喫緊の課題である。そのために、日本のロータリーに関わる欠かせない施設として、この記念館を最大限開かれたものにするべきではないか。ただ

米山梅吉に関係した事物に限定された施設では、かえって米山その人に失礼な気がする。むしろ全般的なロータリーの圧倒的な広がりの中の一人の人物として表現されてこそ、彼の本望ではないだろうか。同館評議員の小林聰一郎会員（甲府北ロータリークラブ／RC）が「日本ロータリーの学術拠点に」とプランを示されたが、大切な視点であると思う。諸外国の実情がどうであれ、日本のロータリーには現在、そんな機能を有する場所はない。

そのような方向性が明確に示された記念館に変貌することで、米山梅吉その人もこの記念館も、そして三島の地にとっても、ロータリアンばかりでなく、広く世間に認知されることになるに違いない。また全国のロータリアンにとっても、得難い集いの場所になるのではないだろうか。（第2780地区 神奈川県 口腔外科）

ミャンマーからの伝言

加古川中央 堀 公行

7人の孫がいる八十路間近の私も、子どもたちに教えられるながらスマートフォンを使い、最近家の固定電話を使ったことがない。先日、私のスマホのLINEを通して、突然ミャンマーから電話がかかってきたので驚いた。「もしもしおじさん元気？ 大丈夫なの？」「今日本に來ているのか？」「いや、ヤンゴンからよ。この電話は無料よ」。今、私が菌血症にかかって入院中であることを知って、様子を知りたくて、

わがまちの味

能代 豚なんこつ



豚バラ肉の軟骨部に包丁で細かく刻み目を入れ、焼いて塩こしょうで味付けしたシンプルな料理。古くから知る人ぞ知る居酒屋の隠れメニューでしたが、最近珍味としてB級グルメにランクイン。コリコリした食感で、コラーゲンの塊というのが人気です。

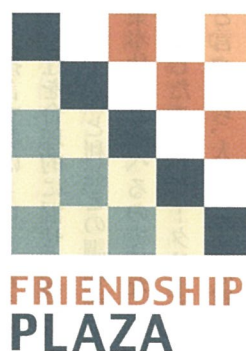
成田 繁穂（秋田・能代RC）

かけてきてくれたのだ。

相手はティン・エイ・エイ・コさん。阪神・淡路大震災の折、東灘区で被災。その後、米山奨学生となり、私がカウンセラーとして世話をした元神戸大学文学部大学院生である。彼女は博士号を取得後、ヤンゴンで日本語学校を開校。その後、昔ビルマ戦線で捕虜になった人の戦記をミャンマー語に翻訳して国の文学賞をもらうなどヤンゴンではちょっとした有名人。いろいろ日本人のお手伝いもしているようだ。

加古川中央RCは4年前、ヤンゴン近郊の村に小学校を建設・寄付する活動を始めた。毎年、10数人前後の会員が視察に訪れている。風スーの鉄骨モルタル造りの校舎で、1・4年生が1つの教室で一緒に学んでいる。児童数も増

友愛の広場



エッセー、海外のロータリークラブ訪問記、時局雑感など。1,000字以内。関連写真があれば添付してください。

周年事業のすすめ

京都嵯峨野 村田 信也

ロータリークラブは、いったい何をするといいのでしょうか。奉仕事業をするところでしょうか。会員同士の親睦を図るところでしょうか。クラブによって多少の違いはあると思いますが、例会があり、理事会・各種会合やフォーラム、そしてクラブの潤滑油としてのクラブ管理運営委員会・奉仕プロジェクト委員会の奉仕活動があり、ロータリー財団と米山記念奨学事業への寄付行為がある、ということに集約されると思います。

新年度に向けてクラブの方向性が決まり、地区からも長期計画などに取り組むようにとの指針が示され、決まった年間行事、決まった奉仕内容……と、会員のモチベーションは下がるこ

とはあっても、上がることがありません。

毎年度、会長ほか理事役員は交代しているにもかかわらず、目新しさはどこにも感じなくなり、年がたつにつれて会員の年齢も上がり、創造性も失われ、これがクラブの独自性と言わんばかりの膠着した運営状態に陥ります。そんなクラブに新会員が入会したとしても、そこには化石化したクラブができて上がっていて、新しい提案も受け入れられない形骸化したクラブが存在している……。これでは新会員を迎えることも難しく、退会を防ぐこともままならず、同好会活動も特効薬とはなり得ない状況となります。

このような状態でも効く一発のカンフル剤が周年事業ではないでしょうか。クラブによっては周年事業・記念例会を中止にするところもあるようですが、クラブの活性化にはとても重要なことだと思えます。5年に一度の周年に向けて準備委員会が立ち上がり、周年にふさわしい奉仕事業について熱心な話し合いが行われ、記念例会、記念講演と議論し合う中で徐々にそれらが形になっていくに従って、形骸化していたクラブに活気が戻り、目に輝きが戻り、生き生きとした会員の姿を見ることができるようになります。

わがクラブは昨年度、創立25周年という節目の年でした。25周年にふさわしい地域社会や青少年への奉仕事業（母子支援施設入所者とのブドウ狩りなど）、熊本地震被災地への支援として益城町の保育園への楽器寄贈、そして印象に残る記念例会の実現を通して、次年度以降につながる取り組みができたと思っています。

このご時世ですから、派手にする必要はありません。

ませんが、マンネリ化しがちなロータリー活動には、どうしても必要な周年事業ではないかと思っています。困難を乗り越えて充実感と達成感を味わうためにも、特にお勧めします。

（第2650地区 京都府 総合リース業）



記念例会のパフォーマンス

米山梅吉記念館を ロータリーの拠点に

茅ヶ崎湘南 松宮 剛

国際ロータリーは、戦略計画3本柱の一つに「公共イメージと認知度の向上」を掲げ、推進を強く呼び掛けている。その理由は、ロータリーが110余年の歳月を経ても、いまだ自らのレゾナント（存在理由）に到達し得ていないことにあると私は思っている。世界的人道的奉仕団体への偏向は、ロータリアンとしてのアイ



(上) 能代七夕天空の不夜城「愛季」(左) と能代七夕。(下) こども七夕



「まずは会員増強」と、銭谷さん。お得意の津軽三味線を持ってもらい撮影する。その夜、ロータリアンの皆さんと「酒どこべらぼう」で、地料理、地酒をいただく。能代特産のじゅんさいの鍋が珍しい。冬なら、きりたんぼ鍋。鍋に欠かせないのがネギだ。白く柔らかく甘いネギが鍋を一層おいしくする。「能代は「白神ネギ」として知られるネギの産地です。地元JAの取り扱いで年14億円くらいあります」と、会員の能代青果地方卸売市

大 lantern について能代を訪れた俳人の河東碧梧桐(1873-1937)が『明治四十年の七夕』という文章に書いています」と塚本さん。市内に電線が張り巡らされるようになって巨大 lantern は姿を消した。市の史料に「明治三十九年」と裏書きされた往時の巨大 lantern の写真がある。「組織作りをし、その5丈8尺の lantern 「嘉六」を5年前に復活させ、翌年には日本一高い青森・五所川原の lantern を1メートル超える24・1メートルの lantern 「愛季」を作り



宮川孝一さん



広幡信悦さん

くいが火です。けた蔵の座敷で話を聞く。「役七夕は五丁組という町内組織が年ごと輪番で運行してききました。明治時代には高さ5丈8尺(17・6メートル)もの lantern が登場しました。この

ました。8月3(4)日に、それらを引き回す七夕祭り「天空の不夜城」をしています」と、先出の村越さんが力を込めて話します。能代RC会員で能代商工会議所会頭、観光協会会長も務める中田建設会長の広幡信悦さんが、「巨大 lantern を展示する施設を作り通年で人が来られるようにできれば。観光客100万人の達成は可能でしょう」と言う。天空の不夜城は町おこしの起爆剤なのだ。

さて、能代RCの第3029回例会は、都亭が経営するプラザ都で7月6日に開かれた。新年度第1回の例会だ。直前会長で80歳の宮腰誠さんから、59歳の銭谷正さんに会長バッジを引き継いだ。銭谷会長を支える幹事の鈴木隆宏さんは39歳。



鈴木隆宏さん



銭谷正さん



場社長、宮川孝一さんから聞く。今年から市役所にブランドを育成する全国でも唯一の「ネギ課」が設置されたほどだ。木都・能代はネギ都でもあった。

ところで、「べらぼう」主人の成田繁

穂さん、実は能代RC会員にして『ロータリーの友』歌壇の常連だ。

新しき友を迎える初例会私の心も若返りたり
今年1月号の

「ロータリー歌壇」馬場あき子先生選の成田さんの一句が、能代RCの新年度初例会を取材した記者に響いた。



ホルモン焼きの上にも名物のネギ

岩田一平(いわた・いっぺい)ジャーナリスト、歴史作家。アサヒカメラ、朝日新書編集長など歴任。著書に『欠点』を「長所」に変える就活力(サンマーク出版)などがある。熊谷武二(くまがい・たけじ)写真家。公益社団法人日本写真家協会会員。人物、歴史を取材テーマに、雑誌、出版物等に発表。写真集『神戸・消滅と再生』(講談社)。



能代ロータリークラブ
THE ROTARY CLUB OF
NOSHIRO

能代市の中心地（上右）。集落の入り口には悪魔が入らないように道祖神が祭られている（上左）



大谷直子さん



武田吉太郎さん



塚本真一さん

業社員の村田増晟さんの3人が参加した。女性2人は地元と同じ高校を今年卒業したばかり。25歳の村田さんは強豪の能代工業高校バスケットボール部出身で、小学校のバスケット部を指導する。大谷さんは「休日に商店街をぶらぶら歩いている当社の若い女性従業員に出くわし、どうしたの」と聞いて



ロータリーアクターとロータリアンが絵の具を塗っている。能代RC会員で第2540地区（秋田県）の直前ガバナー、敬正寺住職の柳谷悦磨さんも筆を握った。能代ロータリーアクタークラブはまだ4人だが、この日は、会員の大谷直子さんが経営する、宴会場・レストランの「都亭」社員の福田あみさんと菅原陽香さん、能代電設工

能代は北前船の寄港地として古くから栄えたが、能代RC会員で翁飴本舗・桔梗屋の武田吉太郎さんは19代目。戦国武将の武田氏の末裔といわれ、文禄元（1592）年創業。材料はもち米と大麦だけ、砂糖も不使用の翁飴は柔らかな口当たりで素朴な甘みだ。製法は一子相伝で大量生産は不可

巨大灯笼復活を目指して

たら別に行くところがないって。だったらロータリーアクターに入ったらと勧めました」。大谷さんは会長エレクトで、能代RC初の女性会長になる。来年度はクラブ創立60周年に当たる。福田さんは、「灯笼製作、おもしろいです。接客の仕事に興味があり、地元で仕事をしたくて都亭に就職しましたが、同級生は外に出ていく人が多くて……。ロータリーアクターの活動を通して、若い者同士で親睦を深めたい」と話してくれた。

七夕製作をするロータリアンとロータリーアクター。柳谷直前ガバナー（左下）も楽しそう



「だから支店も出しませんし、観光バスで来られても、それだけ売れるものがなく断っています」。能代市は戦後、1949年と1956年の大火で市街地の大半を焼失、桔梗屋も被災して店舗は古くない。大火の火の粉を浴びながら残った蔵がある。同じく会員で、たばこ製造業がルーツの文具・事務機器「塚清」代表取締役の塚本真一さん宅の蔵だ。塚本さんは蔵の中から、曾祖父の代に当たる1878〜1911年の七夕祭りを記録した綴りを発見した。能代ではこども七夕に続き8月6〜7日に「役七夕」という江戸時代中期から続くといわれる年中行事がある。古い式次第である。しつ



能代ロータリークラブ
THE ROTARY CLUB OF
NOSHIRO



秋田杉を買い付けに来る全国の仲介人を接待するのに使われた金勇（上と二段目左）。木の曲がり具合で風の強さが分かる「風の松原」



中田雅俊さん



金谷孝さん

すでに慶長元
（1596）年、
秀吉の京都・伏見
城普請には秋田杉

を感じさせるのが「風の松原」だ。東西1キロ、南北14キロ、東京ドーム163個分の日本最大の松林である。砂防林として江戸時代から植えられたクロマツは、約700万本。強い海風で松はみな傾いている。松原に隣接して東北電力能代火力発電所がある。所長の橋本英雄さんも能代RC会員。橋本さんに「どうぞこちらへ」と、案内されたのが高さ約35メートルの発電所タービン建屋の屋上だった。松原が一望できる。すると松原の強風を受けて回る直径82メートルという巨大な風車が17基、ぐるぐる回っている。自治体と

が使われたとい
い、江戸時代、秋
田藩に保護育成さ
れた藩林は明治時
代に入ると国有林
となり、能代に近
代的な製材所がで
き、秋田杉ブラン
ドが生まれた。歴
史ある商都のクラ
ブだけに、会員は
多士済々だ。中に
東北・北陸の有力
企業の人たちがいる。金沢市が本店の北都銀行執
行役員の畠山親浩さんは、地元の能代高校から夏
の高校野球甲子園大会に2度も出場した元球児。
JR東日本の青森県と結ぶ五能線の起点、東能代
駅の瓜田昭彦駅長も会員だ。



瓜田昭彦さん



畠山親浩さん

地元企業が出資する風力発電所だった。発電した
電気を東北電力が買い取る。能代は、風力の他に
木質バイオマスや太陽光発電の再生可能エネル
ギーと石炭火力発電を組み合わせ、「エネルギー
のまち」を目指しているそうだ。

新生ロータリーアクトは七夕デビュー

取材のナビゲーター役をお願いしたのは、村越
時計店代表取締役の村越正道さんである。腎不全
のため自宅で人工透析をしながら事業、ロータ
リークラブ、町おこしと八面六臂の活躍だ。最近
は能代RCの社会奉仕委員長として、

「能代RCで休止していたロータリーアクトクラ
ブの活動を再開したいとがんばってます」

その新生ロータリーアクトの初仕事は「ロータ
リー七夕——自由参加七夕灯籠」の製作だった。

能代市では、毎年8月2日、子どもたちが屋
台の灯籠を引いて回る一大イベント「こども七夕」がある。町内単位で灯籠を作っていたが、児童生徒の減少で灯籠を出せない町が増え、町内では灯籠を引けない子どもたちのために、NPO青年クラブのしろうが「自由参加七夕」の灯籠を1基出してた。「ところが、自由参加の方が2000人にも膨れ上がり、能代RCの社会奉仕と青少年奉仕の両委員会



村越正道さん

合同事業として
もう1基を出す
ことにしたんで
す」と村越さ
ん。針金に紙を
貼った灯籠に、

伝統ある“木都”のクラブに ロータリーアクトの若い息吹を

文：岩田一平 写真：熊谷武二

杉と風のまち

42畳の広間、天井に張られた長さ5間（約9・1メートル）の、節が一つもない大板が5枚。それがたった一本の天然秋田杉から採られたと聞いて仰天する。秋田県能代市柳町にある国指定有形文化財の旧料亭「金勇」の贅を尽くした内装にため息が出る。



金勇の玄関前で、今回訪れた能代ロータリークラブ（RC）の皆さんの集合写真を撮る。能代は秋田杉の製材加工で「木都」と呼ばれた。

金勇はそのシンボル、秋田杉のモデルルームであり迎賓館だった。1937（昭和12）年の建造だが、時代の趨勢で10年前に休業。4代目の金谷孝さんが土地建物を市に寄贈し、現在は市の観光交流施設である。金勇の建つ柳町は、江戸時代に北前船でにぎわった時代から花街だったが、今は残



“木都”能代のシンボル、旧料亭「金勇」の玄関前で



地元のビール工場が名乗り出てくださったこと
もあります。工場では、皆でいっぱい質問します。

「どうしてビールはおいしいの?」「大人になれば
おいしいくなるよ」「大人になると何でおいしい
の?」「舌が変わるんだよ」「どうすれば舌が変わ
るの?」。面白い質問がたくさん出ました。「じゃ
あ、どうして大人はお酒を飲むの?」。専務さん
は「子どもは1日に300回笑うけど、大人はせ
いぜい15回しか笑わない。笑うために飲むのかも
ね」と回答。「ふーん」。面白い反応がありました。

このように、インクルのこども食堂は、将来の
選択肢を増やすことにつながっていきます。生き
づらさというのは、選択肢がないことだと思いま
す。これしかない、というのはつらい。「他に方
法はないのかな」という声に「一緒に考えよう」
と言える場所があれば良いと。どんな重いものを
背負っていても、乗り越えられる人がいる。一
方どんな小さなことでも、乗り越えられず立ち止
まってしまう人がいる。その差は何でしょう。

それは、支え合ったり、つながっている人がい
るかどうかの差ではないでしょうか。街はさまざ
まな人がいるからこそ街なのであって、健康者や
お金持ちだけが住む街など、世界中のどこにもあ
りません。いろいろな人がいるから街である、と
自覚できることが大切で、これは個々の生きやす
さにつながります。他者を認め合うこと、支え合
うことが共生社会を実現することになる、と私た
ちは子どもやその母親、地域の方々から学ぶこ
とができました。

地域に子どものための活動が一つでも増えるこ
と、それはきつと、すべての人にとって生きやす
い地域や未来になることではないでしょうか。

「何で子ども食堂なの?」「食」と「子ども」、

この2つのフレーズに反対する人はいません。食
べることと子どもに関しては、万人が共感できま
すし、多種多様な背景や気づきを持った人たちが
同じテーブルに着くことができるのは、「子ども」
と「食」の2つのテーマがあるから。そして、こ
の2つの言葉には、地域づくりや貧困対策など多
くの要素を含んでいます。今まで一人親を支援す
る中、たくさんの方の意見に接しました。「なぜそ
ういう人たちに支援しなければいけないの?」。そ
のように問うていた人たちが「あ、自分につなが
っている問題なんだ」と気づいた時、初めて、人は
理解できるのだと知りました。子どもはあつとい
う間に大きくなっていきます。悩んでいる間に成
人し、社会人になっていくのです。片や大人は年
老いていく、だから待たない、なのです。

最後に、インクルいわてが立ち上がった時、全
国からメッセージをいただきました。ホームペー
ジ <http://incluwiwate.jp> より、聖学院大学の柴田
武男先生のメッセージをお伝えします。

岩手といえば宮沢賢治。宮沢賢治といえば童話。
すべての童話が素敵ですが、何か物悲しい。物悲
しさを感じるのは私だけでしょうか。『グスコー
ブドリの伝記』の自己犠牲。美しくも悲しい結末。
心にしみるのは、『銀河鉄道の夜』のカムパネ
ルラの言葉。「ぼくはおつかさんが、ほんとうに
幸になるなら、どんなことでもする。けれども、
いったいどんなことが、おつかさんのいちばんの
幸せなんだろう」。カンパネラは、なんだか、
泣き出したいのを、一生けん命こらえているよう
でした。あまりに悲しい、悲しいほどの優しさに

心打たれます。

私は高金利の被害者救済の運動に参加していま
す。そして、戦い続けるとシンポのたびに決議し
ています。でも私たちの戦う武器は何でしょうか。
法律知識、法律上の弁護士とか司法書士とかの資
格、確かにあったほうがよいでしょう。団結力、
勤勉さ、まじめさ、それも不可欠です。でも、そ
れら全てをひつくるめて、私たちの本当の武器は
優しさではないでしょうか。虐げられた人々、弱
者への優しさ、眼差しこそ私たちの真の武器なの
ではないでしょうか。それは私たちが強者で上か
ら弱者を助けてやるという視線ではありません。
同じ弱さを持つ、欠点だらけの人間として、人の
弱さと脆さを自分自身で知り抜いているからこそ
の眼差しです。

宮沢賢治の童話は優しさに溢れています。同
時に、貧しい農村の厳しい生活状況に絶望し、や
りきれない悲しさにも満ちています。でも、彼は
ほんの一筋の希望を支えに童話を書き続けまし
た。どうせ世の中変わりはしないと絶望しながら
も、もしかしたら少しは変わるのではないかと
いう一筋の希望を捨て去ることはできません。それ
が優しさではないのでしょうか。

インクルいわてのホームページには優しさが満
ちてます。いったいどんなことが、いちばんの幸
なんだろう、という宮沢賢治の問いに答えている
ようです。優しさこそ、人に優しくできることが
一番の幸せなんだろうと。

今後、包括的こども食堂の取り組みが、全国に
広がっていくよう希望を持っております。

(ホスト 花巻RC)

のサラダになります。化粧品会社の方に来てもらい、お母さんたちのためのネイル教室を開催。幼児教育の先生には子どもたちの冬休みに、リース作りを教えていただきました。

そして本の読み聞かせ。実は大人も楽しんで聞きます。さりげなく、チラシも置いておきます。行政などの相談窓口に「こんな制度があります」と貼ってある、あのチラシです。食事をしながら、目に触れるように情報提供をしています。

本もたくさん寄付してもらいました。記憶に残る本として、一関工業高等専門学校の赤本（大学入試過去問題集）があり、匿名の手紙が同封されていました。「自分も親が苦労しているのを見て育ってきた。だけど高専に入れば、生活費も出て大学にも編入しやすいし、就職率も良い。どうかこういう学校があることを伝えてほしい。頑張っ

て入って、自分の道を聞くように子どもたちに紹介してほしい。自分は一生懸命勉強しているし、大人になって働くようになったら、そういう子どもたちのために何かできることをしたいと思っています」という手紙でした。このようなたくさん

の思いが、私たちに寄せられています。

「お肉、思いっきり食べたいな」。子どもたちの声が届いたかのように、食肉の卸業者さんがたくさん肉を定期的に送ってくださったことも、「自分も大変な思いをしてきたし、親も身を粉にして育ててくれた。今、身を立てて、食肉の卸業者をやっているの」と。子どもたちの歓声はすごかったです。それがある時からパタッと途絶えました。子どもたちは「お肉のおじちゃん、どうしたの？」。

実は、この方は2017年に東北地方を襲った台風の被害に遭われていたのです。それを子ども

たちに伝えましたら、すごく心配したので、色紙を書き送りました。お返事に「みんな、ありがとう。元氣だよ。今、一生懸命、後片付けをみんなを力を含わせてやっているよ」。そして「自分は子どもたちを支えているつもりだったけど、今回この色紙で自分が支えられたと思っている。子どもたちのおかげで頑張ることができました」と。

他者を認め合うこと、

支え合うことが

共生社会を実現することになる

コミュニティーが狭いほど、周りの人に知られなくなったり、そのしがらみが生きづらさになったりします。そこから逃げたい時もあるのですけれども、やはり、何かあった時には誰かとつながっていることが一番の力になるのです。それ

ほど親密ではなくても、あそこに行けば何かある、あそこに行けば話を聞いてくれる人がいる、という「場」が必要だと。これから単身世帯が多くを占める社会になった時に、それは心強く、人を孤立させない「場」になると思います。

今一番してほしいことは企業参加です。企業も地域の仲間であることを、子どもたちに感じてほしい。将来、職業を選択する上で自分の地域にこういう会社がある、こういう仕事があると知ること。そして、この地域が大好きで、ここで働こうと考えられるような仕組みづくりが大事です。

子どもが将来就労する時、多様な選択肢があれば、と思っていた時に、ロータリアンの会社が協力してくださったのが、社員食堂プロジェクト。社員食堂で、会社の人たちと子どもたちが一緒に食事をしました。この「場」により、地元企業の仕事を知り、仕事体験ができたりするので、子どもたちの世界と未来が広がります。プロジェクトは食事だけではなく、皆一緒に、液体窒素でシャボン玉を凍らせてみたり、炭酸のみそ汁を作ってみたり、楽しい体験をしました。



山屋 理恵

■ NPO法人インクルいわて理事長

岩手県盛岡市生まれ。

2004年 全国消費生活相談員協会東北支部運営委員。09年 岩手県立大学、地域課題研究・多重債務者支援研究会設立。11年 インクルいわて設立。12年 厚生労働省・復興庁事業「よりそいホットライン」東北統括コーディネーター（被災3県24時間365日の包括的な電話相談支援を統括）。15年 岩手で初めての「子ども食堂」運営開始。16年 いわて内陸避難者支援センター長。18年 岩手県男女共同参画センター長、こどもの居場所ネットワークいわて共同代表。

食堂」ということもあるのでしょうか、九州大学の学生さんがはるばるここに通われて、卒論を書かれたこともありました。広報については、私たちもすごく悩み、食堂を立ち上げる前に視察して歩きました。どうすれば、来てほしい人たちに情報を届けられるのか。6カ所くらい回ったのですが、どこも2つの同じ課題を抱えておられました。

まず、本当に来てほしい人に来てもらえないという問題。信じられないような話ですが「あそこに行くとかで食べられるらしい」と、大きい車で乗り付けて食べるだけ食べて帰っていく人もいました。本来の対象者が入れなかったり、来た時には食べ物がなかったりするのは、本当に困っている人たちとはなかなか会えないし、その人たちは来ない、そして情報も届きにくいのです。だからこそ、広報はすごく大変でした。

また、「子ども食堂＝貧困」というイメージが広まってしまい、あそこに行くのはお金のない子と思われてしまうから、行きたいけれど行けない、という声も聞こえてきます。個人情報を守るような仕組みが必要です。

もう一つはボランティアの問題でした。ボランティアに対して、私たちは当日、スタッフが自己紹介を行い、誓約書を書くなどの事務処理をした上で、「支援してあげるといふ姿勢、かわいそうな人たちという視線はなくしてください」とお話ししています。「かわいそうにねえ、お母さん働いてばかりいてねえ」と、全然悪気なく子どもに言う、その子は「ああ、自分かわいそうなんだ」「お母さんは自分をかわいそうな目に合わせるんだ」と思ってしまうし、お母さんはお母さんで、しんどい。そういう言葉を掛けられると、

子どもは来られなくなってしまう。

子ども食堂とは、子どもへの支援を進めることが中心に見えますが、実は地域づくりを行うことなのです。子どもの貧困は世帯の貧困であって、世帯の貧困はその地域の貧困。子どもの貧困は教育の敗北ともいわれます。全ての人が考えなければなりません。広報は、行政の窓口として地域福祉や男女共同参画に関わる部署、教育委員会など多方面の協力をもろうことが大事です。

結果、私たちの場合は特に教育委員会の協力を得て、盛岡市内の小・中学校の各クラスに1枚ずつチラシを貼ることができました。とにかく、まず子どもの目に触れるような仕掛けが必要です。子どもが母親を誘って参加してくれたこともありましたが、ただ、親を通すと来られない子もいるので、1人でも「ちょっと行ってみようかな」と思えるような仕掛けがもっと必要と思っています。

貧困は現代社会の 矛盾と課題の縮図

私たちの包括的こども食堂には、社会的家族機能があります。「相対的貧困率の国際比較」のデータによると、日本の一人親家族は、世界の貧困率の中で第1位です。これは現代社会の矛盾と課題の縮図です。社会保障制度、働き方、賃金、男性と女性の役割、子どもの在り方、あらゆる課題が凝縮して、こんな貧困率になっています。

解決するためには、街ぐるみで社会的家族機能の構築をする、かわいそうな一人親への支援ではなくて、課題が集中している一人親の問題を解決し、貧困への連鎖を断ち切る答えを見つけないと

考えています。

次に、食堂の具体像をご紹介します。

やって来た子どもも含め、全員で会場の準備をします。虐待から逃げてきた子どもは人とうまく関われなかったり、暴言を吐いたりしますが、ここに来てのうちに次第に落ち着いてきます。今では食堂の準備のため、早めに来て手伝うようになった子もいます。彼は今やちびっ子の兄貴分。「お前なあ、勉強しないと、こうなるんだぞ」「こういうふうになると、九九は覚えやすいんだぞ」。彼の居場所と役割がここにあります。

メニューは、当日届いた食材を見て決めます。何が届くかわからないので、即興メニューです。そして、子どもたちの希望を聞きます。例えば「バイキングっていうのしたいな」。大きな食堂を借りて、たくさん作ることにしました。岩手には思いのある人たちが各所にいらっしやるので、たくさん食材が集まります。

サンマを焼いた時には、ひっくり返すのに失敗して、無残な姿に。魚を焼くコツなんて小さいことかもしれないが、こんなことから体得していくのが大事なのです。家庭でのしつけをここで行うということ。『いただきます』と食べ始めると、家では食べない野菜や煮物をお代わりしたり、もうとでもにぎやかです。

お年寄りとの交流からは「紙芝居って何だ？」という声が出ました。そこで、紙芝居のおじさんに来てもらいました。クリスマス会の時は、音楽に触れてもらいたいのので生演奏をお願いするのですが、演奏会は即興のピアノ教室にもなります。学生ボランティアの手にかかると、普通のポテトサラダが若い感性で、盛り付けがかわいいツリー

で支援につなげるという形をとっています。子どもたちを守るため、ボランティアには誓約書を書いてもらいます。ここで見聞きしたことは外に出

さないでくださいと。子どもは「ずっと朝ごはん食べてないんだよ」とか、お母さんの仕事の話とか体の話とか、子どもらしく、全部話しますから。

子どもから「調理をしたい」という声があれば、公民館の調理室を借り、皆で調理をしたり、「外で食べたい」となれば屋外施設でバーベキューをしたり、保育園から「うちでやってほしい」と要請があった時は出張して保育園で料理してみたりと、できるだけ希望を実現しています。

子ども食堂は、地域に一カ所だけでは参加できる人が限られてしまうので、今後はもっと選択肢が広がるように取り組んでいきたいと思っています。食事だけではなく、勉強するコーナーや、何か物を作ったり、ゲームをしたりする遊びの場としても機能しなければなりません。

近年は視察も増えていて、山形や北海道の議員もいらつしゃいます。そんな時は「一緒に参加して調理してみませんか、一緒にリンゴをむいてみませんか？」と声をかけます。そもそも子どもたちは、「大人」とは自分の親と学校の先生くらいしか知りませんから、身近な地域の人たちは自分を怒る存在、または無関心な人たち、と思っ込んでいます。ですから、訪問者に接し、自分を応援してくれる大人もいると分かることは、子どもにとっても重要です。

運営上、市民ボランティア以外に大切なのが学生ボランティア。おじさん、おばさんは頼りになりますが、子どもたちは思いっきり遊んだり、恋バナもしたい。今どきの小学生は好きな子の話、親には言えなかったりする話があるのです。学生ならこんな話ができますし、体当たりで遊べたりします。福祉関係だけではなく、教育、食、農、法律、幼児保育、政策関係を専攻する学生が来てくれます。最近、卒論で子ども食堂を取り上げる学生さんも多いのですが、ここは「包括的こども

写真提供：NPO法人インクルいわて インクルこども食堂の活動風景

子どもも大人も地域も育つ！ 包括的こども食堂

私たちNPOインクルいわては、震災の年・2011年の10月に結成しました。ビジョンは「家族のかたちにかかわらず、だれもが生き生きと暮らしていける包摂された社会(Inclusive Society)の実現に向けて、一緒に活動します!」。「インクル」はこの「包摂(Inclusive)」から取りました。地域の復興に向けても、私たちはこの理念しかないと考えています。

NPO法人インクルいわて理事長 **山屋 理恵**
Rie Yamaya

子どもの貧困は世帯の貧困 世帯の貧困は地域の貧困

子どもたちの未来とは、どういったものでしょうか。東日本大震災があった2011年に小学1年生になった子どもたちが大学を卒業する2030年ころ、彼らの65%は将来、今存在していない職業に就くだろうと予測されています。

今後10年、20年で、今ある半数近くの仕事が自動化される可能性が高い、とも予測されています。どういう仕事が残っていくのでしょうか。2045年、人工知能が人間の知性を超える「シンギュラリティ(Singularity 技術的特異点)」に到達し、人の生活が大きく変化するといわれています。いわゆる2045年問題です。このような未来が予測される実態を踏まえ、包摂の理念のもと、包括的支援機能を大切にする、インクルいわての子ども食堂活動についてお話しします。

「二つ屋根の下にいろいろな人」——子どもの他に一人親、単身高齢のおじいちゃんやおばあちゃん、単身赴任のお兄さん。誰でもここに来て、「キヤッチボールしたい」となったら「お兄ちゃん

んとやろうよ」となればいい。お母さんの「子育てがつらい」という悩みには、近所のおばあちゃんが「それ大丈夫よ」って言えばいい。これが子ども食堂構想の始まりでした。

食堂ですから、食えることが真ん中にあるのですが、食を人り口にする世代間交流もできます。世代間のギャップはやはり大きい。摩擦を起こしながらも、一緒に話をする「場」が必要です。

「子ども食堂」と聞いた時、皆さまはどんなイメージを持たれますか。やはり、「子どもだけが来る所」と思っている方が多いようです。

私たちの食堂は子どもが一人でも安心できる、一人でも来られる所です。ですから、近所のおじいちゃんや一人で食事をしていて寂しい、と聞けばお誘いするなど、地域の人へ声掛けをしています。しかし、困難を抱えている子どもが真ん中ということはありません。

来所して、一緒に食事を作ってくださいったロータリアンもあり、いろいろな子どもたちの姿をのぞくようになったと思います。乱暴な子、ゲームだけをして人と関わらず目も合わせずにそこにいるだけ、という子もいます。違和感を持たれるかもしれませんが、実はその子たちは「ここに来る」というだけでSOSを発信しており、勇気を振り絞って来ている。ここに来る、「いる」がまず大事です。その姿をぜひ、知ってもらいたいと思っています。

子ども食堂のスタッフには、全体の統括と食堂の担当と相談担当がいます。多分、この「相談担当」が私たちの特色だと思います。ボランティアの中には、相談に対応できる人に入ってもらっています。弁護士さん、母子支援専門の人に普通の格好でエプロンをして、一緒に話を聞いて、そこ

9 月は基本的教育と識字率向上月間 ロータリーの友月間です

THE ROTARY-NO-TOMO

子どもも大人も地域も育つ！ 包括的こども食堂 4 81

◆ NPO 法人インクルいわて理事長 山屋理恵

シリーズ クラブを訪ねて 9 76

伝統ある「木都」のクラブにローターアクトの若い息吹を

能代 RC・第 2540 地区

文・岩田一平 写真・熊谷武二

友愛の広場 13 72

周年事業のすすめ

米山梅吉記念館をロータリーの拠点に

ミャンマーからの伝言

「見て見ぬふり」をしないことは

熊本地震から 2 年、復旧ルート工事を見学

元青少年交換学生を 15 年ぶりに迎えて

観音堂

◆ わがまちの味

卓話の泉 18 67

家の防犯対策

清涼飲料の今昔

私の一冊 18 67

宮崎北 菅沼龍夫／大阪大淀 大西洋一郎

ロータリー 俳壇

ロータリー 歌壇

ロータリー 柳壇

◆ 長谷川 權 選

◆ 馬場あき子 選

◆ てじま晩秋 選

20 65 20 65 20 65

ロータリー・アット・ワーク 22 63

地域歴史散策とまちかど清掃奉仕

名古屋昭和 RC

〈写真〉東京東村山／第 2680 地区／長門／

市川東／大和中／那覇／珠洲／川越／川越中央・

川越小江戸／川越西／厚木／浦和ダイヤモンド／

和歌山南／福井南／福山西／第 2580 地区／

小松・小松商業高校 IAC／

北海道 2500 ローターIEクラブ／函館・函館

セントラル／堺おおいずみ／第 2720 地区／

第 2640 地区

タイでストッパ結核キャンペーン

不登校を学び、子どもたちを支援する

台湾で姉妹クラブ締結式

中学生への救急蘇生講座 その継続と成果

第 5 回車いすバスケット南九州大会

飛鳥の歴史を肌で感じ みんなで歩こう

日本ロータリー E クラブ 2650

河川水を調べて 11 年

日本一公園の清掃奉仕例会

水源の森で

私たちのブナの森

大地の恵み ジャガイモ・プロジェクト

大宮シティ

声 6 月号の感想 33 52

表紙 横組み 「読む力＋書く力」幸せ引力

表紙題字 加藤光峰

表紙レイアウト 箕牧 彰

◆ 本誌中の RC はロータリークラブ、RI は国際ロータリーの略です。

◆ 横組みの目次は、反対側の表紙を開いた 4 ～ 5 ページにあります。

◆ 本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。

◆ 表紙については横組み 51 ページを参照。



一般社団法人 ロータリーの友事務所
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階
Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956
編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp (本誌の内容・投稿)
管理部メール keiri@rotary-no-tomo.jp (購読・注文)

ロータリーの友
Home Page
www.rotary-no-tomo.jp





ロータリーと共に

インスピレーションを 生み出そう

平和と調和が持つ力をロータリーは信じています。ロータリークラブでは、国連UNITARと協力し、1945年の原爆を生き延びた木の苗木を植える活動の世界中で行っています。「世界を変える行動人」として、みんなにインスピレーションを与えて平和を築くために。詳しくは、rotary.orgから。

Rotary



世界を変える行動人

THE ROTARY-NO-TOMO

ロータリーの友 9

2018
SEPTEMBER
VOL.66 NO.9



SPEECH

子どもも大人も地域も育つ!
包括的こども食堂

山屋 理恵

クラブを訪ねて
能代ロータリークラブ

Rotary

